

TFT LCD Color Computer Display

取扱説明書	J
Operating Instructions	EN
Mode d'emploi	F
Bedienungsanleitung	D
Manual de instrucciones	ES
Istruzioni per l'uso	I

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CPD-L133 CPD-L150

Owner's Record

The model and serial numbers are located at the rear of the unit. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your dealer regarding this product.

Model No. _____ Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture. Dangerously high voltages are present inside the unit. Do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

FCC Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
- You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

INFORMATION

This product complies with Swedish National Council for Metrology (MPR) standards issued in December 1990 (MPR II) for very low frequency (VLF) and extremely low frequency (ELF).

INFORMATION

Ce produit est conforme aux normes du Swedish National Council for Metrology de décembre 1990 (MPR II) en ce qui concerne les fréquences très basses (VLF) et extrêmement basses (ELF).

Hinweis

Dieses Gerät erfüllt bezüglich tieffrequenter (very low frequency) und tiefstfrequenter (extremely low frequency) Strahlung die Vorschriften des „Swedish National Council for Metrology (MPR)“ vom Dezember 1990 (MPR II).

INFORMACIÓN

Este producto cumple las normas del Consejo Nacional Sueco para Metrología (MPR) emitidas en diciembre de 1990 (MPR II) para frecuencias muy bajas (VLF) y frecuencias extremadamente bajas (ELF).

Dieses Gerät entspricht den folgenden europäischen EMV-Vorschriften für Betrieb in Wohngebieten, gewerblicher Gebieten und Leichtindustriegebieten.

EN55022/1994 Klasse B

EN50082-1/1992

EN60555-2/1987

Hinweise

- Aus ergonomischen Gründen wird empfohlen, die Grundfarbe Blau nicht auf dunklem Untergrund zu verwenden (schlechte Erkennbarkeit, Augenbelastung bei zu geringem Zeichenkontrast).
- Aus ergonomischen Gründen (flimmern) sollten nur Darstellungen bei Vertikalfrequenzen ab 70 Hz (ohne Zeilensprung) verwendet werden.
- Die Konvergenz des Bildes kann sich auf Grund des Magnetfeldes am Ort der Aufstellung aus der korrekten Grundeinstellung verändern. Zur Korrektur empfiehlt es sich deshalb, die Regler an der Frontseite für Konvergenz so einzustellen, daß die getrennt sichtbaren Farblinien für Rot, Grün und Blau bei z.B. der Darstellung eines Buchstabens zur Deckung (Konvergenz) gelangen. Siehe hierzu auch die Erklärungen zu Konvergenz.

NOTICE

This notice is applicable for USA/Canada only. If shipped to USA/Canada, install only a UL LISTED/CSA LABELLED power supply cord meeting the following specifications:

SPECIFICATIONS

Plug Type	Nema-Plug 5-15p
Cord	Type SVT or SJT, minimum 3 × 18 AWG
Length	Maximum 15 feet
Rating	Minimum 7 A, 125 V

NOTICE

Cette notice s'applique aux Etats-Unis et au Canada uniquement.

Si cet appareil est exporté aux Etats-Unis ou au Canada, utiliser le cordon d'alimentation portant la mention UL LISTED/CSA LABELLED et remplissant les conditions suivantes:

SPECIFICATIONS

Type de fiche	Fiche Nema 5-15 broches
Cordon	Type SVT ou SJT, minimum 3 × 18 AWG
Longueur	Maximum 15 pieds
Tension	Minimum 7 A, 125 V



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は、「高調波ガイドライン適合品」であり、通商産業省資源エネルギー庁公益事業部作成の家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインを満たしています。



As an ENERGY STAR Partner, Sony Corporation has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

本製品は社団法人日本電子工業振興協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しております。

目次

準備

使用上のご注意	4
各部の名称とはたらき	5
接続する	6
ディスプレイを自動調整する	8
メニュー言語を選ぶ	9

画面の調整

画像の明るさを調整する	10
コントラストを調整する	10
メニュー画面について	11
ユーティリティディスクについて	11
画像をくっきりさせる	12
画像の位置を調整する	13
本来の解像度で表示する	13
色温度を変える・調整する	14
メニュー画面の表示位置を変える	14
バックライトを調整する	15
パワーセービング状態になる時間を設定する	15
調整や設定をロックする	16
工場出荷時の設定に戻す	16

その他

本機の対応信号と機能	17
パワーセービング機能	18
INFORMATION画面を表示する	18
プラグ&プレイ	18
入力信号警告表示	19
故障かな?と思ったら	19
保証書とアフターサービス	21
主な仕様	22

- Macintoshは、Apple Computer Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows®とMS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBM PC/ATとVGAは、IBM Corporationの登録商標です。
- NEC PC-98は、NECの登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standard Associationの商標です。
- この取扱説明書に表記されている上記以外の製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書では、「®」と「™」については一部表記を省略しています。

使用上のご注意

使用・設置場所について

次のような場所での使用・設置はお避けください

- 異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管について

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラツいたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。

液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れのしかた

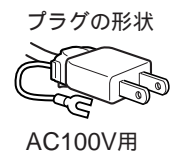
- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れを拭き取るときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送について

- 運ぶときは、画面の下部を両手でしっかり持ってください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、本機用の箱とクッションを使用してください。

電源接続について

付属の電源コードをお使いください。安全のため電源コードにはアース線が付けられています。コンセントにプラグを差し込む前に必ずアース線をアースへ接続してください。



壁やマウントアームに取り付けるときは

本機を、壁やマウントアームに取り付けて使用する場合は、必ず専門の業者にご相談ください。

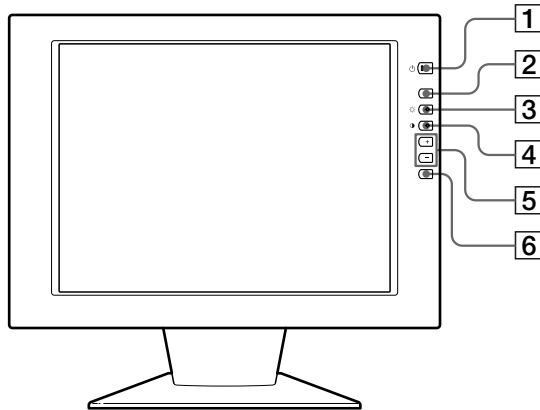
廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

各部の名称とはたらき

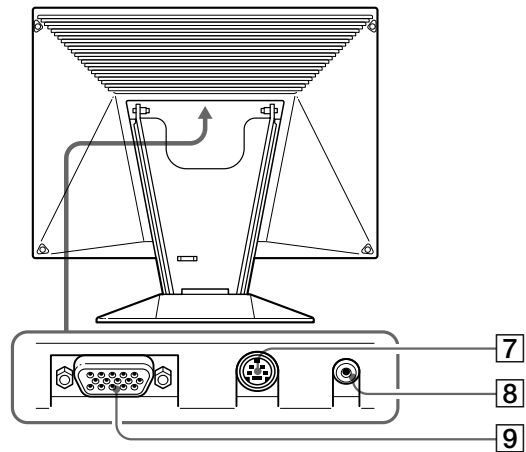
使いかたについての詳しい説明は各ページをご覧ください。本書のイラストはCPD-L150を使用しています。

前面



- 1 (電源)スイッチとインジケータ
8、18ページ
電源を入/切するときに押します。
電源が入るとインジケータが緑色に点灯します。
また、パワーセービング機能が働いているときには、オレンジ色と緑色に交互に点滅するか、オレンジ色に点灯します。
- 2 MENU (メニュー)ボタン 9、12~16、18ページ
調整などを行うためのMENU画面を表示するときに押します。
- 3 (ブライツネス)ボタン 9~10、12~16ページ
画像の明るさ調整を選択するときに押します。
また、↑ボタンとしてメニューの項目を選択するときに使います。
- 4 (コントラスト)ボタン 9~10、12~16ページ
コントラスト調整を選択するときに押します。
また、↓ボタンとしてメニューの項目を選択するときに使います。
- 5 +/-調整ボタン 10、12~16ページ
選択された項目の画面調整を行うときに使います。
- 6 AUTO (オート)ボタン 8、12~13ページ
接続が終了したあとで押すと、コンピューターに合った状態に画面が自動的に調整されます。
また、画像の位置がずれていたり、画像がぼやけていたりしたときに押します。

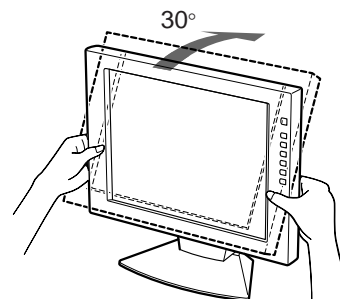
後面



- 7 外部コントロール端子
外部コントロール用の端子です。RS-232C信号で外部から本ディスプレイをコントロールすることができます。詳しくは、販売店等にご相談ください。
- 8 電源入力端子 7ページ
ACアダプターのDC出力コードを接続します。
- 9 RGB入力端子 (HD15) 6、7ページ
コンピューターのアナログRGB信号(0.714 Vp-p、正極性)と同期信号を入力します。

ディスプレイスタンドの使いかた

画面の向きを垂直方向に30度調整することができます。画面の向きを変えるときは、図のように両手を画面の下部に添えてください。



接続する

始めに、下記のものがそろっているかご確認ください。

- 液晶ディスプレイ(1)
- ACアダプター(1)
- 端子カバー(1)
- 電源コード(1)
- HD15ビデオ信号ケーブル(1)
- Macintosh用変換アダプター(1)
- Windows Monitor Information Disk/Utility Disk(1)
- Macintosh用Utility Disk(1)
- TCO '95 Eco-document(1)
- 保証書(1)
- 取扱説明書(1)
- 安全のために(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)

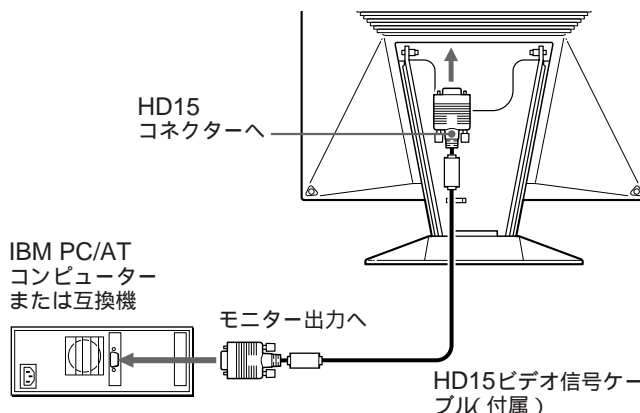
本機は、DOS/Vコンピューターに対応しています。
また、ケーブルアダプターを使って、MacintoshやPower Macintosh、NEC PC-98シリーズを含む、水平周波数30~70kHzのコンピューターにも接続できます。さらに、PALやNTSCのRGB信号も受けることができます。接続できるコンピューターについては、販売店にご相談ください。

準備1: ディスプレイをコンピューターにつなぐ

コンピューターの電源スイッチを切った状態で、ディスプレイ裏面のビデオ入力端子(HD15)と、コンピューターのモニター出力を、付属のHD15ビデオ信号ケーブルで接続します。

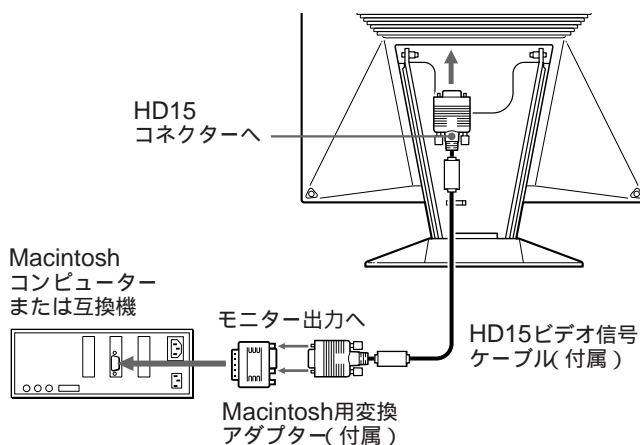
- IBM PC/ATコンピューターまたは互換機をお使いのときは、「IBM PC/ATコンピューターまたは互換機に接続する」をご覧ください。
- Macintoshコンピューターまたは互換機をお使いのときは、「Macintoshコンピューターまたは互換機に接続する」をご覧ください。
- NEC PC-98シリーズのコンピューターをお使いのときは、「NEC PC-98シリーズのコンピューターと接続する」をご覧ください。

IBM PC/ATコンピューターまたは互換機に接続する



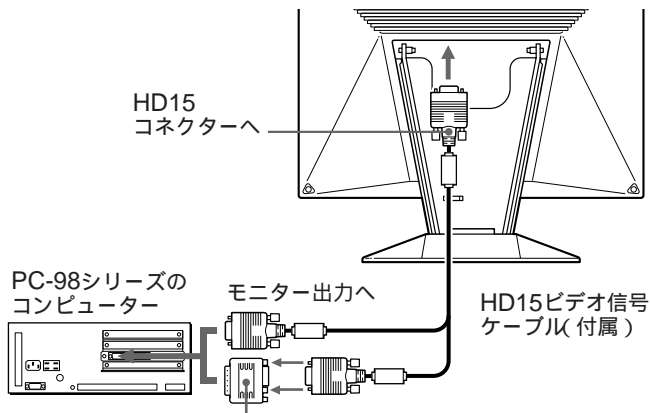
付属のHD15ビデオ信号ケーブルについて
本機はDDC1およびDDC2Bに対応するために、ビデオ信号ケーブルの9番ピンを使っています。
お使いのコンピューターがDDC1またはDDC2Bに対応していない機種であっても9番ピンの穴が開いている場合は、そのまま付属のHD15ビデオ信号ケーブルを使って接続してください。お使いのコンピューターが9番ピンの穴が開いていない場合は、付属のケーブルでは接続できません。この場合は、販売店等にご相談ください。

Macintoshコンピューターまたは互換機に接続する



付属のMacintosh用変換アダプターをお使いのときは
付属のMacintosh用変換アダプターは、Macintosh LC、Performa、Quadra、およびPower Macintoshシリーズに対応しています。Macintosh IIシリーズやPower Bookなど一部の古いモデルを接続するときは、市販のMacintosh用変換アダプターが必要な場合があります。この場合は、販売店等にご相談ください。

NEC PC-98シリーズのコンピューターに接続する



PC-98シリーズまたはPC-H98シリーズ用変換アダプター（別売り）が必要な場合があります。

NEC PC-98シリーズのコンピューターをお使いのときは本機は、水平走査周波数24.8kHzの640×400ドット表示には対応していません（コンピューターの画像が画面に出ません）。したがって、640×400ドットは31.5kHzの表示モードで使用してください。

水平走査周波数31.5kHzの640×400ドット表示に対応しているPC-98シリーズ

- ・ 98MATEシリーズ
- ・ 98FELLOWシリーズ（PC-9801BA、BXは除く）
- ・ PC-H98シリーズ（PC-H98Sは除く）

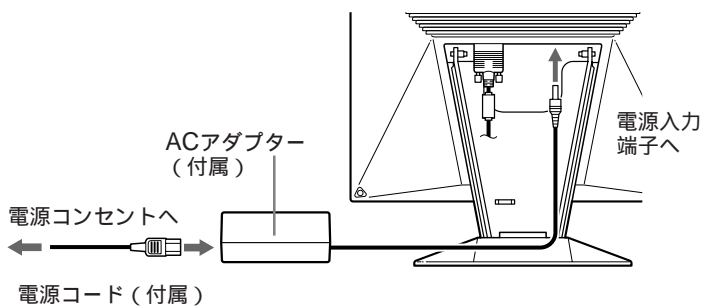
水平走査周波数31.5kHzの640×400ドット表示の設定方法

- 1 対応するPC-98シリーズ本体の電源を切った状態で、本ディスプレイを接続します。
- 2 キーボードの「GRAPH」キーと「2」キーを押しながら、コンピューターの電源スイッチを入れます。

なお、アプリケーションによっては、31.5kHzの640×400ドットモードでは正しく動作しないものもあります。詳しくは、各アプリケーション提供会社にご確認ください。

準備2：電源コードをつなぐ

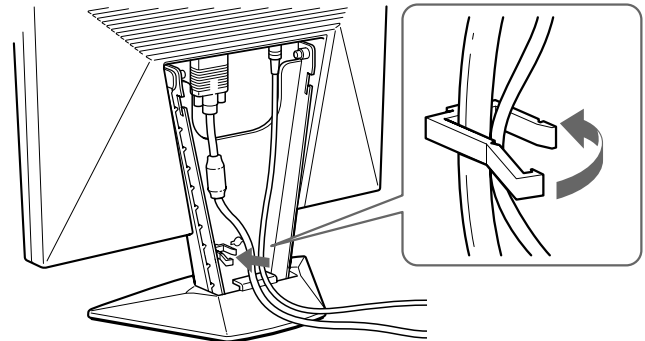
本機の電源スイッチを切った状態で、付属のACアダプターおよび電源コードをつなぎます。



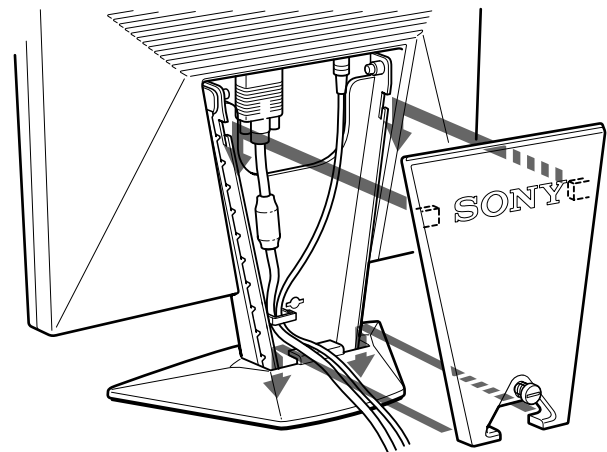
準備3：端子カバーを取り付ける

接続が終わったら、付属の端子カバーを取り付けます。端子カバーの取り付け、取り外しは、必ず画面を垂直にして行ってください。

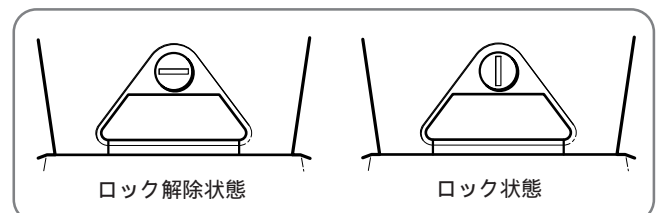
1 コード類をまとめる。



2 端子カバー裏面の突起部を、本体の取り付け部に差し込んで、押し下げる。



3 端子カバーをネジ止める。



準備4：本機とコンピューターの電源を入れる

これで本機の準備が完了しました。

ご注意

「OUT OF SCAN RANGE」、または「NO INPUT SIGNAL」という警告表示が出ているときは、19ページの「入力信号警告表示」をご覧ください。

Windows 95/98をお使いのお客さまは

本機がその性能を最大限に発揮できるよう、付属の「Windows Monitor Information Disk/Utility Disk」から新機種情報ファイルをお使いのコンピューターにインストールしてください。

本機は、プラグ&プレイ規格である「VESA DDC」に対応しています。お使いのコンピューターまたはグラフィックボードがDDCに対応している場合は、Windows 95/98の「コントロールパネル」の中から、「プラグアンドプレイモニター (VESA DDC)」、または本機の型名を選択してください。

コンピューターやグラフィックボードと本機の通信に不都合がある場合は、「Windows Monitor Information Disk/Utility Disk」をインストールし、本機の型名を選択してください。

Windows NT4.0をお使いのお客さまは

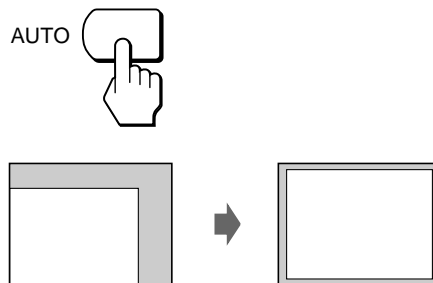
Windows NT4.0では、Windows 95/98で表示される機種名が表示されません。Windows NT4.0の取扱説明書をご覧ください。解像度、リフレッシュレート、色数を設定してください。

ディスプレイを自動調整する

画像がちらついたり、くっきりしていないときは、AUTOボタンを押すと接続したコンピューターの信号に適した状態に自動的に調整されます。

コンピューターによっては、微調整が必要な場合があります。その場合は、手動調整を行ってください。(10ページからの「画面の調整」参照。)

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 コンピューターの電源を入れる。
- 3 AUTOボタンを押す。
信号のピッチを合わせて、鮮明な画像になるように調整します。同時に、画像が画面の中央に表示されるように調整されます。



ご注意

- この機能はWindowsなど、表示可能エリア全体に画像が表示される場合に正しく動作します。DOSプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、背景を黒で使用している場合には正しく動作しないときがあります。
- 動作時に数秒間画像が消えることがありますが、故障ではありません。

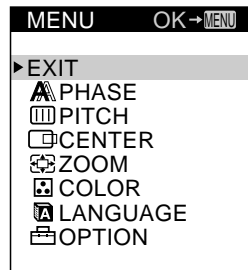
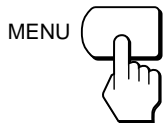
AUTOボタンを押しても、画像がちらついたり、にじんだりしているとき

手動でピッチやフェーズなどを調整することもできます(12ページ)。

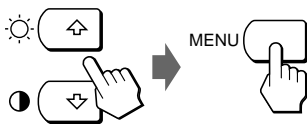
メニュー言語を選ぶ

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語の中から、選べます。

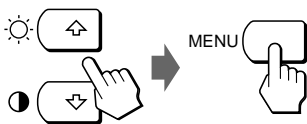
- 1** MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



- 2** 上下ボタンを押して、「LANGUAGE」を選び、
MENUボタンを押す。
LANGUAGE画面が表示されます。



- 3** 上下ボタンを押して、希望の言語を選び、
MENUボタンを押す。
MENU画面に戻ります。



画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

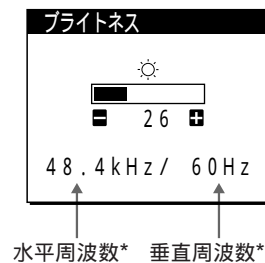
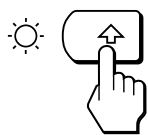
調整を始める前に

本機とコンピューターを接続し、両方の電源を入れてください。電源を入れて、30分以上経過してから調整すると、最適な調整ができます。

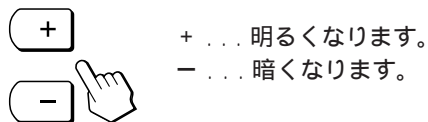
画像の明るさを調整する

この調整は、入力信号が変わっても保持されます。

- 1 ☀ (明るさ) ボタンを押す。
ブライトネス調整画面が表示されます。



- 2 + / - ボタンで調整する。



調整画面は、約3秒後に自動的に消えます。

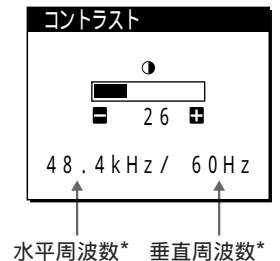
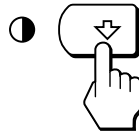
* ブライトネス調整画面には、現在入力されている信号の水平周波数 / 垂直周波数も表示されます。

暗い部屋などで使用しているときに画面全体がまぶしい場合はバックライトを調整します。(15ページ)

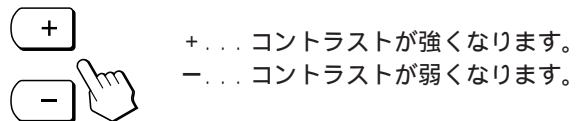
コントラストを調整する

この調整は、入力信号が変わっても保持されます。

- 1 ● (コントラスト) ボタンを押す。
コントラスト調整画面が表示されます。



- 2 + / - ボタンで調整する。



調整画面は、約3秒後に自動的に消えます。

* コントラスト調整画面には、現在入力されている信号の水平周波数 / 垂直周波数も表示されます。

メニュー画面について

本機はメニュー画面を使って様々な調整(設定)をすることができます。

メニュー画面を日本語にするには、「メニュー言語を選ぶ」をご覧ください(9ページ)。



終了

MENU画面を消すときに選びます。

フェーズ調整

フェーズ調整画面を表示します。文字や画像が全体的に鮮明でないときに調整します。フェーズ調整は、ピッチ調整をした後で行います。

ピッチ調整

ピッチ調整画面を表示します。文字や画像が部分的に鮮明でないときに調整します。

位置調整

位置調整画面を表示します。画像を画面の中央に表示させるときに選びます。

ズーム

ズーム画面を表示します。画面全体に表示するか、画像本来の解像度で表示するかを選びます。

色温度調整

色温度調整画面を表示します。色温度を変えたり、調整したりするときを選びます。

LANGUAGE

LANGUAGE画面を表示します。メニュー言語を変えるときを選びます。

オプション

オプション項目を表示します。オプション画面では、バックライトや、メニュー画面の位置やパワーセービング状態になるまでの時間を設定することができます。また、調整ボタンをロックすることもできます。

ユーティリティディスクについて

付属のユーティリティディスクには、調整用のテストパターンが入っています。ピッチ調整、フェーズ調整、位置調整のときに、このテストパターンを画面に表示させ、調整の目安にしてください。

ピッチ調整

画面に縦縞が出たり、画面の一部がちらついたり、にじんだりしている場合に行います。テストパターンの大きな縦縞がなくなるように調整します。

フェーズ調整

画面全体がちらついたり、にじんだりしている場合、または横縞が出ている場合に行います。テストパターンの横縞が最少になるように調整します。

位置調整

画像の位置が画面の中央からずれている場合に行います。テストパターンの外周の赤枠が全部、画面に入るように調整します。

テストパターンの使いかた

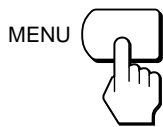
- 1 「ズーム」を「REAL MODE」にする。(13ページ)
- 2 ユーティリティディスクを起動して、テストパターンを表示する。
お使いのコンピューターに合ったディスクをお使いください。
Windows 95/98の場合
Windows Monitor Information Disk/Utility Disk
Macintoshの場合
Macintosh用Utility Disk
- 3 メニューで調整項目を選び、調整する。(12、13ページ)
- 4 調整が終わったら、画面上の[END]をクリックして、テストパターンを消す。

画像をくっきりさせる

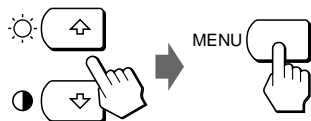
画像の一部がちらついたり、にじんでいたるときは、AUTOボタンを押してください。それでも、直らない場合は、下記のようにピッチ調整とフェーズ調整を行います。
この調整は、現在入力されている信号に対してのみ有効です。

1 ユーティリティディスクを起動させる。(11ページ)

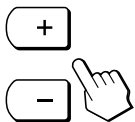
2 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



3 ↓/↑ボタンを押して、「ピッチ調整」を選び、MENUボタンを押す。
ピッチ調整画面が表示されます。

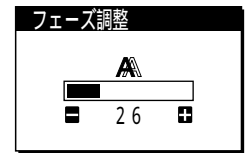
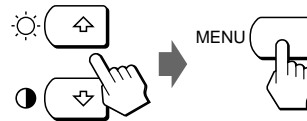


4 + / - ボタンで、ずれがなくなるまで調整する。
ユーティリティディスクをお使いの場合は、縦方向の大きな縞がなくなるように調整します。

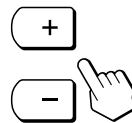


5 MENUボタンを押す。
MENU画面に戻ります。
画面全体にまだ横縞が見られる場合は、続いてフェーズ調整を行います。

6 ↓/↑ボタンを押して、「フェーズ調整」を選び、MENUボタンを押す。
フェーズ調整画面が表示されます。



7 + / - ボタンで、ずれがなくなるまで調整する。
ユーティリティディスクをお使いの場合は、横方向の縞が最少になるように調整します。



調整画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

テストパターンを消すには、画面上の[END]をクリックします。

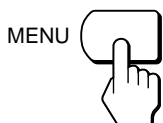
画像の位置を調整する

画像の位置が画面の中央からずれているときは、AUTOボタンを押してください。それでも、直らない場合は、下記のように位置調整画面で調整します。

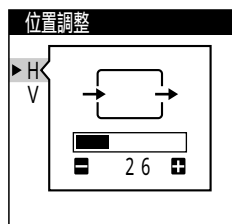
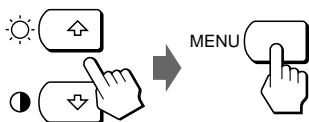
この調整は、現在入力されている信号に対してのみ有効です。

1 ユーティリティディスクを起動させる。(11ページ)

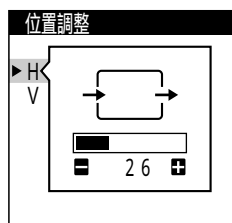
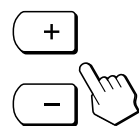
2 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



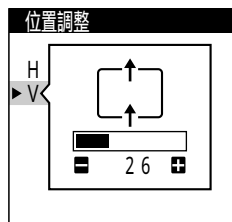
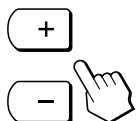
3 上下ボタンを押して、「位置調整」を選び、MENUボタンを押す。
位置調整画面が表示されます。



4 水平方向は、上下ボタンを押して「H」を選び、+ / - ボタンで調整する。
+ ... 右に移動します。
- ... 左に移動します。



垂直方向は、上下ボタンを押して「V」を選び、+ / - ボタンで調整する。
+ ... 上に移動します。
- ... 下に移動します。



調整画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

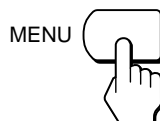
テストパターンを消すには、画面上の[END]をクリックします。

本来の解像度で表示する

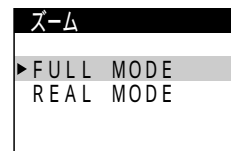
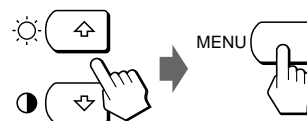
工場出荷時は、画像を解像度にかかわらず、画面いっぱいに表示する設定になっています。画像を、本来の解像度で見ることできます。

この設定は、現在入力されている信号に対してのみ有効です。

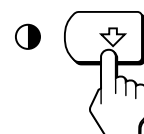
1 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



2 上下ボタンを押して、「ズーム」を選び、MENUボタンを押す。
ズーム画面が表示されます。



3 下ボタンを押して「REAL MODE」を選び、MENUボタンを押す。
MENU画面に戻ります。



調整画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

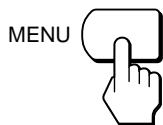
画面いっぱいに表示されるようにするには

手順3で上下ボタンを押して、「FULL MODE」を選びます。

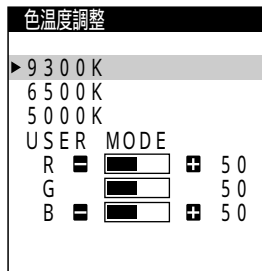
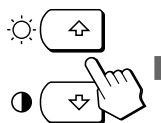
色温度を変える・調整する

色温度は、工場出荷時に9300Kに設定されています。9300Kの他に、6500Kまたは5000Kに設定できます。また、赤と青を調整して、好みの色にすることもできます。印刷される色と同じ色を画面上で再現したいときなどに使います。この調整は、入力信号が変わっても保持されます。

- 1 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。

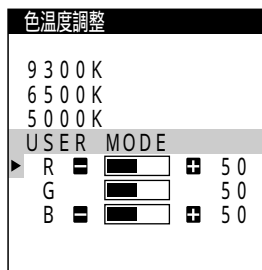
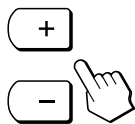


- 2 上/下ボタンを押して、「色温度調整」を選び、MENUボタンを押す。
色温度調整画面が表示されます。



- 3 上/下ボタンを押して、色温度を選ぶ。
調整をする場合は、手順4へ進みます。
調整をしない場合は、MENUボタンを押すと、MENU画面に戻ります。

- 4 上/下ボタンを押して「R(赤)」または「B(青)」を選び、+/-ボタンを押して、希望の色になるまで調整する。
G(緑)を基準として、RやBを増減して色温度を変えますので、Gは固定されています。

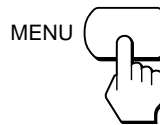


調整画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

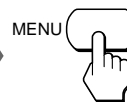
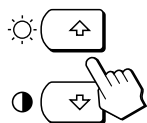
メニュー画面の表示位置を変える

メニュー画面があるためにその部分の画質が調整できないときなどに、メニュー画面を移動します。

- 1 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



- 2 上/下ボタンを押して、「オプション」を選び、MENUボタンを押す。
オプション画面が表示されます。



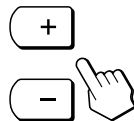
- 3 上/下ボタンを押して、「OSD(水平位置)」または「OSD(垂直位置)」を選ぶ。

水平方向の位置を調整するとき

垂直方向の位置を調整するとき



- 4 +/-ボタンを押して、希望の位置に移動する。



オプション画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

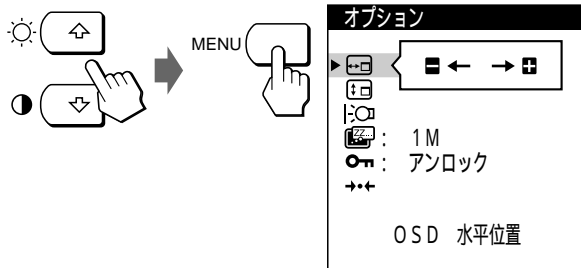
バックライトを調整する

暗い場所で使用しているときに、画面が明るすぎてまぶしいときは、バックライトを調整して見やすくします。

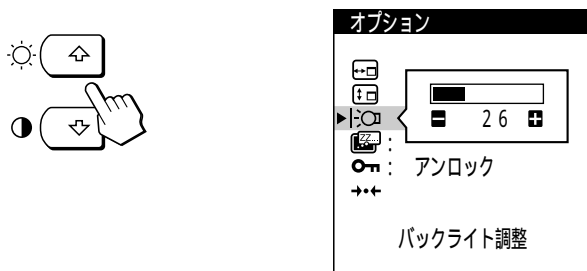
- 1 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



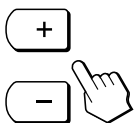
- 2 上下ボタンを押して、「オプション」を選び、MENUボタンを押す。
オプション画面が表示されます。



- 3 上下ボタンを押して、「バックライト調整」を選ぶ。



- 4 + / - ボタンを押して、希望の明るさにする。



オプション画面は、約30秒後に自動的に消えます。すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

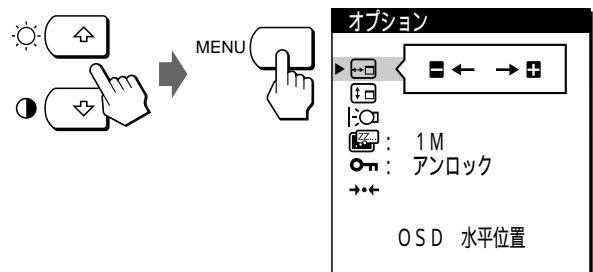
パワーセービング状態になる時間を設定する

パワーセービングディレイ機能を使って、パワーセービング状態になるまでの時間を早める、または遅らせることができます。パワーセービング機能についての詳しい説明は18ページをご覧ください。

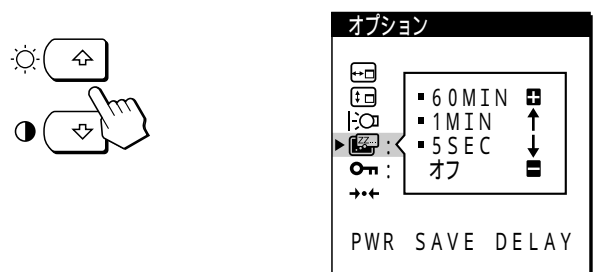
- 1 MENUボタンを押す。
MENU画面が表示されます。



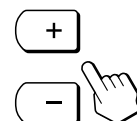
- 2 上下ボタンを押して、「オプション」を選び、MENUボタンを押す。
オプション画面が表示されます。



- 3 上下ボタンを押して、「PWR SAVE DELAY」を選ぶ。



- 4 + / - ボタンを押して希望の時間を選ぶ。



設定を「オフ」にすると、本機はパワーセービング状態になりません。

オプション画面は、約30秒後に自動的に消えます。すぐ消すには、MENUボタンをもう一度押します。

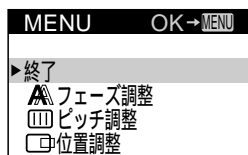
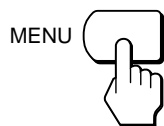
調整や設定をロックする

コントロールロック機能を使って、 \odot (電源) スイッチと MENU ボタン、および本体前面のボタンの一部を除いて、操作できないようにすることができます。

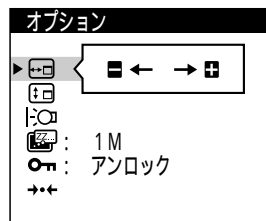
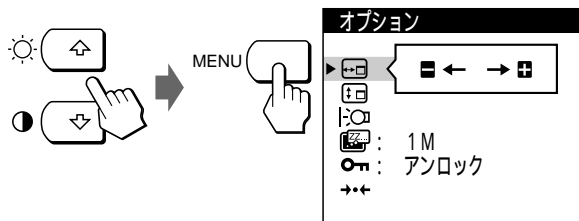
「ロック」にすると、MENU 画面で選ぶことができる項目は「終了」と、「オプション」の「コントロールロック」と「FACTORY PRESET」のみになります。

操作できないボタンを押すと、「 \odot 」マークが表示されます。

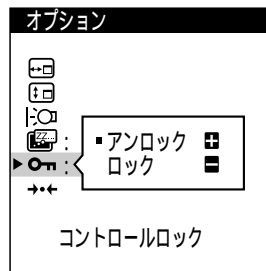
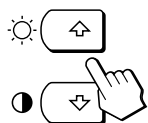
- 1 MENU ボタンを押す。
MENU 画面が表示されます。



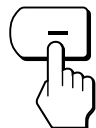
- 2 \updownarrow ボタンを押して、「オプション」を選び、MENU ボタンを押す。
オプション画面が表示されます。



- 3 \updownarrow ボタンを押して、「 \odot (コントロールロック)」を選ぶ。



- 4 $-$ ボタンを押して、「ロック」を選ぶ。



オプション画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENU ボタンをもう一度押します。

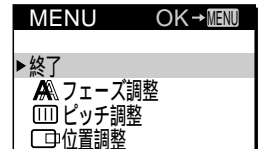
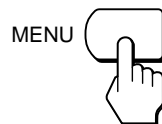
コントロールロック機能を解除するには

上記の手順4で、 $+$ ボタンを押して「アンロック」を選びます。

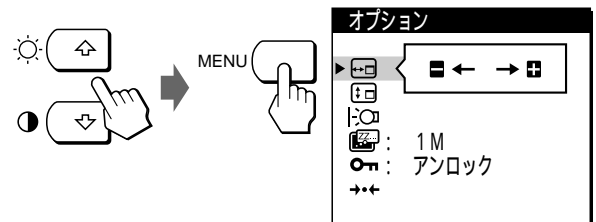
工場出荷時の設定に戻す

本機で行った調整や設定を、すべて工場出荷時に戻すことができます。工場出荷時の設定に戻すと、色温度は9300Kに、ズームはフルモードに、パワーセービングディレイは1分になります。コントロールロックは解除されます。その他の調整は、工場出荷時の調整に戻ります。ただし、メニュー言語の設定は変わりません。

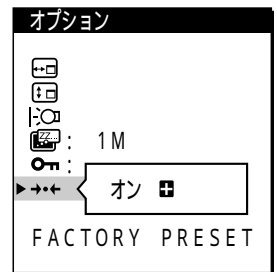
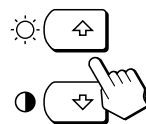
- 1 MENU ボタンを押す。
MENU 画面が表示されます。



- 2 \updownarrow ボタンを押して、「オプション」を選び、MENU ボタンを押す。
オプション画面が表示されます。



- 3 \updownarrow ボタンを押して、「 $\rightarrow\leftarrow$ (FACTORY PRESET)」を選ぶ。



- 4 $+$ ボタンを押す。



オプション画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐ消すには、MENU ボタンをもう一度押します。

本機の対応信号と機能

本機は工場出荷時に、下記の代表的なモードがあらかじめ設定されています。

新しい入力信号が入力されると、本機は適切な信号モードを選び、高画質の画像を表示するように調整され、同じ入力信号が入力されるたびに同じモードが選ばれるようになります。

モード	解像度	水平周波数	グラフィック	
			垂直周波数	モード
1	-	15.625 kHz	50 Hz	625I
2	-	15.75 kHz	60 Hz	525I
3	640 × 350	31.5 kHz	70 Hz	MCGA
4	640 × 400	31.5 kHz	70 Hz	NEC PC-98
5	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	VGA-G
6	640 × 480	35.0 kHz	67 Hz	Macintosh 13" カラー
7	640 × 480	37.5 kHz	75 Hz	EVGA
8	640 × 480	43.3 kHz	85 Hz	VESA
9	720 × 400	31.5 kHz	70 Hz	VGAテキスト
10	720 × 400	37.9 kHz	85 Hz	VESA
11	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	SVGA
12	800 × 600	46.9 kHz	75 Hz	ESVGA
13	800 × 600	53.7 kHz	85 Hz	VESA
14	832 × 624	49.7 kHz	75 Hz	Macintosh 16" カラー
15	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	VESA
16	1024 × 768	56.5 kHz	70 Hz	VESA
17	1024 × 768	60.0 kHz	75 Hz	EUVGA
18	1024 × 768	60.2 kHz	75 Hz	Macintosh 19" カラー
19	1024 × 768	68.7 kHz	85 Hz	VESA

工場出荷時の信号モード以外の入力信号に対しては、マルチスキャン機能により必要な調整が行われますが、画像の位置などの微調整が必要な場合があります。その場合は、AUTOボタンを押すか、「画面の調整」に従って調整してください。調整値は、自動的にユーザーモードとして設定され、同じ入力信号が入力されるたびに選ばれるようになります。

推奨する水平、垂直周波数のタイミングは
 水平同期幅率：水平周波数タイミングの合計の4.8%以上
 水平ブランキング幅：2.5μs以上
 垂直ブランキング幅：450μs以上

解像度と色数を設定するには
 コンピューターの取扱説明書をご覧ください。
 カラーパレットの設定と表示される色数は、以下のとおりです。色数は、コンピューターやグラフィックボードの性能によって制限されます。

- High Color(16ビット)→65536色
- True Color(24ビット)→約1677万色

True Color(24ビット)に設定すると、画面の描画速度が少し遅くなります。

J

パワーセービング機能

本機は、VESA、NUTEKおよびENERGY STARのパワーセービングガイドラインに対応しています。DPMS (Display Power Management Signaling) に対応しているコンピューターやグラフィックボードに接続して操作すると、自動的に下記の3段階のパワーセービング(省電力)状態で動作します。

パワーセービング状態になるまでの時間は、メニュー画面で設定することができます。15ページの「パワーセービング状態になる時間を設定する」に従って設定してください。

ご注意

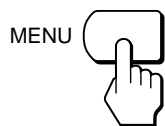
ビデオ信号が入力されていないときは、画面に「NO INPUT SIGNAL」という警告表示(19ページ)が表示されます。設定した時間を過ぎると、直接アクティブオフ状態になりインジケータの点灯がオレンジ色に変わります。水平・垂直同期信号が入力されると自動的に通常の動作状態になります。

状態	画面	水平同期信号	垂直同期信号	電力消費量 本体 (ACアダプターを含む)	復帰するまでの時間	インジケータ
1 通常動作	通常表示	有り	有り	CPD-L133 30W (42W) CPD-L150 25W (35W)	—	緑点灯
2 スタンバイ (第1段階)	画像無し	無し	有り	CPD-L133 1.5W (4W) CPD-L150 1.5W (4W)	約3秒	緑、オレンジ点滅
3 サスペンド (第2段階)	画像無し	有り	無し	CPD-L133 1.5W (4W) CPD-L150 1.5W (4W)	約3秒	緑、オレンジ点滅
4 アクティブオフ (第3段階)	画像無し	無し	無し	CPD-L133 1.5W (4W) CPD-L150 1.5W (4W)	約10秒	オレンジ点灯
5 電源オフ	—	—	—	CPD-L133 1.5W (4W) CPD-L150 1.5W (4W)	—	消灯

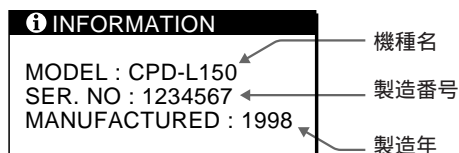
INFORMATION画面を表示する

本機の機種名、製造番号、製造年をINFORMATION画面で確認できます。

MENUボタンを5秒間押す。
INFORMATION画面が表示されます。



例



INFORMATION画面は、約30秒後に自動的に消えます。
すぐに消すには、MENUボタンをもう一度押します。

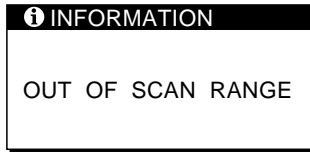
プラグ&プレイ

本機は、VESA標準のDisplay Data Channel (DDC™)規格である、DDC1とDDC2Bに対応しています。DDC1のホストシステムが接続されているときは、本機はVESAスタンダードに基づき、V.CLKに同期してデータラインへEDID (Extended Display Identification Data) を出力します。

DDC™は、Video Electronics Standard Associationの登録商標です。

入力信号警告表示

入力信号が正常でないときに、画面に次のような警告表示が表示されます。



OUT OF SCAN RANGE

入力信号が本機の仕様に合っていない。

NO INPUT SIGNAL

信号が入力されていない。

警告表示が出た場合は、下記の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

故障かな?と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、下記の事項をご確認ください。

症状	原因と対策
画像が出ない	
⦿インジケーターが点灯していないとき	<ul style="list-style-type: none">電源コードを接続し直す。⦿(電源)スイッチが入っていない。
「NO INPUT SIGNAL」という警告表示が出ているか、⦿インジケーターがオレンジ色に点灯しているとき	<ul style="list-style-type: none">コンピューターがパワーセービング状態になっていると、画面が表示されません。コンピューターのキーボードのキーのどれかを押してみてください。コンピューターの電源が入っていない。入力信号が正しく設定されていない。ビデオ信号ケーブルが接続されていない、またはゆるんでいる。(MacintoshやPC-98シリーズの場合は、変換アダプターをつなぐ。)HD15ビデオ信号ケーブルのピンが曲がっている。
「OUT OF SCAN RANGE」という警告表示が出ているとき	<ul style="list-style-type: none">入力信号の周波数が、本機の仕様に適合していない。(水平周波数: 30~70kHz、垂直周波数: 50~85Hz)コンピューターの取扱説明書に従って、入力信号の周波数を調整してください。変換アダプターを使用しているときは、アダプターに異常がないかを確認する。
Macintoshシステムと接続しているとき	<ul style="list-style-type: none">Macintosh用変換アダプターに異常がないかを確認する。
NEC PC-98シリーズのコンピューターと接続しているとき	<ul style="list-style-type: none">本機は、水平周波数24.8kHz、解像度640×400ドット表示モードには対応していません。キーボードの「GRAPH」キーと「2」キーを押しながら、コンピューターの電源を入れて、水平周波数を31.5kHzに変えてください。(7ページ)
Windows 95/98を使用しているとき	<ul style="list-style-type: none">本機とつなぎ換えたディスプレイがあるときは、それをつないで、画像が出たら以下を行ってください。Windows 95/98のデバイス選択画面で製造元にSONYを選び、本機の型名(CPD-L133またはCPD-L150)を選びます。本機の型名が表示されないときは、「プラグアンドプレイ」を選ぶか、「Windows Monitor Information Disk/Utility Disk」からソニーコンピューターディスプレイの新機種情報をインストールします(8ページ)。

[次のページへつづく](#)

症状	原因と対策
画像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> バックライトを調整する(15ページ) ブライトネスを調整する(10ページ) 電源を入れた後、画面が明るくなるまで多少時間がかかります。そのままお待ちください。
画像が乱れている	<ul style="list-style-type: none"> AUTOボタンを押す(8ページ)。それでも直らない場合は、ピッチとフェーズを調整する(12ページ)。 入力しようとしている信号のグラフィックモードと周波数を確認する。グラフィックモードと周波数が本機で使用できる範囲であっても、コンピューターによっては同期パルス幅が狭すぎて正しく同期がとれない場合があります。
色むらがある	<ul style="list-style-type: none"> AUTOボタンを押す(8ページ)。それでも直らない場合は、ピッチとフェーズを調整する(12ページ)。
前面パネルのボタンでモニターを調整することができない	<ul style="list-style-type: none"> コントロールロックが「ロック」になっている。オプション画面でコントロールロックを「アンロック」にする(16ページ)
白色が白く見えない	<ul style="list-style-type: none"> 色温度を調整する(14ページ)
画像の位置がずれている	<ul style="list-style-type: none"> AUTOボタンを押す(8ページ) 画像の位置を調整する(13ページ) 信号やコンピューターによっては、画像が画面いっぱいまで広がらない場合があります。
画像の大きさが正しくない	<ul style="list-style-type: none"> 「ズーム」の設定を確認する(13ページ)
画像がくっきりしていない	<ul style="list-style-type: none"> AUTOボタンを押す(8ページ)。それでも直らない場合は、ピッチとフェーズを調整する(12ページ) コントラストや明るさを調整する(10ページ)
画像が上下にゆれる、波状に乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 違う回線の電源につないでみる。 本機を違うコンピューターに接続してみる。
画像がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> AUTOボタンを押す(8ページ)。それでも直らない場合は、ピッチとフェーズを調整する(12ページ)
画像が二重、三重になる	<ul style="list-style-type: none"> 延長コードや映像切り換え機の使用をやめる。コードが長すぎることや接続がゆるいことなどが原因です。
波模様や縦縞が出る	<ul style="list-style-type: none"> AUTOボタンを押す(8ページ)。それでも直らない場合は、ピッチとフェーズを調整する(12ページ)

- 故障のときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。
- お問い合わせのときは、本機の製品名と製品番号、接続しているコンピューターとビデオボードの仕様および名称をお知らせください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの販売店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

→「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

→ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

→ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

→ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、コンピューターディスプレイの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては、修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名 : CPD-L133、CPD-L150

製造番号 :

故障の状態 : できるだけくわしく

購入年月日 :

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

J

主な仕様

LCDパネル

a-Si TFT アクティブマトリックス

画面サイズ：

CPD-L133 13.3インチ(33.8cm)

CPD-L150 15.0インチ(38cm)

入力信号フォーマット

RGB動作周波数

水平：15.625kHz(625インターレース信号)

15.75kHz(525インターレース信号)

30~70kHz

垂直：50~85Hz

有効画素率

99.99%

解像度

水平：最大1024ドット

垂直：最大768ライン

電源電圧

使用電源：AC100~240V/50-60Hz

入力電源：DC12V(専用ACアダプター)

消費電力量

CPD-L133

本体：30W(最大)

ACアダプターを含む：42W(最大)

CPD-L150

本体：25W(最大)

ACアダプターを含む：35W(最大)

最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)

CPD-L133

スタンド付：

約373×358×165mm

スタンドなし：

約373×272×71mm

CPD-L150

スタンド付：

約398×366×165mm

スタンドなし：

約398×291×71mm

質量

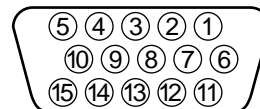
CPD-L133 約4.9kg(スタンドを含む)

CPD-L150 約5.3kg(スタンドを含む)

付属品

6ページをご覧ください。

ピン配列



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	R(赤)	8	B(青)アース
2	G(緑) (Composite Sync on Green)	9	DDC + 5V*
		10	アース
		11	ID(アース)
3	B(青)	12	データライン (SDA)*
4	ID(アース)	13	水平同期
5	DDCアース*	14	垂直同期
6	R(赤)アース	15	クロックライン (SCL)*
7	G(緑)アース		

* VESAによるDisplay Data Channel(DDC)規格

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- ディスプレイを落したり、キャビネットを破損したときは



① 電源プラグをコンセントから抜く

② お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

TABLE OF CONTENTS

Getting Started

Precautions	4
Identifying Parts and Controls	5
Setup	6
Automatically Adjusting the Picture	8
Selecting the On-Screen Display Language	8

Customizing Your Monitor

Adjusting the Picture Brightness	9
Adjusting the Contrast	9
Introducing the On-Screen Display System	10
Using the Utility Disk	10
Eliminating Flickering or Blurring	11
Adjusting the Picture Position	12
Displaying the Picture at the Actual Resolution	12
Changing or Adjusting the Color Temperature	13
Changing the On-Screen Display Position	13
Adjusting the Backlight	14
Setting the Power Saving Delay Time	14
Locking the Controls	15
Resetting the Adjustments	15

EN

Technical Features

Preset and User Modes	16
Power Saving Function	17
Displaying the INFORMATION OSD	17
Plug & Play	17

Additional Information

Warning Messages	18
Troubleshooting	18
Specifications	20

- Macintosh is a trademark licensed to Apple Computer, Inc., registered in the U.S.A. and other countries.
- Windows® and MS-DOS are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- IBM PC/AT and VGA are registered trademarks of IBM Corporation of the U.S.A.
- VESA is a trademark of Video Electronics Standard Association.
- ENERGY STAR is a U. S. registered mark.
- All other product names mentioned herein may be the trademarks or registered trademarks of their respective companies.
- Furthermore, "™" and "®" are not mentioned in each case in this manual.

Precautions

Installation

- Prevent internal heat build-up by allowing adequate air circulation. Do not place the monitor on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the monitor near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- Do not place the monitor near equipment which generates magnetism, such as a transformer or high voltage power lines.

Handling the LCD screen

- Bright points of light (red, blue or green) may appear on the LCD screen. This is not a malfunction. The LCD screen is made with high-precision technology and more than 99.99 % of the picture element is intact. However, some of the picture element may not appear or some of the picture element may appear constantly.
- Do not leave the LCD screen facing the sun as it can damage the LCD screen. Take care when you place the monitor by a window.
- Do not push or scratch the LCD screen. Do not place a heavy object on the LCD screen. This may cause the screen to lose uniformity.
- If the monitor is used in a cold place, a residual image may appear on the screen. This is not a malfunction. When the monitor becomes warm, the screen returns to normal.
- If a still picture is displayed for a long time, a residual image may appear. The residual image will eventually disappear.
- The screen and the cabinet become warm during operation. This is not a malfunction.

Replacement of the fluorescent tube

A specially designed fluorescent tube is installed as the lighting apparatus for this monitor. If the LCD screen becomes dark, unstable or does not turn on, replace the fluorescent tube with a new one. Consult your Sony dealer when replacing the fluorescent tube.

Maintenance

- Clean the cabinet, panel and controls with a soft cloth lightly moistened with a mild detergent solution. Do not use any type of abrasive pad, scouring powder or solvent, such as alcohol or benzene.
- Do not rub, touch, or tap the surface of the screen with sharp or abrasive items such as a ballpoint pen or screwdriver. This type of contact may result in a scratched picture tube.
- Clean the screen with a soft cloth. If you use a glass cleaning liquid, do not use any type of cleaner containing an antistatic solution or similar additive as this may scratch the screen's coating.

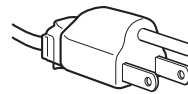
Transportation

- When you transport this monitor, grip the bottom of the screen firmly with both hands. If you drop the monitor, you may be injured or the monitor may be damaged.
- When you transport this monitor for repair or shipment, use the original carton and packing materials.

Warning on power connection

- Use an appropriate power cord for your local power supply.
For the customers in the UK
If you use the monitor in the UK, please use the supplied UK cable with the UK plug.

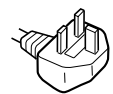
Examples of plug types



for 100 to 120 V AC



for 200 to 240 V AC



for 240 V AC only

The outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

Mounting on a wall or an arm

Ask a specialist to mount the monitor on a wall or an arm. Do not mount the monitor yourself.

Disposal of the monitor

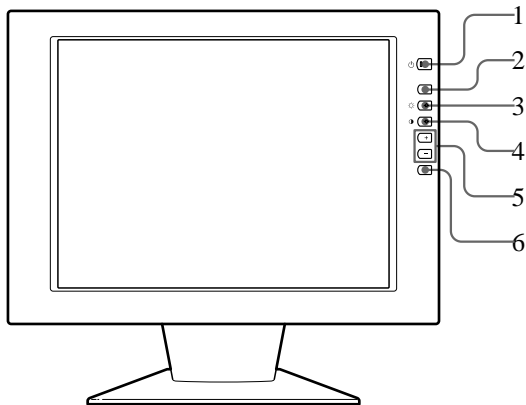
- Do not dispose of the monitor with general waste. Do not include the monitor with household waste.
- The fluorescent tube includes mercury. Dispose of the monitor in accordance with the regulations of your local sanitation authority.

Identifying Parts and Controls

See the pages in parentheses for further details.

CPD-L150 is used for illustration purposes throughout this manual.

Front

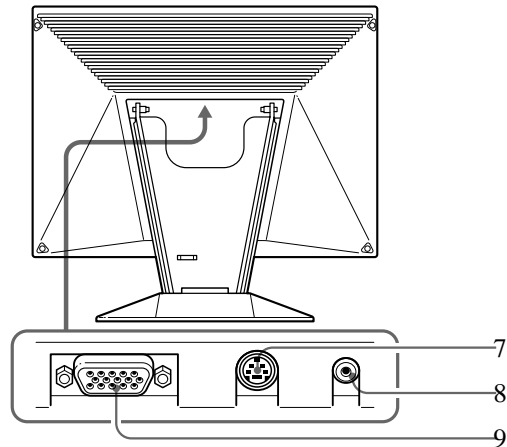


- 1 **u (power) switch and indicator (pages 8, 17)**
Turns the monitor on or off.
The indicator lights up in green when the monitor is turned on, and either flashes in green and orange or lights up in orange when the monitor is in power saving mode.
- 2 **MENU (menu) button (pages 8, 11 – 15, 17)**
Displays the MENU OSD (On-Screen Display).
- 3 **< (brightness) (∅) button (pages 8 – 9, 11 – 15)**
Adjusts the picture brightness.

Functions as the ∅ button when selecting menu items.
- 4 **> (contrast) (‡) button (pages 8 – 9, 11 – 15)**
Adjusts the contrast.

Functions as the ‡ button when selecting menu items.
- 5 **+/- (adjust) buttons (pages 9, 11 – 15)**
Adjusts the selected menu item.
- 6 **AUTO button (pages 8, 11)**
After you have connected this monitor, press the AUTO button to automatically adjust the picture to the computer.
You also should press this button if the picture is not centered or if it is fuzzy.

Rear

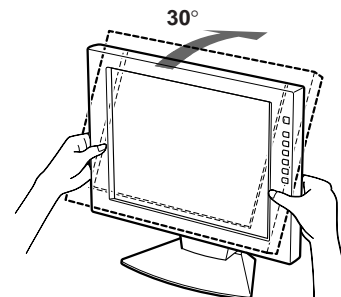


- 7 **External control connector**
Inputs the external control signal of RS-232 format.
Consult your dealer for further information.
- 8 **DC IN connector (page 6)**
Provides DC power to the monitor from the AC adaptor.
- 9 **RGB input connector (HD15) (page 6)**
Inputs analog RGB video signals (0.714 Vp-p, positive) and SYNC signals.

Use of the Tilt

Use the tilt feature to adjust the monitor to the desired angle within 30° vertically.

To turn the monitor vertically, hold it at the bottom with both hands as illustrated below.



Setup

Before using this monitor, check that the following items are included in your carton:

- LCD monitor (1)
- AC adaptor (1)
- Rear cover (1)
- Power cord (1)
- HD15 video signal cable (1)
- Macintosh adapter (1)
- Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (1)
- Macintosh Utility Disk (1)
- TCO'95 Eco-document (1)
- Warranty card (1)
- These operating instructions (1)

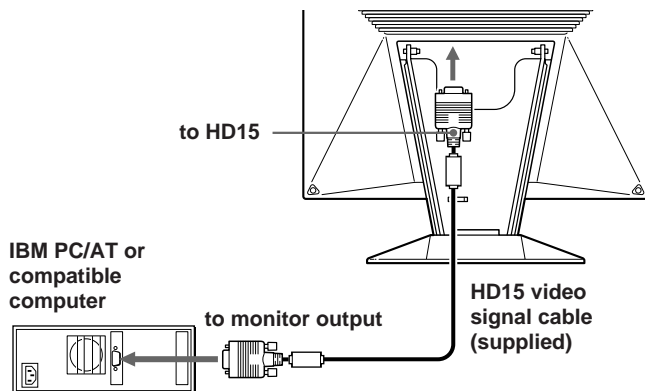
This monitor works with any IBM or compatible system equipped with VGA or greater graphics capability. Although this monitor works with other platforms running at horizontal frequencies between 30 and 70 kHz, including Macintosh and Power Macintosh systems, a cable adapter is required. Please consult your dealer for advice on which adapter is suitable for your needs. This monitor also can receive the RGB signals of the PAL and NTSC systems.

Step 1: Connect the monitor to the computer

With the computer switched off, connect the video signal cable to the monitor using the supplied HD15 video signal cable.

- If you are using an IBM PC/AT or compatible computer, refer to the section below.
- If you are using a Macintosh or compatible computer, refer to the following section, "Connecting to a Macintosh or compatible computer."

Connecting to an IBM PC/AT or compatible computer

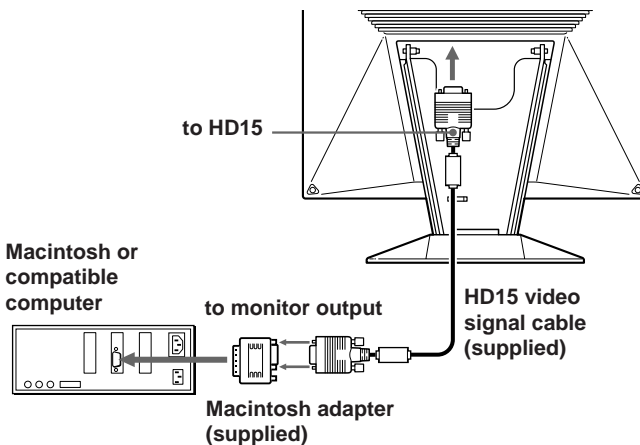


If your PC system is not compatible with DDC1 and DDC2B

This monitor uses the No. 9 pin in the video signal connector for DDC1 and DDC2B compatibility.

Some PC systems which are not compatible with either DDC1 or DDC2B may not accept the No. 9 pin. If you are not sure whether your PC system accepts the No. 9 pin or not, use the HD15 (Female) - HD15 (Male without the No. 9 pin) adapter (not supplied). Make sure the male side (without the No. 9 pin) is connected to the computer.

Connecting to a Macintosh or compatible computer

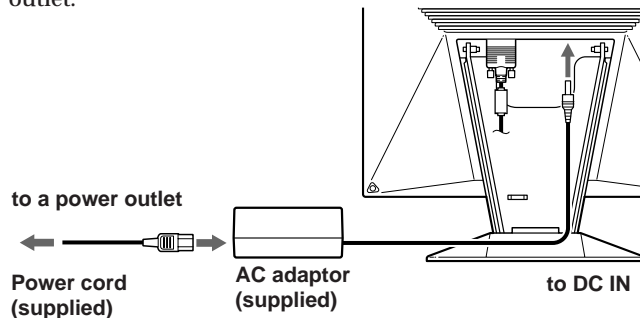


About the supplied Macintosh adapter

The supplied Macintosh adapter is compatible with Macintosh LC, Performa, Quadra and Power Macintosh series computers. Macintosh II series and some older versions of Power Book models may need an adapter with micro switches (not supplied).

Step 2: Connect the power cord

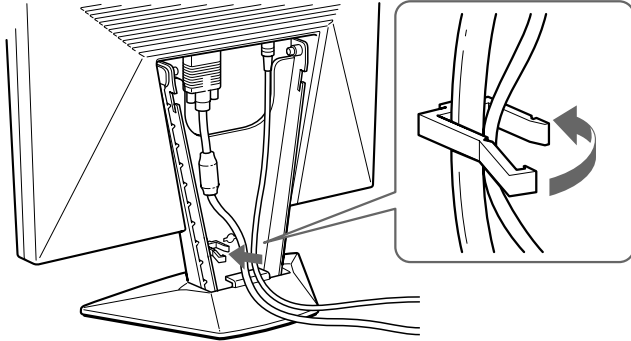
With the monitor switched off, connect one end of the DC power cord to the monitor and the other end to a power outlet.



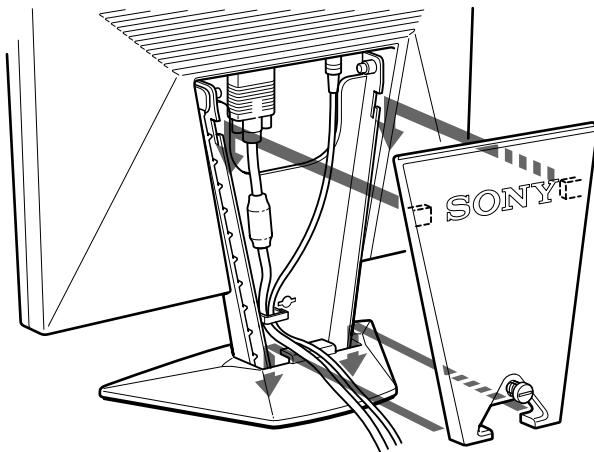
Step 3: Attaching the rear cover

After connecting the computer and power cord, attach the supplied rear cover. Make sure that you keep the screen upright when attaching the rear cover.

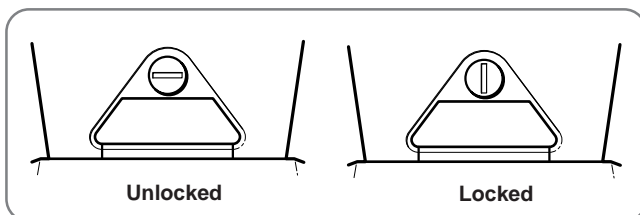
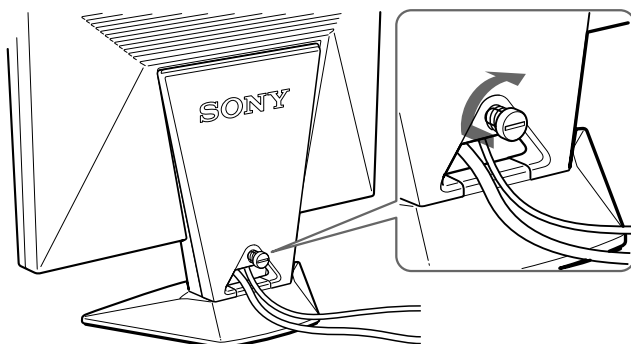
1 Hook the computer cable and power cord.



2 Insert the tabs on the back of the rear cover into the catches, and then push down.



3 Turn the screw to fasten the rear cover.



Step 4: Turning on the monitor and computer

First turn on the monitor, then turn on the computer. The installation of your monitor is complete.

Note

If "OUT OF SCAN RANGE" or "NO INPUT SIGNAL" appears on the screen, see "Warning Messages" on page 18.

For customers using Windows 95/98

To maximize the potential of your monitor, install the new model information file from the supplied Windows Monitor Information Disk/Utility Disk onto your PC.

This monitor complies with the "VESA DDC" Plug & Play standard. If your PC/graphics board complies with DDC, select "Plug & Play Monitor (VESA DDC)" or this monitor's model name as the monitor type in the "Control Panel" of Windows 95/98. If your PC/graphics board has difficulty communicating with this monitor, load the Windows Monitor Information Disk/Utility Disk and select this monitor's model name as the monitor type.

For customers using Windows NT4.0

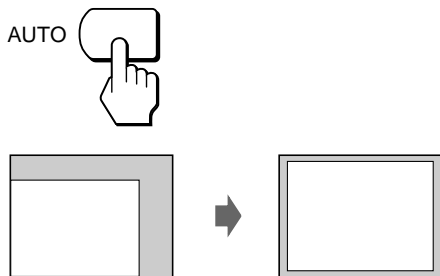
Monitor setup in Windows NT4.0 is different from Windows 95/98 and does not involve the selection of monitor type. Refer to the Windows NT4.0 instruction manual for further details on adjusting the resolution, refresh rate, and number of colors.

Automatically Adjusting the Picture

If the picture is flickering or fuzzy, press the AUTO button. The monitor is automatically adjusted to match the signal from the connected computer.

Further fine adjustments may be needed with some computers. In this case, manually adjust the monitor by referring to “Customizing Your Monitor” on page 9.

- 1 Turn on the monitor.
- 2 Turn on the computer.
- 3 Press the AUTO button.
The picture is adjusted to fit the center of the screen.



Notes

- This function is intended for use with a computer running Windows or similar graphic user interface software that provides a full-screen picture. It may not work properly if the background color is dark or if the input picture does not fill the screen to the edges (such as an MS-DOS prompt).
- The screen may go blank for a few seconds while performing the auto-sizing function. This is not a malfunction.

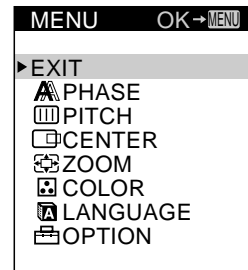
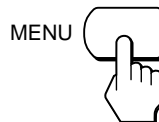
If the picture is flickering or fuzzy even after you press the AUTO button

Adjust the Pitch and Phase manually (page 11).

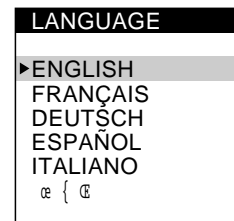
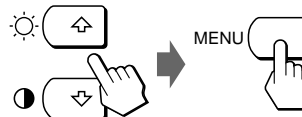
Selecting the On-Screen Display Language

You can select the OSD language from English, French, German, Spanish, Italian, and Japanese.

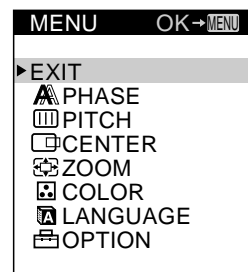
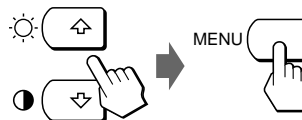
- 1 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



- 2 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select LANGUAGE, and press the MENU button.
The LANGUAGE OSD appears.



- 3 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select the desired language, and press the MENU button.
The MENU OSD of the selected language appears.



The OSD automatically disappears after about 30 seconds. To close the OSD, press the MENU button again.

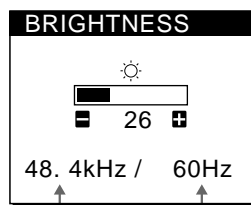
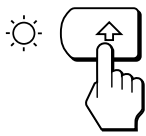
Before adjusting

Connect the monitor and the computer, and turn them on.
Wait for at least 30 minutes before making adjustments for the best result.

Adjusting the Picture Brightness

Once the brightness is adjusted, it will be stored in memory for all input signals received.

- 1 Press the < (brightness) \odot button.
The BRIGHTNESS OSD appears.



Horizontal Frequency* Vertical Frequency*

- 2 Press the +/- buttons.



+ ... for more brightness



- ... for less brightness

The OSD automatically disappears after about 3 seconds.

* The horizontal and vertical frequencies for the received input signal appear in the BRIGHTNESS OSD.

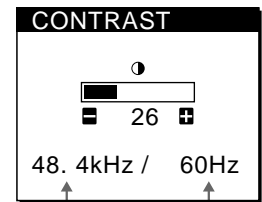
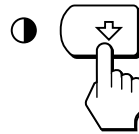
If the screen is too bright when using the monitor in a dark room

Decrease the BACKLIGHT (page 14).

Adjusting the Contrast

Once the contrast is adjusted, it will be stored in memory for all input signals received.

- 1 Press the > (contrast) \ddagger button.
The CONTRAST OSD appears.



Horizontal Frequency* Vertical Frequency*

- 2 Press the +/- buttons.



+ ... for more contrast



- ... for less contrast

The OSD automatically disappears after about 3 seconds.

* The horizontal and vertical frequencies for the received input signal appear in the CONTRAST OSD.

Introducing the On-Screen Display System

Most adjustments are made using the MENU OSD. To change the on-screen display language, see "Selecting the On-screen Display Language" (page 8).



EXIT

Closes the MENU OSD.

PHASE

Displays the PHASE OSD. Adjust the phase when the characters or pictures appear fuzzy throughout the entire screen. Adjust the phase after adjusting the pitch.

PITCH

Displays the PITCH OSD. Adjust the pitch when the characters or pictures are not clear at some parts of the screen.

CENTER

Displays the CENTER OSD for adjusting the centering of the picture.

ZOOM

Displays the ZOOM OSD for selecting the picture's display mode. Select FULL MODE to display the picture using the entire screen, or select REAL MODE to display the picture at its actual resolution.

COLOR

Displays the COLOR OSD for adjusting the color temperature.

LANGUAGE

Displays the LANGUAGE OSD for selecting the on-screen display language.

OPTION

Displays the OPTION OSD. You can adjust settings such as the backlight, OSD position, power saving delay time and control lock.

Using the Utility Disk

The supplied Utility Disk contains test patterns to be used for Pitch, Phase, and Centering adjustments. These test patterns will help you confirm that your adjustments are correct.

Pitch adjustment

Adjust the Pitch if vertical stripes appear on the screen, or a part of the screen flickers or blurs.

Adjust the screen so that the bold, vertical lines of the test pattern disappear.

Phase adjustment

Adjust the Phase if the entire screen flickers or blurs, or if horizontal stripes are observed on the screen.

Adjust the screen until the horizontal stripes are at a minimum.

Centering adjustment

Adjust the Centering if the picture is not centered.

Move the picture up, down, left, or right until the red frame at the perimeter of the test pattern disappears.

Using the test pattern

- 1 Set ZOOM to REAL MODE (page 12).
- 2 Load the supplied Utility Disk and display the test pattern.
Use the appropriate disk for your computer.
For Windows 95/98
Windows Monitor Information Disk/Utility Disk
For Macintosh
Macintosh Utility Disk
- 3 Select the pitch, phase, or centering from the monitor's MENU OSD, and adjust the screen while viewing the test pattern (pages 11, 12).
- 4 When you have finished, click [END] on the screen to turn off the test pattern.

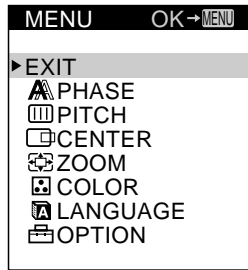
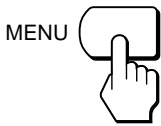
Eliminating Flickering or Blurring

If a part of the screen is flickering or blurring, press the AUTO button. If this operation does not work, adjust the Pitch and Phase as follows.

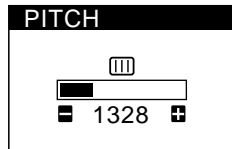
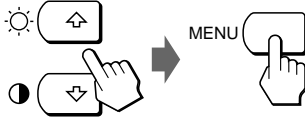
Once the pitch and phase are adjusted, they will be stored in memory for the current input signal.

1 Load the Utility Disk (page 10).

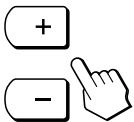
2 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



3 Press the \emptyset/\pm buttons to select PITCH, and press the MENU button again.
The PITCH OSD appears.

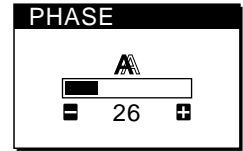
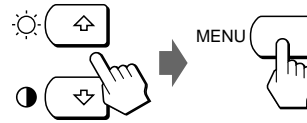


4 Press the +/- buttons until the screen color becomes uniform.
If you are using the Utility Disk, adjust so that the vertical stripes disappear.

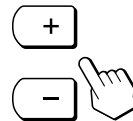


5 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.
If horizontal stripes are observed over the entire screen, adjust the Phase in the next step.

6 Press the \emptyset/\pm buttons to select PHASE, and press the MENU button again.
The PHASE OSD appears.



7 Press the +/- buttons until the screen color becomes uniform.
If you are using the Utility Disk, adjust until the horizontal stripes are at a minimum.



The OSD automatically disappears after about 30 seconds.
To close the OSD, press the MENU button again.

To turn off the test pattern, click [END] on the screen.

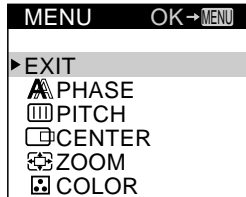
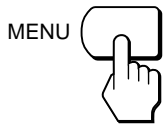
Adjusting the Picture Position

If the picture is not in the center of the screen, press the AUTO button. If this operation does not work, adjust the centering as follows.

Once the centering is adjusted, it will be stored in memory for the current input signal.

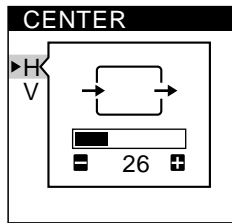
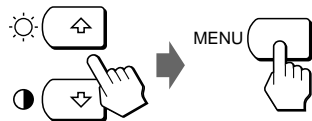
1 Load the Utility Disk (page 10).

2 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



3 Press the \emptyset/\pm buttons to select CENTER, and press the MENU button again.

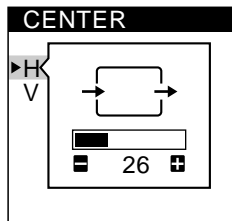
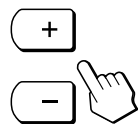
The CENTER OSD appears.



4 For horizontal adjustment, select H using the \emptyset/\pm buttons and adjust the position using the +/- buttons.

+ ... to move the picture right

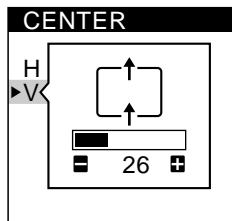
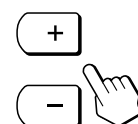
- ... to move the picture left



For vertical adjustment, select V using the \emptyset/\pm buttons and adjust the position using the +/- buttons.

+ ... to move the picture up

- ... to move the picture down



The OSD automatically disappears after about 30 seconds.
To close the OSD, press the MENU button again.

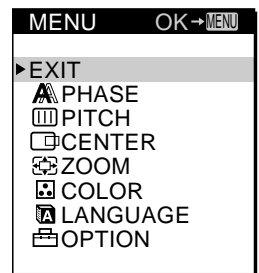
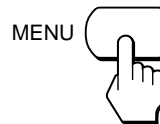
To turn off the test pattern, click [END] on the screen.

Displaying the Picture at the Actual Resolution

The monitor is set at the factory to display the picture on the screen in full, irrespective of the picture's resolution. You can also view the picture at its actual resolution.

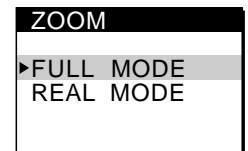
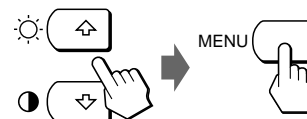
Once the zoom is set, it will be stored in memory for the current input signal.

1 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



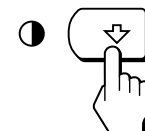
2 Press the \emptyset/\pm buttons to select ZOOM, and press the MENU button again.

The ZOOM OSD appears.



3 Press the \pm button to select REAL MODE, and press the MENU button again.

The MENU OSD appears.



The OSD automatically disappears after about 30 seconds.
To close the OSD, press the MENU button again.

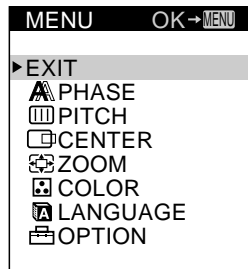
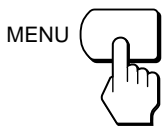
To display the picture on the screen in full

Press the \emptyset button in step 3 to select FULL MODE.

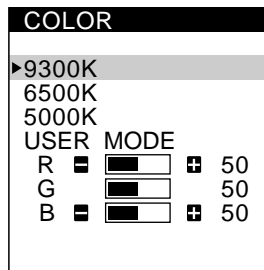
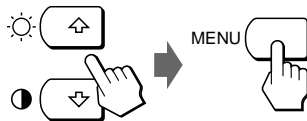
Changing or Adjusting the Color Temperature

The color temperature is set to 9300K at the factory. You can change the color temperature to 6500K or 5000K. Use this function to adjust the color temperature so that it matches the actual colors of a printed picture. Once the color temperature is adjusted, it will be stored in memory for all input signals received.

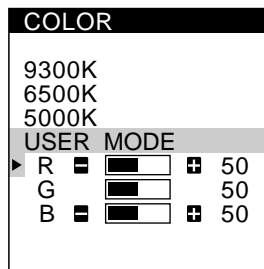
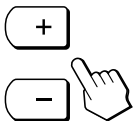
- 1 Press the MENU button. The MENU OSD appears.



- 2 Press the \emptyset/\ddagger buttons to select COLOR, and press the MENU button again. The COLOR OSD appears.



- 3 Press the \emptyset/\ddagger buttons to select the color temperature. If you need to make further adjustments to the selected color temperature, go to step 4. If you don't, press the MENU button. The MENU OSD appears.
- 4 Press the \emptyset/\ddagger buttons to select R (red) or B (blue), and press the +/- buttons to get the desired color. The color changes as the R or B components increase or decrease with respect to G (green).

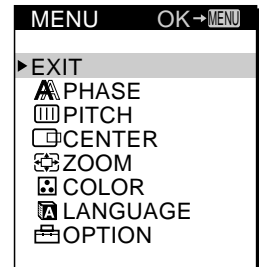
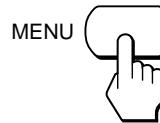


The OSD automatically disappears after about 30 seconds. To close the OSD, press the MENU button again.

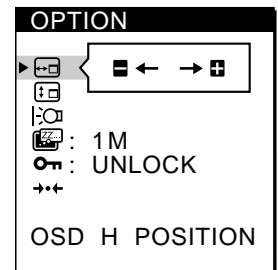
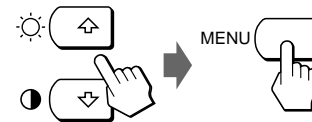
Changing the On-Screen Display Position

You can change the OSD position (for example, when you want to adjust the picture behind the OSD).

- 1 Press the MENU button. The MENU OSD appears.



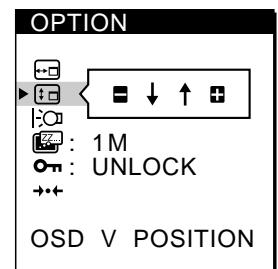
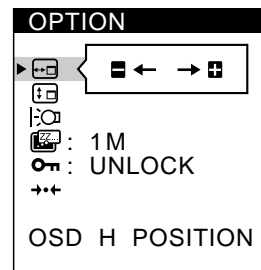
- 2 Press the \emptyset/\ddagger buttons to select OPTION, and press the MENU button again. The OPTION OSD appears.



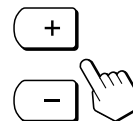
- 3 Press the \emptyset/\ddagger buttons to select $\left[\leftarrow \rightarrow \right]$ (OSD H POSITION) or $\left[\updownarrow \right]$ (OSD V POSITION).

To adjust the horizontal position

To adjust the vertical position



- 4 Press the +/- buttons to move the OSD to the desired position.



The OPTION OSD automatically disappears after about 30 seconds.

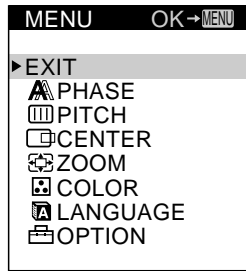
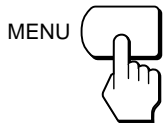
To close the OSD, press the MENU button again.

EN

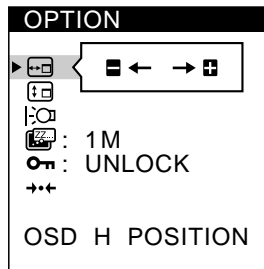
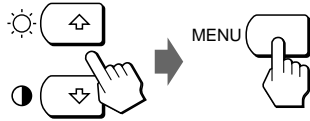
Adjusting the Backlight

If the screen is too bright when you are using the monitor in a dark room, adjust the backlight.

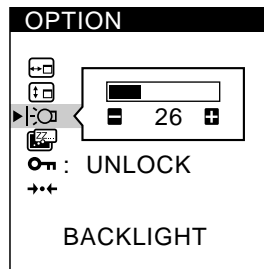
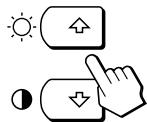
- 1 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



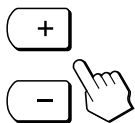
- 2 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select OPTION, and press the MENU button again.
The OPTION OSD appears.



- 3 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select ☀ (BACKLIGHT).



- 4 Press the +/- buttons to adjust the light level.



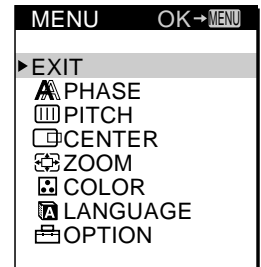
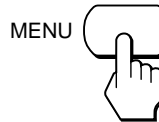
The OPTION OSD automatically disappears after about 30 seconds.

To close the OSD, press the MENU button again.

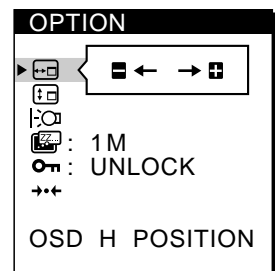
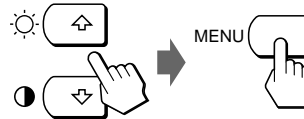
Setting the Power Saving Delay Time

You can set the delay time before the monitor enters the power saving mode. See page 17 for more information on this monitor's power saving capabilities.

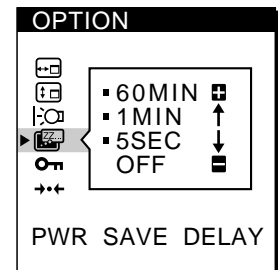
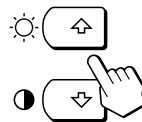
- 1 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



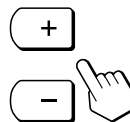
- 2 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select OPTION, and press the MENU button again.
The OPTION OSD appears.



- 3 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select ⏻ (PWR SAVE DELAY).



- 4 Press the +/- buttons to select the desired time.



When PWR SAVE DELAY is set to OFF, the monitor does not go into power saving mode.

The OPTION OSD automatically disappears after about 30 seconds.

To close the OSD, press the MENU button again.

Locking the Controls

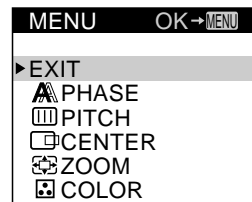
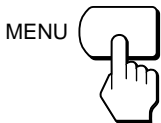
The control lock function disables all of the controls except the \cup (power) switch and MENU button.

Once you select "LOCK," you can select only the following items in the MENU OSD:

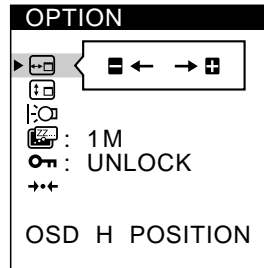
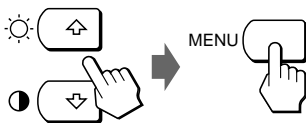
- EXIT
- CONTROL LOCK and FACTORY PRESET in the OPTION OSD


If you press any locked button, the  mark appears on the screen.

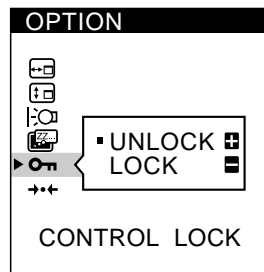
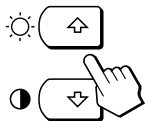
- 1 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



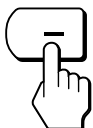
- 2 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select OPTION, and press the MENU button again.
The OPTION OSD appears.



- 3 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select  (CONTROL LOCK).



- 4 Press the - button to select LOCK.



The OPTION OSD automatically disappears after about 30 seconds.

To close the OSD, press the MENU button again.

To cancel the control lock

Press the + button in step 4 to select UNLOCK.

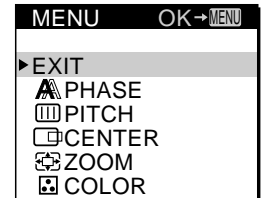
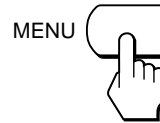
Download from www.Somanuals.com. All Manuals Search And Download.

Resetting the Adjustments

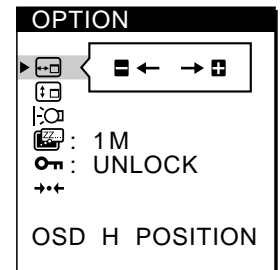
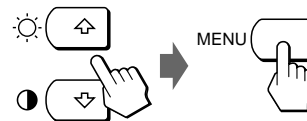
You can reset all of the adjustments and settings to the factory settings.

The color temperature is reset to 9300K, the zoom setting is reset to full mode, and the power saving delay time is reset to one minute. The control lock is cancelled. All other adjustments return to the default settings. The on-screen language, however, does not change.

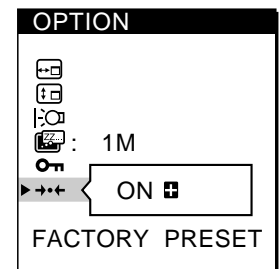
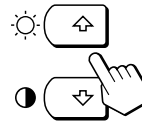
- 1 Press the MENU button.
The MENU OSD appears.



- 2 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select OPTION, and press the MENU button again.
The OPTION OSD appears.



- 3 Press the \uparrow/\downarrow buttons to select ? (FACTORY PRESET).



- 4 Press the + button.



The OPTION OSD automatically disappears after about 30 seconds.

To close the OSD, press the MENU button again.

Preset and User Modes

This monitor has factory preset modes for the most popular industry standards for true “plug and play” compatibility.

When a new input signal is entered, the monitor selects the appropriate factory preset mode and momentarily adjusts the phase calibration to provide a high quality picture to the center of the screen. The calibration is stored in memory and is immediately recalled whenever the same input signal is received.

No.	Resolution (dots × lines)	Horizontal Frequency	Vertical Frequency	Graphics Mode
1	—	15.625 kHz	50 Hz	625I
2	—	15.75 kHz	60 Hz	525I
3	640 × 350	31.5 kHz	70 Hz	MCGA
4	640 × 400	31.5 kHz	70 Hz	NEC PC-98
5	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	VGA-G
6	640 × 480	35.0 kHz	67 Hz	Macintosh 13" color
7	640 × 480	37.5 kHz	75 Hz	EVGA
8	640 × 480	43.3 kHz	85 Hz	VESA
9	720 × 400	31.5 kHz	70 Hz	VGA-Text
10	720 × 400	37.9 kHz	85 Hz	VESA
11	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	SVGA
12	800 × 600	46.9 kHz	75 Hz	ESVGA
13	800 × 600	53.7 kHz	85 Hz	VESA
14	832 × 624	49.7 kHz	75 Hz	Macintosh 16" color
15	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	VESA
16	1024 × 768	56.5 kHz	70 Hz	VESA
17	1024 × 768	60.0 kHz	75 Hz	EUVGA
18	1024 × 768	60.2 kHz	75 Hz	Macintosh 19" Color
19	1024 × 768	68.7 kHz	85 Hz	VESA

For input signals that do not match one of the factory preset modes, the digital Multiscan technology of this monitor performs all of the adjustments necessary to ensure that a clear picture appears on the screen for any timing in the monitor's frequency range. However, it may be necessary to fine tune the vertical/horizontal centering. Simply press the AUTO button or adjust the monitor according to the adjustment instructions. The adjustments are stored automatically as a user mode and recalled whenever the corresponding input signal is received.

Recommended horizontal and vertical timing conditions

Horizontal sync width duty should be 4.8% or higher of total horizontal time.

Horizontal blanking width should be 2.5 μsec. or higher.

Vertical blanking width should be 450 μsec. or higher.

Adjusting the monitor's resolution and color number

Adjust the monitor's resolution and color number by referring to your computer's instruction manual. The color number may vary according to your computer or video board. The color palette setting and the actual number of colors are as follows:

- High Color (16 bit) n 65,536 colors
- True Color (24 bit) n about 16.77 million colors

In true color mode (24 bit), speed may be slower.

Power Saving Function

This monitor meets the power-saving guidelines set by VESA and ENERGY STAR, as well as the more stringent NUTEK.

If the monitor is connected to a computer or video graphics board that is VESA DPMS (Display Power Management Signaling) compliant, the monitor will automatically reduce power consumption in three stages as shown below.

You can set the delay time before the monitor enters the power saving mode using the OSD. Set the time according to “Setting the Power Saving Delay Time” on page 14.

Note

If no video signal is input to the monitor, the “NO INPUT SIGNAL” message (page 18) appears. After the delay time has passed, the power saving function automatically puts the monitor into the active-off mode and the \cup indicator lights up orange. Once the horizontal and vertical sync signals are detected, the monitor automatically resumes its normal operation mode.

	Power consumption mode	Screen	Horizontal sync signal	Vertical sync signal	Power consumption	Recovery time	\cup Indicator
1	Normal operation	active	present	present	CPD-L133 $\leq 30\text{ W}^*$ $\leq 42\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 25\text{ W}^*$ $\leq 35\text{ W}^{**}$	—	Green
2	Standby (1st mode)	blank	absent	present	CPD-L133 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$	Approx. 3 sec.	Green and orange alternate
3	Suspend (2nd mode)	blank	present	absent	CPD-L133 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$	Approx. 3 sec.	Green and orange alternate
4	Active-off (3rd mode)	blank	absent	absent	CPD-L133 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$	Approx. 10 sec.	Orange
5	Power-off	—	—	—	CPD-L133 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5\text{ W}^*$ $\leq 4\text{ W}^{**}$	—	Off

* Power consumption of the monitor only

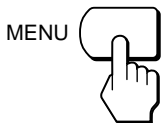
** Power consumption of the monitor including the AC adaptor

EN

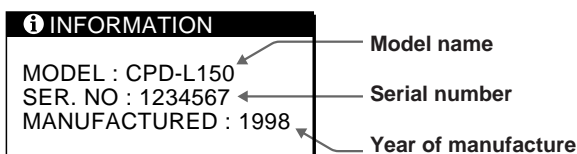
Displaying the INFORMATION OSD

You can confirm the name, the serial number and the year of manufacture of this monitor.

Press and hold the MENU button for five seconds. The INFORMATION OSD appears.



Example



The INFORMATION OSD automatically disappears after about 30 seconds.

To close the OSD, press the MENU button again.

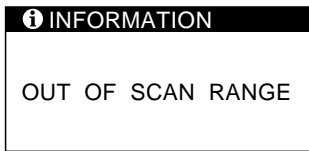
Plug & Play

This monitor complies with the DDCTM1 and DDC2B Display Data Channel (DDC) standards of VESA. When a DDC1 host system is connected, the monitor synchronizes with the V. CLK in accordance with the VESA standards and outputs the EDID (Extended Display Identification Data) to the data line.

DDCTM is a trademark of the Video Electronics Standard Association.

Warning Messages

If there is something wrong with the input signal, one of the following messages appears.



“OUT OF SCAN RANGE” indicates that the input signal is not supported by the monitor’s specifications.

“NO INPUT SIGNAL” indicates that no signal is input.

To solve these problems, see “Troubleshooting” below.

Troubleshooting

This section may help you isolate the cause of a problem and as a result, eliminate the need to contact technical support.

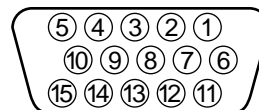
Symptom	Check these items
No picture	
If the \cup indicator is not lit	<ul style="list-style-type: none"> • Check that the power cord is properly connected. • Check that the \cup (power) switch is in the “on” position.
If the “NO INPUT SIGNAL” message appears on the screen, or if the \cup indicator is orange	<ul style="list-style-type: none"> • The screen is blank when the monitor is in power saving mode. Try pressing any key on the computer keyboard. • Check that your computer power switch is in the “on” position. • Check that the input select setting is correct. • Check that the video signal cable is properly connected and all plugs are firmly seated in their sockets. • Check the HD15 video input connector to ensure that no pins are bent or pushed in.
If the “OUT OF SCAN RANGE” message appears on the screen	<ul style="list-style-type: none"> • Check that the video frequency range is within that specified for the monitor. Horizontal: 30 – 70 kHz, Vertical: 50 – 85 Hz. Refer to your computer’s instruction manual to adjust the video frequency range. • If you are using a video signal cable adapter, check that it is correct.
If using a Macintosh system	<ul style="list-style-type: none"> • Check that the Macintosh adapter and the video signal cable are properly connected (page 6).
If using Windows 95/98	<ul style="list-style-type: none"> • If you replaced an old monitor with this monitor, reconnect the old monitor and do the following. Install the Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (page 7) and select “CPD-L133 or CPD-L150” from among the Sony monitors in the Windows 95/98 monitor selection screen.
Picture is dark.	<ul style="list-style-type: none"> • Adjust the backlight (page 14). • Adjust the brightness (page 9). • It takes several seconds for the monitor to warm up after the power is turned on. The picture will appear momentarily.
Picture is scrambled.	<ul style="list-style-type: none"> • Press the AUTO button (page 8). If this does not work, adjust the pitch and phase (page 11). • Check this manual and confirm that the graphics mode and the frequency you are trying to operate at is supported. Even if the frequency is within the proper range, some computers may have a sync pulse that is too narrow for this monitor to sync correctly.

Symptom	Check these items
Color is not uniform.	<ul style="list-style-type: none"> • Press the AUTO button(page 8). If this does not work, adjust the pitch and phase (page 11).
You cannot adjust the monitor with the buttons on the front panel.	<ul style="list-style-type: none"> • If the control lock function is set to on, set it to off using the OPTION OSD (page 15).
White does not look white.	<ul style="list-style-type: none"> • Adjust the color temperature (page 13).
Screen image is not centered.	<ul style="list-style-type: none"> • Press the AUTO button (page 8). • Adjust the centering (page 12). • Some video modes do not fill the screen to the edges. This problem tends to occur with certain video boards.
The picture size is incorrect.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the ZOOM setting (page 12).
Picture is fuzzy	<ul style="list-style-type: none"> • Press the AUTO button(page 8). If this does not work, adjust the pitch and phase (page 11). • Adjust the contrast and brightness (page 9).
Picture bounces or has wavy oscillations	<ul style="list-style-type: none"> • Try plugging the monitor into a different AC outlet, preferably on a different circuit. • Try the monitor on a different computer in a different room.
Picture is flickering	<ul style="list-style-type: none"> • Press the AUTO button(page 8). If this does not work, adjust the pitch and phase (page 11).
Picture appears to be ghosting	<ul style="list-style-type: none"> • Eliminate the use of video cable extensions and/or video switch boxes if this symptom occurs. Excessive cable length or a weak connection can produce this symptom.
Wavy or elliptical (moire) pattern is visible	<ul style="list-style-type: none"> • Press the AUTO button(page 8). If this does not work, adjust the pitch and phase (page 11).

Specifications

LCD panel	Panel type: a-Si TFT Active Matrix CPD-L133 Picture size: 13.3 inches CPD-L150 Picture size: 15.0 inches
Input signal format	RGB operating frequency: fh: 15.625 kHz (625 interlace signal) 15.75 kHz (525 interlace signal) 30 – 70 kHz fv: 50 Hz — 85 Hz
Pixel efficiency	99.99 %
Resolution	H: max 1024 dots V: max. 768 lines
Power requirements	Operation: AC 100 – 240 V, 50 – 60 Hz Input: DC 12 V (using the AC adaptor)
Power consumption	CPD-L133 Display only: Max. 30 W Including the AC adaptor: Max. 42 W CPD-L150 Display only: Max. 25 W Including the AC adaptor: Max. 35 W
Dimensions (w/h/d)	CPD-L133 Including the stand: Approx. 373 × 358 × 165 mm (14 ³ / ₄ × 14 ¹ / ₈ × 6 ¹ / ₂ in.) Monitor only: Approx. 373 × 272 × 71 mm (14 ³ / ₄ × 10 ³ / ₄ × 2 ⁷ / ₈ in.) CPD-L150 Including the stand: Approx. 398 × 366 × 165 mm (15 ³ / ₄ × 14 ¹ / ₂ × 6 ¹ / ₂ in.) Monitor only: Approx. 398 × 291 × 71 mm (15 ³ / ₄ × 11 ¹ / ₂ × 2 ⁷ / ₈ in.)
Mass	CPD-L133 Approx. 4.9 kg (10 lb 12 oz) including the stand CPD-L150 Approx. 5.3 kg (11 lb) including the stand
Supplied accessories	See page 6.

Pin assignment



Pin No.	Signal	Pin No.	Signal
1	Red	8	Blue Ground
2	Green (Composite Sync on Green)	9	DDC + 5V*
		10	Ground
		11	ID (Ground)
3	Blue	12	Bi-Directional Data (SDA)*
4	ID (Ground)		
5	DDC Ground*	13	H. Sync
6	Red Ground	14	V. Sync
7	Green Ground	15	Data Clock(SCL)*

* Display Data Channel (DDC) Standard of VESA

Design and specifications are subject to change without notice.

TABLE DES MATIERES

Préparation

Précautions	4
Identification des composants et des commandes.....	5
Installation	6
Réglage automatique de l'image	8
Sélection de la langue d'affichage à l'écran	8

Personnalisation du moniteur

Réglage de la luminosité de l'image	9
Réglage du contraste	9
Présentation du système d'écrans de menu.....	10
Utilisation de la disquette Utility Disk	10
Suppression du scintillement ou du maculage	11
Réglage de la position de l'image.....	12
Affichage de l'image suivant sa résolution réelle	12
Changement ou réglage de la température de couleur.....	13
Changement de la position d'affichage des écrans de menu	13
Réglage du rétro-éclairage.....	14
Réglage du délai d'activation du mode d'économie d'énergie	14
Verrouillage des commandes.....	15
Réinitialisation des réglages.....	15

Caractéristiques techniques

Modes présélectionnés et utilisateur.....	16
Fonction d'économie d'énergie.....	17
Affichage de l'écran INFORMATION	17
Plug & Play	17

Informations complémentaires

Messages d'avertissement	18
Dépannage	18
Spécifications	20

- Macintosh est une marque commerciale sous licence d'Apple Computer, Inc., déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays.
- Windows® et MS-DOS sont des marques commerciales déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et dans d'autres pays.
- IBM PC/AT et VGA sont des marques commerciales déposées d'IBM Corporation of the U.S.A.
- VESA est une marque commerciale de Video Electronics Standard Association.
- ENERGY STAR est une marque déposée aux Etats-Unis.
- Tous les autres noms de produits mentionnés peuvent être des marques commerciales ou des marques commerciales déposées de leurs sociétés respectives.
- Enfin, les symboles "™" et "®" ne sont pas mentionnés systématiquement dans le présent mode d'emploi.

Précautions

Installation

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de tissus (rideaux, draperies) qui risquent d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur telles que des radiateurs ou des conduits d'air chaud et ne le soumettez pas au rayonnement direct du soleil, à de la poussière ou à de l'humidité en excès, ni à des vibrations mécaniques ou à des chocs.
- Ne placez pas le moniteur à proximité d'appareils générant un champ magnétique comme un convertisseur ou des lignes à haute tension.

Manipulation de l'écran LCD

- Des points lumineux (rouges, bleus ou verts) peuvent apparaître sur l'écran LCD. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. L'écran LCD est fabriqué en faisant appel à des technologies de haute précision et plus de 99,99 % des éléments d'image sont intacts. Il est cependant possible que certains éléments d'image n'apparaissent pas ou que certains éléments d'image apparaissent de manière constante.
- Ne laissez pas l'écran LCD orienté vers le soleil, car vous risqueriez de lui causer des dommages. Prenez donc garde lorsque vous placez le moniteur à côté d'une fenêtre.
- N'appuyez pas et n'érafflez pas l'écran LCD. Ne posez pas d'objets lourds sur l'écran LCD. Cela risque d'altérer l'uniformité de l'écran.
- Si le moniteur est employé dans un endroit froid, il se peut qu'une image résiduelle apparaisse à l'écran. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Lorsque le moniteur se sera échauffé, l'écran reviendra à la normale.
- Si une image fixe reste affichée longtemps, il est possible qu'une image résiduelle apparaisse. Cette image résiduelle disparaîtra au bout d'un certain temps.
- L'écran et le châssis s'échauffent en cours de fonctionnement. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

Remplacement du tube fluorescent

Un tube fluorescent spécial sert de source lumineuse pour ce moniteur. Si l'écran LCD s'assombrit, devient instable ou ne se met pas sous tension, remplacez le tube fluorescent. Pour le remplacement du tube fluorescent, consultez votre revendeur Sony.

Entretien

- Nettoyez le châssis, le panneau et les commandes à l'aide d'un chiffon doux légèrement imprégné d'une solution détergente neutre. N'utilisez aucun type de tampon abrasif, de poudre à récurer ou de solvant tel que de l'alcool ou de la benzine.
- N'érafflez pas, ne touchez pas et ne tapotez pas l'écran avec un ustensile acéré ou abrasif comme un stylo à bille ou un tournevis. Vous risquez sinon de rayer le tube image.
- Nettoyez l'écran avec un chiffon doux. Si vous employez un liquide de nettoyage pour vitres, n'utilisez aucun type de nettoyant contenant une solution antistatique ou des additifs similaires, car vous risqueriez de rayer le revêtement de l'écran.

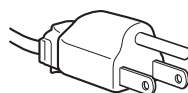
Transport

- Pour transporter ce moniteur, saisissez fermement le bas de l'écran des deux mains. En laissant tomber le moniteur, vous risquez de vous blesser ou d'endommager le moniteur.
- Pour transporter l'appareil en vue d'une réparation ou de son expédition, remballer-le dans le carton et les matériaux de conditionnement d'origine.

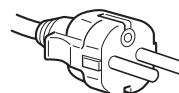
Avertissement sur le raccordement à la source d'alimentation

- Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre source d'alimentation (secteur) locale.
Pour les clients au Royaume-Uni
Si vous employez le moniteur au Royaume-Uni, utilisez le câble et la fiche prévus pour le Royaume-Uni (UK).

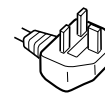
Exemples de fiches



pour 100 à 120 V CA



pour 200 à 240 V CA



pour 240 V CA
uniquement

La prise d'alimentation (secteur) doit se trouver à proximité de l'appareil et être aisément accessible.

Installation au mur ou sur un bras

Confiez à un spécialiste l'installation du moniteur au mur ou sur un bras. Ne procédez pas vous-même au montage.

Élimination du moniteur

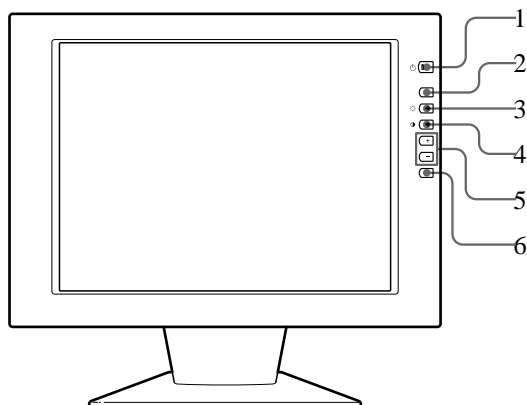
- N'éliminez pas ce moniteur avec les déchets ordinaires. Ne jetez pas ce moniteur avec les ordures ménagères.
- Le tube fluorescent contient du mercure. Éliminez ce moniteur conformément aux réglementations des autorités sanitaires locales.

Identification des composants et des commandes

Pour plus de détails, reportez-vous aux pages indiquées entre parenthèses.

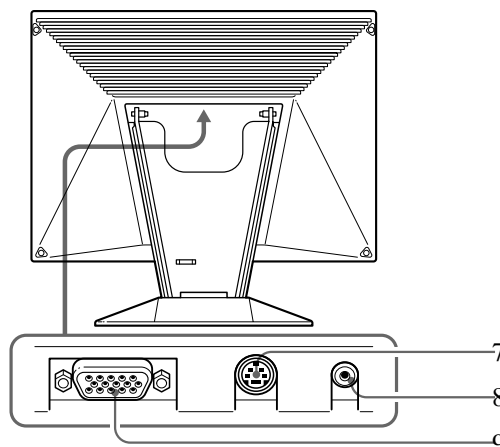
C'est le CPD-L150 qui est représenté dans les illustrations du présent mode d'emploi.

Avant



- 1 **Commutateur et indicateur u (alimentation) (pages 8, 17)**
Mise sous ou hors tension du moniteur.
L'indicateur s'allume en vert lorsque le moniteur est sous tension. Il clignote en vert et en orange ou s'allume en orange lorsque le moniteur se trouve en mode d'économie d'énergie.
- 2 **Touche MENU (pages 8, 11 - 15, 17)**
Affichage de l'écran MENU.
- 3 **Touche < (luminosité) (ø) (pages 8 - 9, 11 - 15)**
Réglage de la luminosité de l'image.
Sert de touche ø pour sélectionner des paramètres de menu.
- 4 **Touche > (contraste) (‡) (pages 8 - 9, 11 - 15)**
Réglage du contraste de l'image.
Sert de touche ‡ pour sélectionner des paramètres de menu.
- 5 **Touches +/- (réglage) (pages 9, 11 - 15)**
Réglage des paramètres de menu sélectionnés.
- 6 **Touche AUTO (pages 8, 11)**
Lorsque vous avez raccordé ce moniteur, appuyez sur la touche AUTO pour ajuster automatiquement l'image en fonction de l'ordinateur.
Appuyez également sur cette touche si l'image n'est pas centrée ou si elle est floue.

Arrière

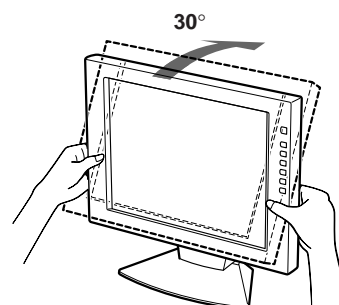


- 7 **Connecteur de commande externe**
Entrée du signal de commande externe au format RS-232. Consultez votre revendeur pour de plus amples informations.
- 8 **Connecteur DC IN (page 6)**
Assure l'alimentation CC du moniteur via l'adaptateur secteur.
- 9 **Connecteur d'entrée RVB (HD15) (page 6)**
Entrée des signaux vidéo RVB analogiques (0,714 Vp-p, positifs) et des signaux SYNC.

Inclinaison du moniteur

Inclinez le moniteur suivant l'angle désiré dans une plage de réglage verticale de 30°.

Pour faire pivoter le moniteur verticalement, saisissez-le des deux mains par le bas comme illustré ci-dessous.



Installation

Avant d'utiliser ce moniteur, vérifiez si vous avez bien reçu les accessoires suivants :

- Moniteur LCD (1)
- Adaptateur secteur (1)
- Couvercle arrière (1)
- Cordon d'alimentation (1)
- Câble de signal vidéo HD15 (1)
- Adaptateur Macintosh (1)
- Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (1)
- Macintosh Utility Disk (1)
- Eco-document TCO'95 (1)
- Carte de garantie (1)
- Ce mode d'emploi (1)

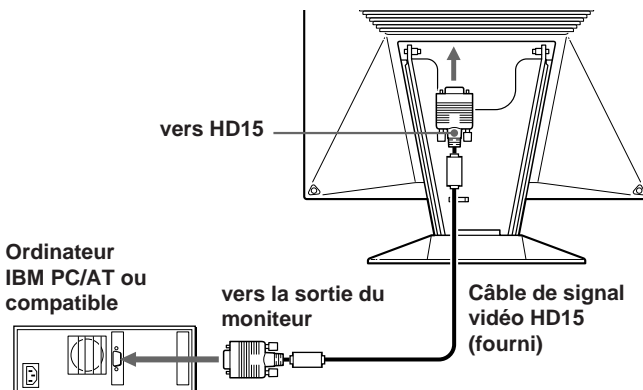
Ce moniteur fonctionne avec tout système IBM ou compatible doté d'une capacité graphique VGA ou supérieure. Bien que ce moniteur fonctionne avec d'autres plates-formes tournant à des fréquences horizontales comprises entre 30 et 70 kHz, y compris des systèmes Macintosh et Power Macintosh, un adaptateur de câble est nécessaire. Consultez votre revendeur pour déterminer quel adaptateur répond à vos besoins. Ce moniteur peut également recevoir des signaux RVB des systèmes PAL et NTSC.

1re étape : Raccordez le moniteur à l'ordinateur

L'ordinateur étant hors tension, raccordez le câble de signal vidéo au moniteur au moyen du câble de signal vidéo HD15 fourni.

- Si vous utilisez un ordinateur IBM PC/AT ou compatible, consultez la section ci-dessous.
- Si vous utilisez un ordinateur Macintosh ou compatible, consultez la section suivante "Raccordement à un ordinateur Macintosh ou compatible".

Raccordement à un ordinateur IBM PC/AT ou compatible

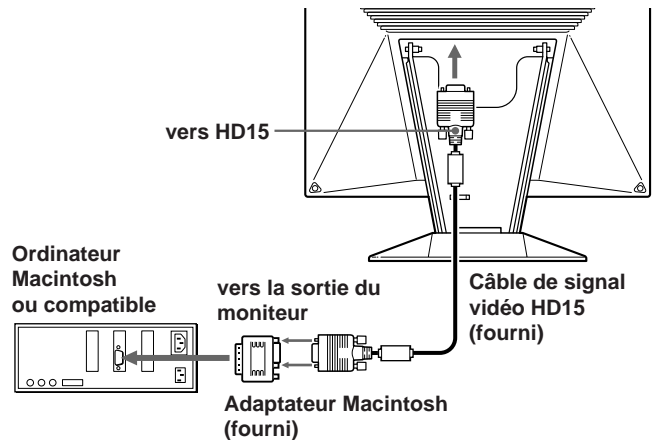


Si votre système PC n'est pas compatible avec DDC1 et DDC2B

Ce moniteur utilise la broche n° 9 du connecteur de signal vidéo pour la compatibilité DDC1 et DDC2B.

Certains systèmes PC qui ne sont pas compatibles avec DDC1 ni avec DDC2B peuvent ne pas accepter la broche n° 9. Si vous n'êtes pas certain si votre système PC accepte la broche n° 9, utilisez l'adaptateur HD15 (femelle) - HD15 (mâle sans la broche n° 9) (non fourni). Branchez le côté mâle (sans la broche n° 9) sur l'ordinateur.

Raccordement à un ordinateur Macintosh ou compatible



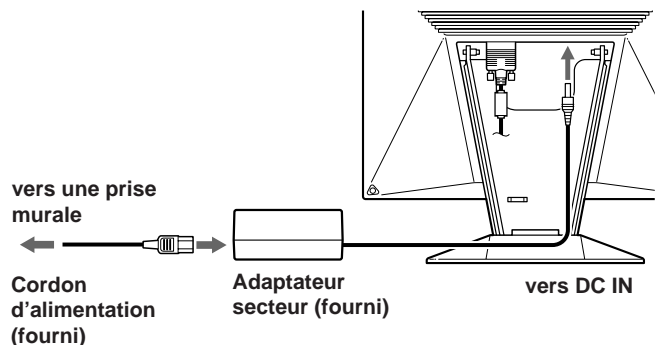
A propos de l'adaptateur Macintosh fourni

L'adaptateur Macintosh fourni est compatible avec les ordinateurs Macintosh LC, Performa, Quadra et Power Macintosh.

Les ordinateurs Macintosh II et certains anciens modèles Power Book peuvent nécessiter un adaptateur à microcommutateurs (non fourni).

2e étape : Branchez le cordon d'alimentation

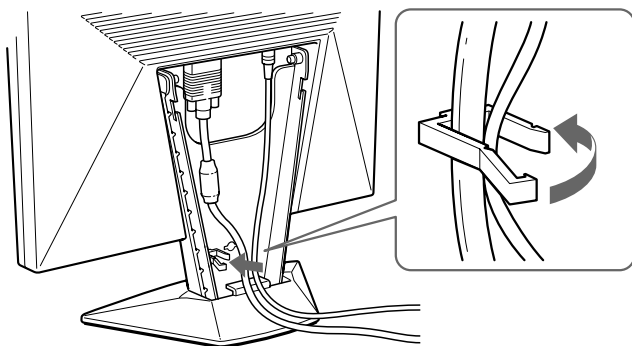
Le moniteur étant hors tension, branchez une extrémité du cordon d'alimentation CC sur le moniteur et l'autre extrémité sur une prise murale (secteur).



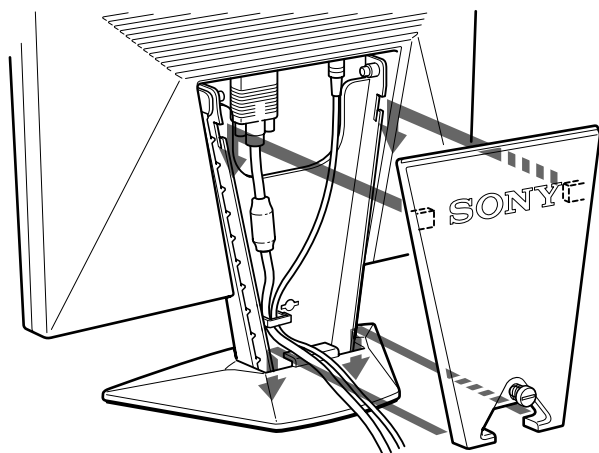
3e étape: Fixation du couvercle arrière

Lorsque vous avez raccordé l'ordinateur et le cordon d'alimentation, installez le couvercle arrière fourni. Maintenez l'écran bien verticalement lorsque vous fixez le couvercle arrière.

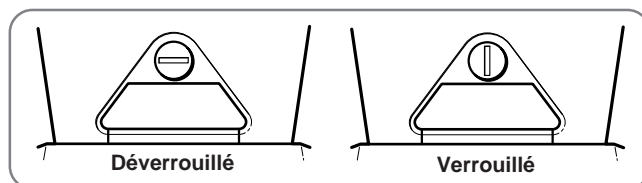
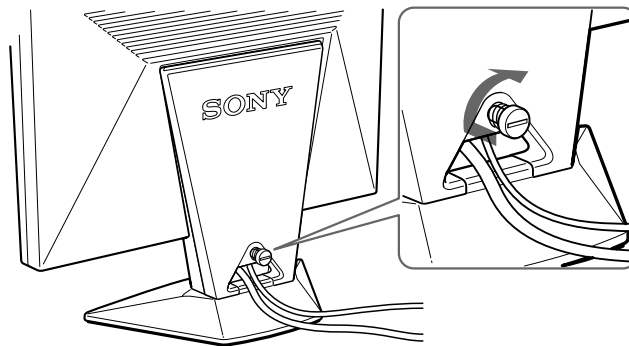
- 1 Accrochez le câble d'ordinateur et le cordon d'alimentation.



- 2 Insérez les pattes à l'arrière du couvercle arrière dans les encoches et poussez ensuite le couvercle vers le bas.



- 3 Tournez la vis pour fixer le couvercle arrière.



4e étape: Mise sous tension du moniteur et de l'ordinateur

Mettez d'abord le moniteur sous tension, puis l'ordinateur. L'installation de votre moniteur est terminée.

Remarque

Si le message "OUT OF SCAN RANGE" ou "NO INPUT SIGNAL" apparaît sur l'écran, reportez-vous à la section "Messages d'avertissement" à la page 18.

Pour les clients utilisant Windows 95/98

Pour maximaliser le potentiel de votre moniteur, installez sur votre ordinateur le nouveau fichier d'informations modèle depuis la disquette "Windows Monitor Information Disk/Utility Disk". Ce moniteur est conforme à la norme Plug & Play "VESA DDC". Si votre PC/carte graphique est conforme à la norme DDC, sélectionnez "Plug & Play Monitor (VESA DDC)" ou la désignation de ce moniteur comme type de moniteur dans le "Control Panel" sous Windows 95/98. Si votre PC/carte graphique a des difficultés à communiquer avec ce moniteur, chargez la disquette "Windows Monitor Information Disk/Utility Disk" et sélectionnez la désignation de ce moniteur comme type de moniteur.

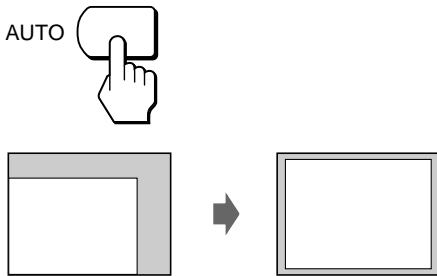
Pour les utilisateurs de Windows NT4.0

L'installation du moniteur sous Windows NT4.0 est différente de celle sous Windows 95/98 et n'implique pas la sélection du type de moniteur. Reportez-vous au mode d'emploi de Windows NT4.0 pour plus de détails sur le réglage de la résolution, le taux de régénération et le nombre de couleurs.

Réglage automatique de l'image

Si l'image devient scintillante ou floue, appuyez sur la touche AUTO. Le moniteur se règle automatiquement en fonction du signal de l'ordinateur raccordé. Certains ordinateurs peuvent requérir d'autres réglages fins. Dans ce cas, procédez au réglage manuel du moniteur en consultant la procédure de "Personnalisation du moniteur" à la page 9.

- 1 Mettez le moniteur sous tension.
- 2 Mettez l'ordinateur sous tension.
- 3 Appuyez sur la touche AUTO.
L'image est réglée pour s'afficher au centre de l'écran.



Remarques

- Cette fonction est destinée à être utilisée avec un ordinateur tournant sous Windows ou un logiciel d'interface graphique utilisateur similaire fournissant une image plein écran. Elle peut ne pas fonctionner correctement si la couleur d'arrière-plan est foncée ou si l'image d'entrée ne remplit pas l'écran jusqu'aux bords (comme une invite MS-DOS).
- L'affichage à l'écran peut être désactivé pendant quelques secondes pendant l'exécution de la fonction de réglage automatique de la taille de l'image. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

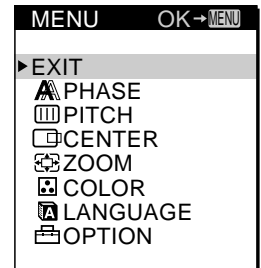
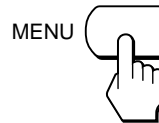
Si l'image devient scintillante ou floue même après que vous avez appuyé sur la touche AUTO

Réglez manuellement l'horloge et la phase (page 11).

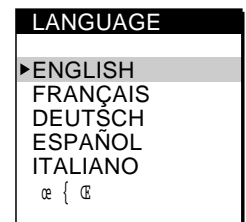
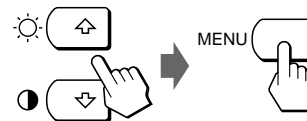
Sélection de la langue d'affichage à l'écran

Pour l'affichage des menus, vous avez le choix entre les langues suivantes : anglais, français, allemand, espagnol, italien et japonais.

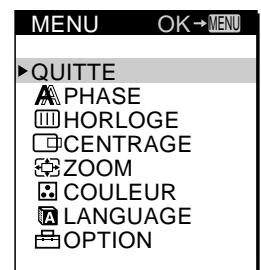
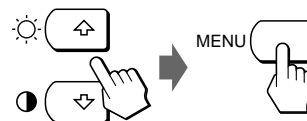
- 1 Appuyez sur la touche MENU.
L'écran MENU apparaît.



- 2 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner LANGUAGE et appuyez ensuite sur la touche MENU.
Le menu LANGUAGE apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner la langue de votre choix et appuyez ensuite sur la touche MENU.
L'écran MENU de la langue sélectionnée apparaît.



L'écran disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes.

Pour refermer l'écran, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Avant le réglage

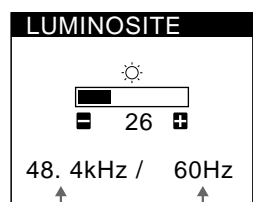
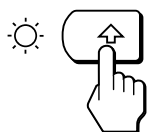
Raccordez le moniteur et l'ordinateur et mettez-les sous tension.

Pour obtenir les meilleurs résultats, attendez au moins 30 minutes avant de procéder aux réglages.

Réglage de la luminosité de l'image

Le réglage de luminosité est enregistré dans la mémoire pour tous les signaux d'entrée reçus.

- 1 Appuyez sur la touche < (luminosité) ∅ .
L'écran de menu LUMINOSITE apparaît.



↑ Fréquence horizontale* ↑ Fréquence verticale*

- 2 Appuyez sur les touches +/-.



+ ... pour augmenter la luminosité.



- ... pour diminuer la luminosité.

L'écran disparaît automatiquement après environ 3 secondes.

* Les fréquences horizontale et verticale pour le signal d'entrée reçu apparaissent dans l'écran LUMINOSITE.

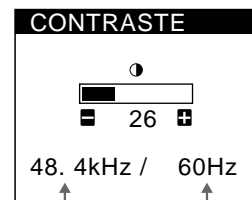
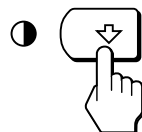
Si l'écran est trop lumineux lorsque vous utilisez le moniteur dans un endroit sombre

Diminuez le réglage RETROECLAIRAGE (page 14).

Réglage du contraste

Le réglage du contraste est enregistré dans la mémoire pour tous les signaux d'entrée reçus.

- 1 Appuyez sur la touche > (contraste) ± .
L'écran de menu CONTRASTE apparaît.



↑ Fréquence horizontale* ↑ Fréquence verticale*

- 2 Appuyez sur les touches +/-.



+ ... pour augmenter le contraste.



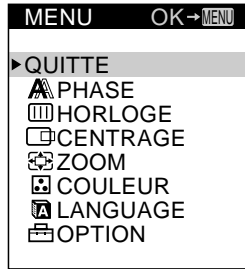
- ... pour diminuer le contraste.

L'écran disparaît automatiquement après environ 3 secondes.

* Les fréquences horizontale et verticale pour le signal d'entrée reçu apparaissent dans l'écran CONTRASTE.

Présentation du système d'écrans de menu

La plupart des réglages sont effectués via l'écran MENU. Pour changer la langue d'affichage à l'écran, reportez-vous à la section de "Sélection de la langue d'affichage à l'écran" (page 8).



QUITTE

Referme l'écran MENU.

PHASE

Affiche l'écran PHASE. Réglez la phase lorsque les caractères ou les images apparaissent flous sur toute la surface de l'écran. Réglez la phase après avoir réglé le pas.

HORLOGE

Affiche l'écran HORLOGE. Réglez l'horloge lorsque les caractères ou les images ne sont pas clairs à certains endroits de l'écran.

CENTRAGE

Affiche l'écran CENTRAGE pour le réglage du centrage de l'image.

ZOOM

Affiche l'écran ZOOM pour la sélection du mode d'affichage de l'image. Sélectionnez MODE ZOOM pour afficher l'image sur toute la surface de l'écran ou MODE RÉEL pour afficher l'image suivant sa résolution actuelle.

COULEUR

Affiche l'écran COULEUR pour le réglage de la température de couleur.

LANGUAGE

Affiche l'écran LANGUAGE pour la sélection de la langue d'affichage à l'écran.

OPTION

Affiche l'écran OPTION. Vous pouvez régler les paramètres tels que le rétro-éclairage, la position des écrans de menu, le délai d'activation du mode d'économie d'énergie et le verrouillage des commandes.

Utilisation de la disquette Utility Disk

La disquette Utility Disk fournie contient des mires de test pour le réglage de l'horloge, de la phase et du centrage. Ces mires de test vous aideront à vérifier si vos réglages sont corrects.

Réglage de l'horloge

Réglez l'horloge si des lignes verticales apparaissent à l'écran ou si une partie de l'écran scintille ou devient floue. Réglez l'écran de façon à ce que les lignes verticales en gras de la mire de test disparaissent.

Réglage de la phase

Réglez la phase si la totalité de l'écran scintille ou devient floue ou si vous observez des lignes horizontales sur l'écran. Ajustez l'écran jusqu'à ce que les lignes horizontales aient été réduites au minimum.

Réglage du centrage

Réglez le centrage si l'image n'est pas centrée sur l'écran. Déplacez l'image vers le haut, le bas, la gauche ou la droite jusqu'à ce que le cadre rouge sur le périmètre de la mire de test ait disparu.

Utilisation de la mire de test

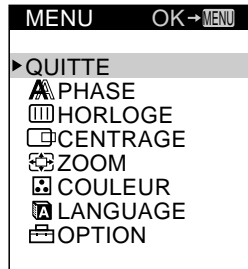
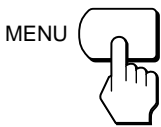
- 1 Réglez ZOOM sur MODE RÉEL (page 12).
- 2 Chargez la disquette Utility Disk fournie et affichez la mire de test.
Utilisez la disquette appropriée à votre ordinateur.
Pour Windows 95/98
Windows Monitor Information Disk/Utility Disk
Pour Macintosh
Macintosh Utility Disk
- 3 Sélectionnez l'horloge, la phase ou le centrage dans l'écran MENU du moniteur et ajustez l'écran tout en contrôlant la mire de test (pages 11, 12).
- 4 Lorsque vous avez terminé, cliquez sur [END] à l'écran de façon à désactiver la mire de test.

Suppression du scintillement ou du maculage

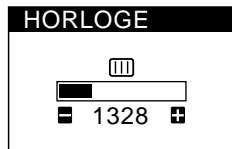
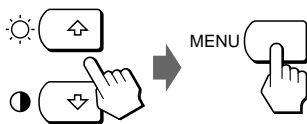
Si une partie de l'écran scintille ou devient floue, appuyez sur la touche AUTO. Si cette opération reste sans effet, réglez le pas et la phase en procédant comme suit. Le réglage de l'horloge et de la phase sont enregistrés dans la mémoire pour le signal d'entrée en cours.

1 Chargez la disquette Utility Disk (page 10).

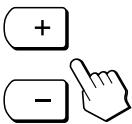
2 Appuyez sur la touche MENU.
L'écran MENU apparaît.



3 Appuyez sur les touches \emptyset / \ddagger pour sélectionner HORLOGE et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.
L'écran de menu HORLOGE apparaît.

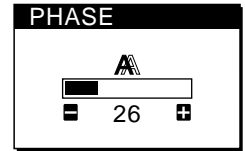
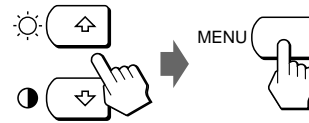


4 Appuyez sur les touches +/- jusqu'à ce que les couleurs de l'écran se soient uniformisées.
Si vous employez la disquette Utility Disk, procédez au réglage de façon à ce que les lignes verticales disparaissent.

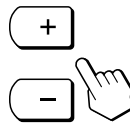


5 Appuyez sur la touche MENU.
L'écran MENU apparaît.
Si vous observez des lignes horizontales sur la totalité de l'écran, procédez au réglage de la phase à l'étape suivante.

6 Appuyez sur les touches \emptyset / \ddagger pour sélectionner PHASE et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.
L'écran de menu PHASE apparaît.



7 Appuyez sur les touches +/- jusqu'à ce que les couleurs de l'écran se soient uniformisées.
Si vous employez la disquette Utility Disk, procédez au réglage de façon à ce que les lignes horizontales aient été réduites au minimum.



L'écran de menu disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes.

Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Pour désactiver la mire de test, cliquez sur [END] à l'écran.

F

Réglage de la position de l'image

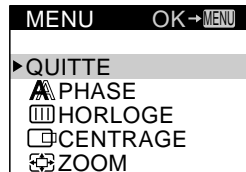
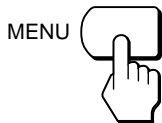
Si l'image ne se trouve pas au centre de l'écran, appuyez sur la touche AUTO. Si cette opération reste sans effet, réglez le centrage en procédant comme suit.

Le réglage du centrage est enregistré dans la mémoire pour le signal d'entrée en cours.

1 Chargez la disquette Utility Disk (page 10).

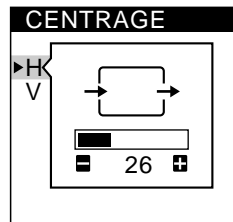
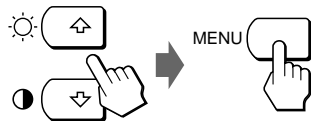
2 Appuyez sur la touche MENU.

L'écran MENU apparaît.



3 Appuyez sur les touches \emptyset / \pm pour sélectionner CENTRAGE et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.

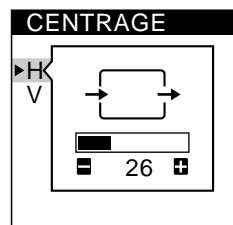
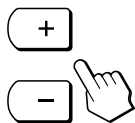
L'écran de menu CENTRAGE apparaît.



4 Pour régler le centrage horizontal, sélectionnez H à l'aide des touches \emptyset / \pm et ajustez la position au moyen des touches +/-.

+ ... pour déplacer l'image vers la droite.

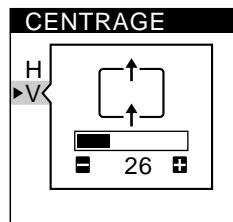
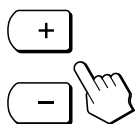
- ... pour déplacer l'image vers la gauche.



Pour régler le centrage vertical, sélectionnez V à l'aide des touches \emptyset / \pm et ajustez la position au moyen des touches +/-.

+ ... pour déplacer l'image vers le haut.

- ... pour déplacer l'image vers le bas.



L'écran de menu disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes.

Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Pour désactiver la mire de test, cliquez sur [END] à l'écran.

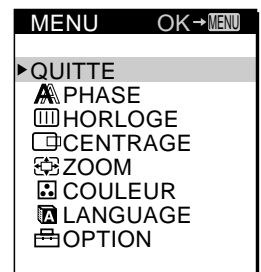
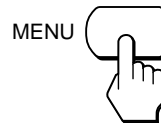
Affichage de l'image suivant sa résolution réelle

Le moniteur est réglé par défaut pour afficher l'image sur la totalité de l'écran, quelle que soit la résolution de l'image. Vous pouvez également visualiser l'image suivant sa résolution réelle.

Le réglage du zoom est enregistré dans la mémoire pour le signal d'entrée en cours.

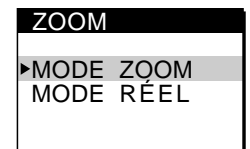
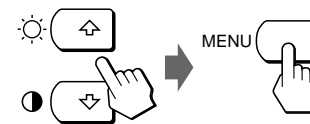
1 Appuyez sur la touche MENU.

L'écran MENU apparaît.



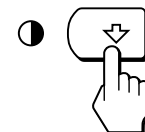
2 Appuyez sur les touches \emptyset / \pm pour sélectionner ZOOM et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.

L'écran de menu ZOOM apparaît.



3 Appuyez sur la touche \pm pour sélectionner MODE RÉEL et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.

L'écran MENU apparaît.



L'écran de menu disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes.

Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

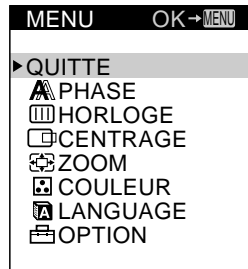
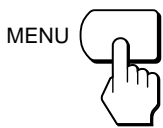
Pour afficher l'image sur la totalité de l'écran

Appuyez sur la touche \emptyset à l'étape 3 pour sélectionner MODE ZOOM.

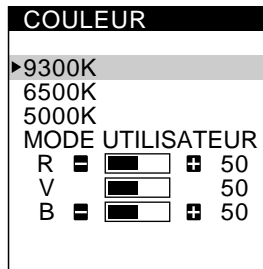
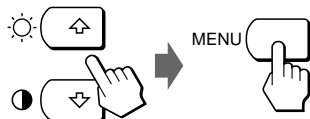
Changement ou réglage de la température de couleur

La température de couleur est réglée par défaut sur 9300K. Vous pouvez changer la température de couleur sur 6500K ou 5000K. Utilisez cette fonction pour régler la température de couleur de façon à ce que l'image corresponde aux couleurs réelles d'une image imprimée. Le réglage de la température de couleur est enregistrée dans la mémoire pour tous les signaux d'entrée reçus.

- 1 Appuyez sur la touche MENU. L'écran MENU apparaît.

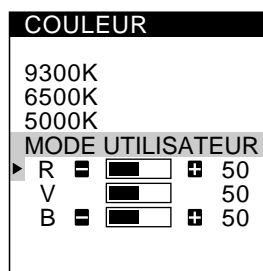
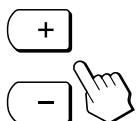


- 2 Appuyez sur les touches δ / \ddagger pour sélectionner COULEUR et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU. L'écran de menu COULEUR apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches δ / \ddagger pour sélectionner la température de couleur. Si vous devez procéder à d'autres réglages de la température de couleur sélectionnée, passez à l'étape 4. Si ce n'est pas nécessaire, appuyez sur la touche MENU. L'écran MENU apparaît.

- 4 Appuyez sur les touches δ / \ddagger pour sélectionner R (rouge) ou B (bleu) et appuyez ensuite sur les touches +/- pour obtenir la couleur voulue. Le couleur change suivant que la composante R ou B augmente ou diminue par rapport à V (vert).

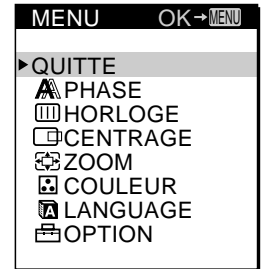
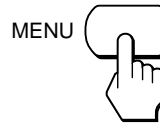


L'écran de menu disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes. Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

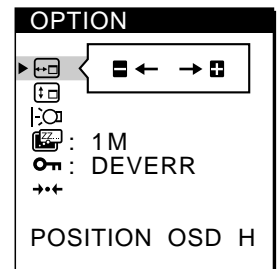
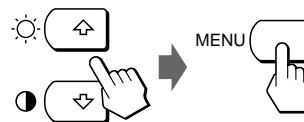
Changement de la position d'affichage des écrans de menu

Vous pouvez changer la position d'affichage des écrans de menu (par exemple, si vous voulez régler l'image derrière l'écran de menu).

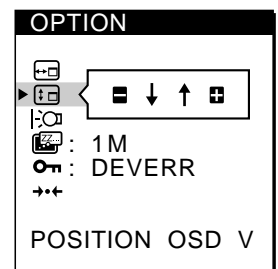
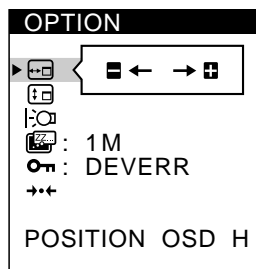
- 1 Appuyez sur la touche MENU. L'écran MENU apparaît.



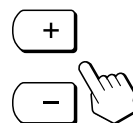
- 2 Appuyez sur les touches δ / \ddagger pour sélectionner OPTION et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU. L'écran de menu OPTION apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches δ / \ddagger pour sélectionner $\left[\leftarrow \rightarrow \right]$ (POSITION OSD H) ou $\left[\uparrow \downarrow \right]$ (POSITION OSD V). Pour ajuster la position horizontale Pour ajuster la position verticale



- 4 Appuyez sur les touches +/- pour déplacer l'écran de menu jusqu'à la position voulue.



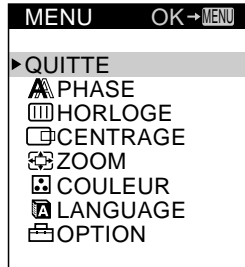
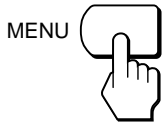
L'écran de menu OPTION disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes. Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

F

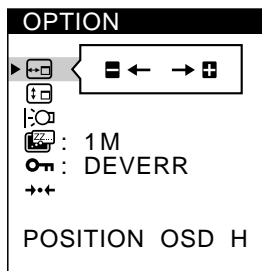
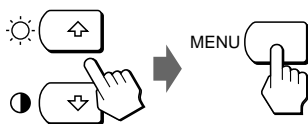
Réglage du rétro-éclairage

Si l'écran est trop lumineux lorsque vous employez le moniteur dans un endroit sombre, réglez l'intensité du rétro-éclairage.

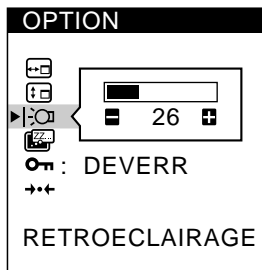
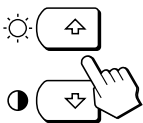
- 1 Appuyez sur la touche MENU.
L'écran MENU apparaît.



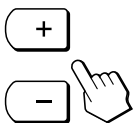
- 2 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner OPTION et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.
L'écran de menu OPTION apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner RETROECLAIRAGE .



- 4 Appuyez sur les touches $+/-$ pour régler le niveau d'intensité lumineuse.

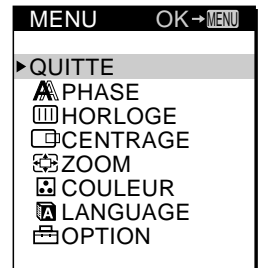
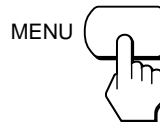


L'écran de menu OPTION disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes.
Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

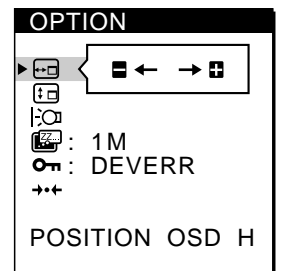
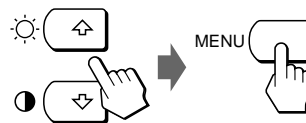
Réglage du délai d'activation du mode d'économie d'énergie

Vous pouvez définir la durée avant laquelle le moniteur passe en mode d'économie d'énergie. Reportez-vous à la page 17 pour des informations plus détaillées sur les possibilités d'économie d'énergie de ce moniteur.

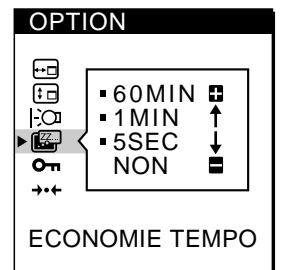
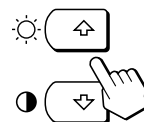
- 1 Appuyez sur la touche MENU.
L'écran MENU apparaît.



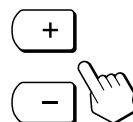
- 2 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner OPTION et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU.
L'écran de menu OPTION apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner ECONOMIE TEMPO .



- 4 Appuyez sur les touches $+/-$ pour sélectionner la durée de votre choix.



Lorsque ECONOMIE TEMPO est réglé sur NON, le moniteur ne passe pas en mode d'économie d'énergie.


L'écran de menu OPTION disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes.
Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Verrouillage des commandes

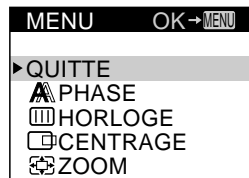
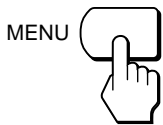
La fonction de verrouillage des commandes désactive toutes les commandes à l'exception du commutateur u (alimentation) et de la touche MENU.

Lorsque vous avez sélectionné "VERR", vous ne pouvez plus sélectionner que les paramètres suivants dans l'écran MENU :

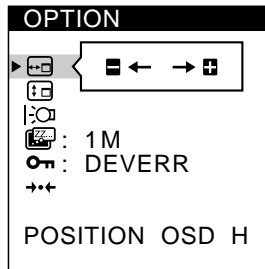
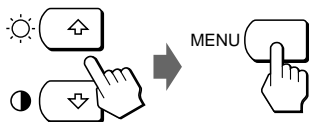
- QUITTE
- VERROU REGLAGES et RÉGLAGE D'USINE dans l'écran de menu OPTION


Si vous appuyez sur l'une des touches verrouillées, le symbole  apparaît sur l'écran.

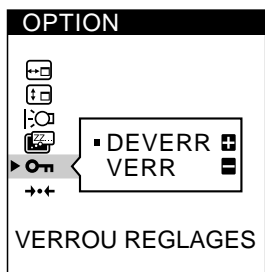
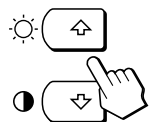
- 1 Appuyez sur la touche MENU. L'écran MENU apparaît.



- 2 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner OPTION et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU. L'écran de menu OPTION apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner  (VERROU REGLAGES).



- 4 Appuyez sur la touche - pour sélectionner VERR.



L'écran de menu OPTION disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes. Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Pour désactiver le verrouillage des commandes

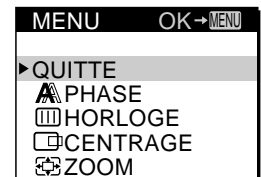
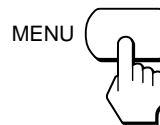
Appuyez sur la touche + à l'étape 4 pour sélectionner DEVERR.

Réinitialisation des réglages

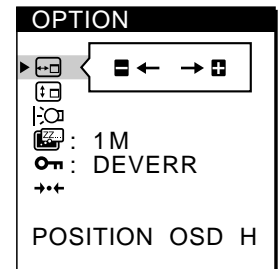
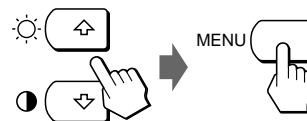
Vous pouvez réinitialiser tous les réglages et paramètres aux valeurs par défaut.

La température de couleur est ramenée à 9300K, le zoom en mode plein écran et le délai d'activation du mode d'économie d'énergie à une minute. Le verrouillage des commandes est désactivé. Les autres réglages sont restaurés aux valeurs par défaut. La langue d'affichage à l'écran reste cependant inchangée.

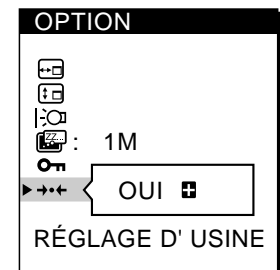
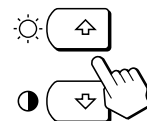
- 1 Appuyez sur la touche MENU. L'écran MENU apparaît.



- 2 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner OPTION et appuyez ensuite à nouveau sur la touche MENU. L'écran de menu OPTION apparaît.



- 3 Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour sélectionner ? (RÉGLAGE D'USINE).



- 4 Appuyez sur la touche +.



L'écran de menu OPTION disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes. Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Modes présélectionnés et utilisateur

Ce moniteur est doté de modes présélectionnés par défaut pour les normes industrielles les plus fréquentes de manière à garantir une véritable compatibilité "plug and play" ("branchez et démarrez").

Lorsqu'un nouveau signal est entré, le moniteur sélectionne le mode présélectionné par défaut approprié et ajuste momentanément l'étalonnage de la phase de façon à assurer une haute qualité d'image au centre de l'écran. L'étalonnage est enregistré dans la mémoire et est immédiatement restauré chaque fois que le même signal est entré.

N°	Résolution (points × lignes)	Fréquence horizontale	Fréquence verticale	Mode graphique
1	—	15,625 kHz	50 Hz	625I
2	—	15,75 kHz	60 Hz	525I
3	640 × 350	31,5 kHz	70 Hz	MCGA
4	640 × 400	31,5 kHz	70 Hz	NEC PC-98
5	640 × 480	31,5 kHz	60 Hz	VGA-G
6	640 × 480	35,0 kHz	67 Hz	Couleur 13" Macintosh
7	640 × 480	37,5 kHz	75 Hz	EVGA
8	640 × 480	43,3 kHz	85 Hz	VESA
9	720 × 400	31,5 kHz	70 Hz	VGA-Text
10	720 × 400	37,9 kHz	85 Hz	VESA
11	800 × 600	37,9 kHz	60 Hz	SVGA
12	800 × 600	46,9 kHz	75 Hz	ESVGA
13	800 × 600	53,7 kHz	85 Hz	VESA
14	832 × 624	49,7 kHz	75 Hz	Couleur 16" Macintosh
15	1024 × 768	48,4 kHz	60 Hz	VESA
16	1024 × 768	56,5 kHz	70 Hz	VESA
17	1024 × 768	60,0 kHz	75 Hz	EUVGA
18	1024 × 768	60,2 kHz	75 Hz	Couleur 19" Macintosh
19	1024 × 768	68,7 kHz	85 Hz	VESA

Pour les signaux d'entrée qui ne correspondent à aucun des modes présélectionnés par défaut, la technologie Multiscan numérique de ce moniteur procède à tous les réglages requis pour assurer l'affichage d'une image claire sur l'écran quelle que soit la synchronisation dans la plage de fréquence du moniteur. Il peut cependant s'avérer nécessaire de procéder à l'accord fin du centrage vertical/horizontal. Appuyez simplement sur la touche AUTO ou réglez le moniteur suivant les instructions de réglage. Les réglages sont automatiquement mémorisés comme un mode utilisateur et restaurés chaque fois que le signal d'entrée correspondant est entré.

Conditions de synchronisation horizontale et verticale préconisées

La largeur de synchronisation horizontale doit être de 4,8 % ou plus de la durée horizontale totale.

La largeur de suppression horizontale doit être de 2,5 µs ou plus.

La largeur de suppression verticale doit être de 450 µs ou plus.

Réglage de la résolution du moniteur et du nombre de couleurs

Ajustez la résolution du moniteur et le nombre de couleurs en vous référant au mode d'emploi de votre ordinateur. Le nombre de couleurs peut varier selon votre ordinateur ou votre carte vidéo. Le réglage de la palette de couleurs et le nombre réel de couleurs se présentent comme suit:

- High Color (16 bit) n 65.536 couleurs
- True Color (24 bit) n environ 16,77 millions de couleurs

En mode True Color (24 bit), la vitesse peut être inférieure.

Fonction d'économie d'énergie

Ce moniteur satisfait aux normes d'économie d'énergie définies par VESA et ENERGY STAR ainsi qu'aux normes NUTEK plus strictes.

Si le moniteur est raccordé à un ordinateur ou à une carte graphique vidéo compatible avec VESA DPMS (Display Power Management Signaling), le moniteur réduit automatiquement sa consommation électrique en trois phases comme indiqué ci-dessous.

Vous pouvez définir le délai d'activation du mode d'économie d'énergie via les écrans de menu. Définissez la durée suivant la procédure de "Réglage du délai d'activation du mode d'économie d'énergie" à la page 14.

Remarque

Lorsqu'aucun signal vidéo n'est transmis au moniteur, le message "PAS ENTREE VIDEO" (page 18) s'affiche. Au terme de la durée spécifiée, la fonction d'économie d'énergie met le moniteur en mode inactif et l'indicateur \cup s'allume en orange. Dès que des signaux de synchronisation horizontale et verticale sont détectés, le moniteur repasse automatiquement en mode de fonctionnement normal.

Mode de consommation d'énergie	Ecran	Signal de synchro horizontale	Signal de synchro verticale	Consommation électrique	Temps de reprise	Indicateur \cup
1 Fonctionnement normal	activé	présent	présent	CPD-L133 $\leq 30\text{ W}^* \leq 42\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 25\text{ W}^* \leq 35\text{ W}^{**}$	—	Vert
2 Veille (1er mode)	vide	absent	présent	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	Approx. 3 s	Vert et orange en alternance
3 Interruption (2e mode)	vide	présent	absent	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	Approx. 3 s	Vert et orange en alternance
4 Inactif (3e mode)	vide	absent	absent	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	Approx. 10 s	Orange
5 Hors tension	—	—	—	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	—	Eteint

* Consommation électrique du moniteur uniquement

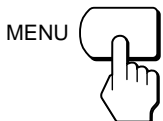
** Consommation électrique du moniteur et de l'adaptateur secteur

Affichage de l'écran INFORMATION

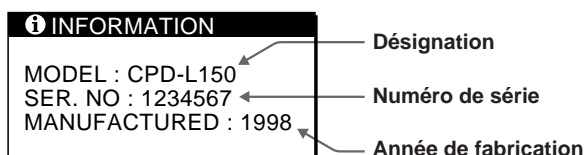
Vous pouvez vérifier la désignation, le numéro de série et l'année de fabrication de ce moniteur.

Maintenez la touche MENU enfoncée pendant cinq secondes.

L'écran de menu INFORMATION apparaît.



Exemple



L'écran de menu INFORMATION disparaît automatiquement au bout d'environ 30 secondes. Pour refermer l'écran de menu, appuyez à nouveau sur la touche MENU.

Plug & Play

Ce moniteur satisfait aux normes DDCTM1 et DDC2B Display Data Channel (DDC) de VESA.

Lorsqu'un serveur DDC1 est raccordé, le moniteur se synchronise sur le signal V. CLK conformément aux normes VESA et transmet les données EDID (Extended Display Identification Data) à la ligne de données.

DDCTM est une marque commerciale de Video Electronics Standard Association.

Messages d'avertissement

Si une situation anormale se produit au niveau du signal d'entrée, l'un des messages suivants apparaît.



“HORS PLAGES DE BALAYAGE” indique que le signal d'entrée n'est pas supporté par les spécifications d'affichage.

“PAS ENTREE VIDEO” indique qu'aucun signal n'est entré.

Pour résoudre ces problèmes, reportez-vous à la section “Dépannage” ci-dessous.

Dépannage

Cette section peut vous aider à identifier la cause d'un problème et donc éviter de consulter le service d'assistance technique.

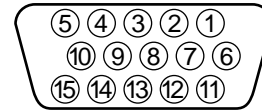
Symptômes	Vérifiez
Pas d'image	
Si l'indicateur u n'est pas allumé.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez si le cordon d'alimentation est correctement branché. • Vérifiez si le commutateur u (alimentation) se trouve en position “ON” (marche).
Si le message “PAS ENTREE VIDEO” apparaît sur l'écran ou si l'indicateur u est allumé en orange.	<ul style="list-style-type: none"> • L'écran est vide lorsque le moniteur est en mode d'économie d'énergie. Appuyez sur une touche quelconque du clavier de l'ordinateur. • Vérifiez si le commutateur d'alimentation de votre ordinateur est en position “ON” (marche). • Vérifiez si la sélection d'entrée est correcte. • Vérifiez si le câble de signal vidéo est correctement branché et si toutes les fiches sont fermement connectées dans leurs prises respectives. • Vérifiez si le connecteur d'entrée vidéo HD15 ne comporte pas une broche faussée ou enfoncée.
Si le message “HORS PLAGES DE BALAYAGE” apparaît sur l'écran.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez si la plage de fréquence vidéo correspond à celle spécifiée pour l'affichage. Horizontale : 30 – 70 kHz, verticale : 50 – 85 Hz. Reportez-vous au mode d'emploi de votre ordinateur pour le réglage de la plage de fréquence vidéo. • Si vous utilisez un adaptateur de câble de signal vidéo, vérifiez s'il est correct.
Si vous utilisez un système Macintosh.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez si l'adaptateur Macintosh et le câble de signal vidéo sont correctement branchés (page 6).
Si vous utilisez Windows 95/98.	<ul style="list-style-type: none"> • Si vous remplacez un ancien moniteur par ce moniteur, reconnectez l'ancien moniteur et procédez comme suit. Installez la disquette “Windows Monitor Information Disk/Utility Disk” (page 7) et sélectionnez “CPD-L133 ou CPD-L150” parmi les moniteurs Sony dans l'écran de sélection de moniteur de Windows 95/98.
L'image est sombre.	<ul style="list-style-type: none"> • Réglez le rétro-éclairage (page 14). • Réglez la luminosité (page 9). • L'écran peut nécessiter quelques secondes d'échauffement après la mise sous tension. L'image va bientôt apparaître.
L'image est brouillée.	<ul style="list-style-type: none"> • Appuyez sur la touche AUTO (page 8). Si cette opération reste sans effet, procédez au réglage de l'horloge et de la phase (page 11). • Vérifiez dans le présent mode d'emploi si le mode graphique et la fréquence que vous essayez d'exploiter sont supportés. Même si la fréquence est comprise dans la plage adéquate, il arrive que certains ordinateurs soient d'une impulsion de synchronisation trop étroite pour que ce moniteur se synchronise correctement.

Symptômes	Vérifiez
Les couleurs ne sont pas uniformes.	<ul style="list-style-type: none"> Appuyez sur la touche AUTO (page 8). Si cette opération reste sans effet, procédez au réglage de l'horloge et de la phase (page 11).
Vous ne pouvez pas régler le moniteur à l'aide des touches du panneau frontal.	<ul style="list-style-type: none"> Si la fonction de verrouillage des commandes est activée, désactivez-la à l'aide de l'écran OPTION (page 15).
Le blanc n'est pas blanc.	<ul style="list-style-type: none"> Réglez la température de couleur (page 13).
L'image à l'écran n'est pas centrée.	<ul style="list-style-type: none"> Appuyez sur la touche AUTO (page 8). Réglez le centrage (page 12). Certains modes vidéo ne remplissent pas l'écran jusqu'aux bords. Ce problème tend à se produire avec certaines cartes vidéo.
La taille de l'image est incorrecte.	<ul style="list-style-type: none"> Vérifiez le réglage ZOOM (page 12).
L'image est floue.	<ul style="list-style-type: none"> Appuyez sur la touche AUTO (page 8). Si cette opération reste sans effet, procédez au réglage de l'horloge et de la phase (page 11). Réglez le contraste et la luminosité (page 9).
L'image sautille ou présente des oscillations ondulatoires.	<ul style="list-style-type: none"> Branchez le moniteur sur une autre prise murale (secteur), de préférence reliée à un autre circuit. Essayez le moniteur sur un autre ordinateur dans un autre local.
L'image scintille.	<ul style="list-style-type: none"> Appuyez sur la touche AUTO (page 8). Si cette opération reste sans effet, procédez au réglage de l'horloge et de la phase (page 11).
Des images fantômes apparaissent.	<ul style="list-style-type: none"> Déconnectez les prolongateurs de câble vidéo et/ou les boîtiers de commutation vidéo si ce symptôme se manifeste. Une longueur de câble excessive ou une mauvaise connexion peut générer ce symptôme.
Un motif ondulatoire ou elliptique (moiré) est visible.	<ul style="list-style-type: none"> Appuyez sur la touche AUTO (page 8). Si cette opération reste sans effet, procédez au réglage de l'horloge et de la phase (page 11).

Spécifications

Panneau LCD	Type de panneau : a-Si TFT Active Matrix CPD-L133 Format de l'image : 13,3 pouces (33,8 cm) CPD-L150 Format de l'image : 15 pouces (38 cm)
Format du signal d'entrée	Fréquence d'exploitation RVB : fh: 15,625 kHz (625 signal entrelacé) 15,75 kHz (525 signal entrelacé) 30 – 70 kHz fv: 50 Hz — 85 Hz
Rendement des pixels	99,99 %
Résolution	H: 1024 points max. V: 768 lignes max.
Puissance de raccordement	Fonctionnement : 100 – 240 V CA, 50 – 60 Hz Entrée : 12 V CC (avec l'adaptateur secteur)
Consommation électrique	CPD-L133 Affichage uniquement : Max. 30 W Avec l'adaptateur secteur : Max. 42 W CPD-L150 Affichage uniquement : Max. 25 W Avec l'adaptateur secteur : Max. 35 W
Dimensions (l/h/p)	CPD-L133 Avec le support : Approx. 373 × 358 × 165 mm (14 ^{3/4} × 14 ^{1/8} × 6 ^{1/2} po) Moniteur uniquement : Approx. 373 × 272 × 71 mm (14 ^{3/4} × 10 ^{3/4} × 2 ^{7/8} po) CPD-L150 Avec le support : Approx. 398 × 366 × 165 mm (15 ^{3/4} × 14 ^{1/2} × 6 ^{1/2} po) Moniteur uniquement : Approx. 398 × 291 × 71 mm (15 ^{3/4} × 11 ^{1/2} × 2 ^{7/8} po)
Masse	CPD-L133 Approx. 4,9 kg (10 lb 12 oz), support compris CPD-L150 Approx. 5,3 kg (11 lb), support compris
Accessoires fournis	Voir page 6.

Assignation des broches



Broche n°	Signal	Broche n°	Signal
1	Rouge	8	Masse bleu
2	Vert (synchro composite sur le vert)	9	DDC + 5V*
		10	Masse
		11	ID (masse)
3	Bleu	12	Données bidirectionnelles (SDA)*
4	ID (masse)		
5	Masse DDC*	13	Synchro H
6	Masse rouge	14	Synchro V
7	Masse vert	15	Données d'horloge (SCL)*

* Norme Display Data Channel (DDC) de VESA

La conception et les spécifications sont sujettes à modifications sans préavis.

INHALT

Vorbereitungen

Sicherheitsmaßnahmen	4
Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente	5
Anschließen des Geräts	6
Automatisches Einstellen des Bildes	8
Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen	8

Einstellen des Monitors

Einstellen der Bildhelligkeit	9
Einstellen des Kontrasts	9
Das Bildschirmenüsystem	10
Die Dienstprogrammdiskette	10
Korrigieren eines flimmernden oder verschwommenen Bildes	11
Einstellen der Bildposition	12
Anzeigen des Bildes in der tatsächlichen Auflösung	12
Ändern oder Einstellen der Farbtemperatur	13
Ändern der Position der Bildschirmanzeigen	13
Einstellen der Hintergrundbeleuchtung	14
Einstellen der Verzögerung für die Energiesparfunktion	14
Sperrern der Bedienelemente	15
Zurücksetzen der Einstellungen	15

D

Technische Merkmale

Vordefinierte Modi und Benutzermodi	16
Energiesparfunktion	17
Anzeigen des Bildschirms INFORMATION	17
Plug & Play	17

Weitere Informationen

Warnmeldungen	18
Störungsbehebung	18
Technische Daten	20

- Macintosh ist ein Warenzeichen der Apple Computer, Inc., in den USA und anderen Ländern.
- Windows® und MS-DOS sind eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und anderen Ländern.
- IBM PC/AT und VGA sind eingetragene Warenzeichen der IBM Corporation in den USA.
- VESA ist ein Warenzeichen der Video Electronics Standard Association.
- ENERGY STAR ist ein eingetragenes Warenzeichen in den USA.
- Alle anderen in diesem Handbuch erwähnten Warenzeichen oder eingetragenen Warenzeichen sind Eigentum der jeweiligen Unternehmen.
- Im Handbuch sind die Warenzeichen und eingetragenen Warenzeichen nicht in jedem Fall ausdrücklich durch "™" bzw. "®" gekennzeichnet.

Sicherheitsmaßnahmen

Installation

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie den Monitor nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie den Monitor nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen er direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe anderer Geräte auf, die ein starkes Magnetfeld generieren, wie zum Beispiel ein Transformator oder eine Hochspannungsleitung.

Hinweise zum LCD-Bildschirm

- Helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün) können auf dem LCD-Bildschirm zu sehen sein. Dies ist keine Fehlfunktion. Der LCD-Bildschirm wird in einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt, und der Anteil der effektiven Bildpunkte liegt bei über 99,99 %. Es ist jedoch möglich, daß einige Bildelemente gar nicht oder einige Bildelemente ständig angezeigt werden.
- Stellen Sie das Gerät nicht so auf, daß der LCD-Bildschirm auf die Sonne gerichtet ist. Andernfalls könnte der LCD-Bildschirm beschädigt werden. Achten Sie darauf besonders, wenn Sie den Monitor in der Nähe eines Fensters aufstellen.
- Stoßen Sie nicht gegen den LCD-Bildschirm, und zerkratzen Sie ihn nicht. Stellen Sie keine schweren Gegenstände auf den LCD-Bildschirm. Andernfalls kann die Gleichförmigkeit des Bildes gestört werden.
- Wenn Sie den Monitor in einer kalten Umgebung benutzen, kann ein Nachbild auf dem LCD-Bildschirm zu sehen sein. Dies ist keine Fehlfunktion. Sobald sich der Monitor erwärmt, wird die Anzeige auf dem Bildschirm wieder normal.
- Wenn Sie über längere Zeit ein Standbild anzeigen lassen, kann ein Nachbild erscheinen. Dieses Nachbild verschwindet nach einer Weile wieder.
- Bildschirm und Gehäuse erwärmen sich bei Betrieb. Dies ist keine Fehlfunktion.

Austauschen der Leuchtstoffröhre

Eine spezielle Leuchtstoffröhre dient in diesem Monitor als Lichtquelle. Wenn die Anzeige auf dem LCD-Bildschirm dunkel oder instabil wird oder gar nicht mehr erscheint, muß die Leuchtstoffröhre gegen eine neue ausgetauscht werden. Wenden Sie sich dazu an Ihren Sony-Händler.

Wartung

- Reinigen Sie Gehäuse, Bedienfeld und Bedienelemente mit einem weichen Tuch, das Sie leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtet haben. Verwenden Sie keine Scheuermittel, Scheuerschwämme oder Lösungsmittel wie Alkohol oder Benzin.
- Berühren Sie die Bildschirmoberfläche nicht mit scharfen, rauhen oder spitzen Gegenständen wie zum Beispiel Kugelschreibern oder Schraubenziehern. Andernfalls könnte die Bildschirmoberfläche zerkratzt werden.
- Reinigen Sie den Bildschirm mit einem weichen Tuch. Wenn Sie ein Glasreinigungsmittel verwenden, achten Sie darauf, daß es keine Antistatik-Lösung oder ähnliche Zusätze enthält, da diese zu Kratzern auf der Beschichtung des Bildschirms führen könnten.

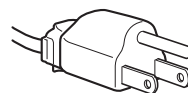
Transport

- Wenn Sie den Monitor transportieren, fassen Sie ihn mit beiden Händen an der Unterseite des Gehäuses. Wenn Sie den Monitor fallenlassen, könnten Sie sich verletzen, und der Monitor könnte beschädigt werden.
- Wenn Sie den Monitor zur Reparatur oder bei einem Umzug transportieren müssen, verpacken Sie ihn mit Hilfe der Originalverpackungsmaterialien wieder im Originalkarton.

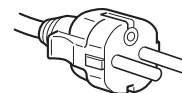
Warnhinweis zum Netzanschluß

- Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.
Für Kunden in Großbritannien
Wenn Sie den Monitor in Großbritannien verwenden, benutzen Sie bitte das mitgelieferte Kabel mit dem für Großbritannien geeigneten Stecker.

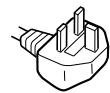
Beispiele für Steckertypen



für 100 bis 120 V
Wechselstrom



für 200 bis 240 V
Wechselstrom



nur für 240 V
Wechselstrom

Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

Montage an der Wand oder einem Schwenkarm

Wenn der Monitor an der Wand oder an einem Schwenkarm montiert werden soll, wenden Sie sich bitte an Fachpersonal. Versuchen Sie nicht, den Monitor selbst zu montieren.

Entsorgen des Monitors

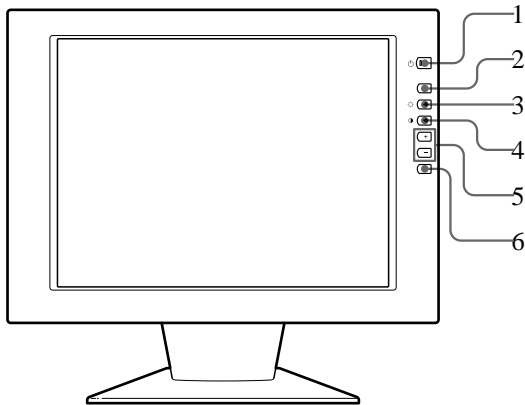
- Entsorgen Sie den Monitor nicht im Rahmen der allgemeinen Müllabfuhr. Der Monitor gehört nicht in den Hausmüll.
- Die Leuchtstoffröhre enthält Quecksilber. Entsorgen Sie den Monitor in Übereinstimmung mit den lokalen Müllentsorgungs- und Umweltschutzvorschriften.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Weitere Informationen finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten.

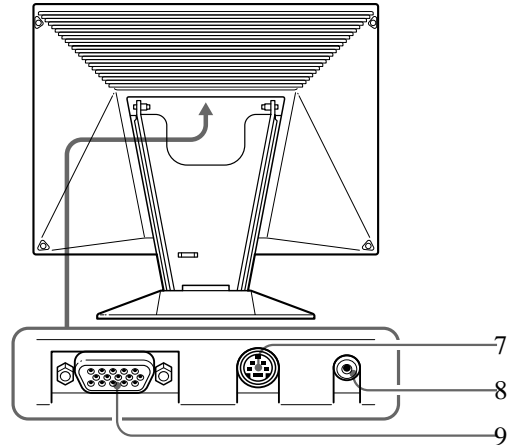
Die Abbildungen in der gesamten Anleitung zeigen das Modell CPD-L150.

Vorderseite



- 1 **Netzschalter und -anzeige** u (Seite 8, 17)
Zum Ein- und Ausschalten des Monitors.
Die Anzeige leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist, und blinkt grün und orange bzw. leuchtet orange, wenn sich der Monitor im Energiesparmodus befindet.
- 2 **Taste MENU (Menü)** (Seite 8, 11 – 15, 17)
Zum Aufrufen des Menüs MENU.
- 3 **Taste < (Helligkeit) (∅)** (Seite 8 – 9, 11 – 15)
Zum Einstellen der Bildhelligkeit.
Dient beim Auswählen von Menüoptionen als Taste ∅.
- 4 **Taste > (Kontrast) (‡)** (Seite 8 – 9, 11 – 15)
Zum Einstellen des Kontrasts.
Dient beim Auswählen von Menüoptionen als Taste ‡.
- 5 **Tasten +/- (Einstellen)** (Seite 9, 11 – 15)
Zum Einstellen der ausgewählten Menüoption.
- 6 **Taste AUTO** (Seite 8, 11)
Drücken Sie nach dem Anschließen dieses Monitors die Taste AUTO. Damit wird das Bild automatisch auf das Signal vom Computer eingestellt.
Drücken Sie diese Taste außerdem, wenn das Bild nicht zentriert oder verschwommen ist.

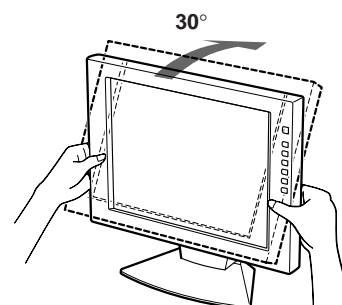
Rückseite



- 7 **Buchse für externe Steuerung**
Zum Einspeisen externer Steuersignale im RS-232-Format. Weitere Informationen dazu erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.
- 8 **Anschluß DC IN** (Seite 6)
Über diesen Anschluß wird der Monitor mit Gleichstrom vom Netzteil versorgt.
- 9 **RGB-Eingang (HD15)** (Seite 6)
Zum Einspeisen analoger RGB-Videosignale (0,714 Vp-p, positiv) und SYNC-Signale.

Neigen des Monitors

Dank der Neigevorrichtung können Sie den Monitor vertikal in einem Winkel von bis zu 30° neigen. Stützen Sie den Monitor dazu bitte mit beiden Händen unten ab, wie auf der Abbildung unten gezeigt.



Anschließen des Geräts

Bevor Sie mit dem Monitor arbeiten, überprüfen Sie bitte, ob folgende Teile mitgeliefert wurden:

- LCD-Monitor (1)
- Netzteil (1)
- Hintere Abdeckung (1)
- Netzkabel (1)
- HD15-Videosignalkabel (1)
- Macintosh-Adapter (1)
- Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (1)
- Macintosh Utility Disk (1)
- TCO'95 Eco-Dokument (1)
- Garantiekarte (1)
- Diese Bedienungsanleitung (1)

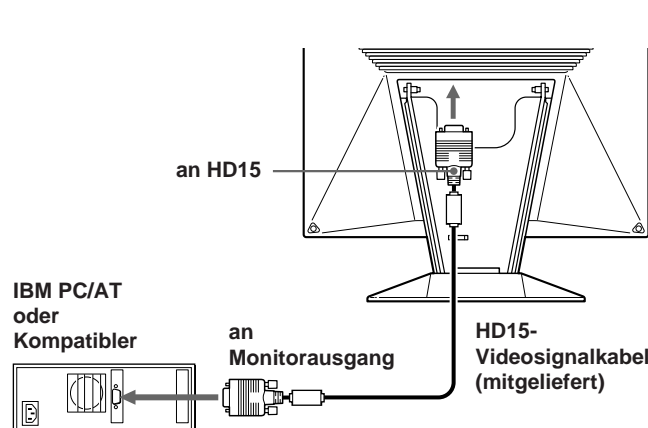
Dieser Monitor arbeitet mit allen IBM- oder kompatiblen Systemen mit VGA oder höheren Grafikfunktionen. Sie können diesen Monitor auch mit Geräten anderer Plattformen einsetzen, die mit Horizontalfrequenzen zwischen 30 und 70 kHz arbeiten, einschließlich Macintosh- und Power Macintosh-Systemen. In diesem Fall ist jedoch ein Kabeladapter erforderlich. Bei Ihrem Händler können Sie erfahren, welchen Adapter Sie gegebenenfalls benötigen. Dieser Monitor arbeitet darüber hinaus mit den RGB-Signalen von PAL und NTSC-Systemen.

Schritt 1: Schließen Sie den Monitor an den Computer an

Schließen Sie bei ausgeschaltetem Computer den Monitor mit dem mitgelieferten HD15-Videosignalkabel an den Computer an.

- Wenn Sie mit einem IBM PC/AT oder einem kompatiblen Computer arbeiten, fahren Sie mit dem Abschnitt unten fort.
- Wenn Sie mit einem Macintosh- oder einem kompatiblen Computer arbeiten, fahren Sie mit dem folgenden Abschnitt, "Anschließen an einen Macintosh- oder kompatiblen Computer", fort.

Anschließen an einen IBM PC/AT oder kompatiblen Computer

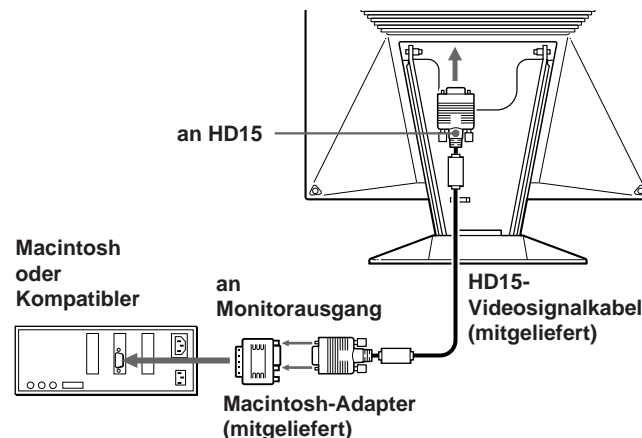


Wenn Ihr PC nicht mit DDC1 und DDC2B kompatibel ist

Dieser Monitor verwendet Stift Nr. 9 im Videosignalanschluß für DDC1- und DDC2B-Kompatibilität.

An einige PC-Systeme, die mit DDC1 oder DDC2B nicht kompatibel sind, können Sie Stift Nr. 9 möglicherweise nicht anschließen. Wenn Sie nicht sicher sind, ob Ihr PC-System den Stift Nr. 9 unterstützt, verwenden Sie den Adapter HD15 (weiblich) - HD15 (männlich, ohne Stift Nr. 9) (nicht mitgeliefert). Achten Sie darauf, den männlichen Stecker (ohne Stift Nr. 9) an den Computer anzuschließen.

Anschließen an einen Macintosh- oder kompatiblen Computer



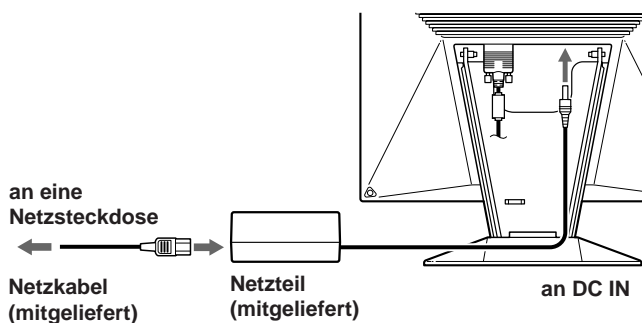
Der mitgelieferte Macintosh-Adapter

Der mitgelieferte Macintosh-Adapter ist kompatibel mit Macintosh LC, Performa, Quadra und der Power Macintosh-Serie.

Bei Modellen der Serie Macintosh II und älteren Power Book-Versionen ist möglicherweise ein Adapter mit Mikroschaltern (nicht mitgeliefert) erforderlich.

Schritt 2: Schließen Sie das Netzkabel an

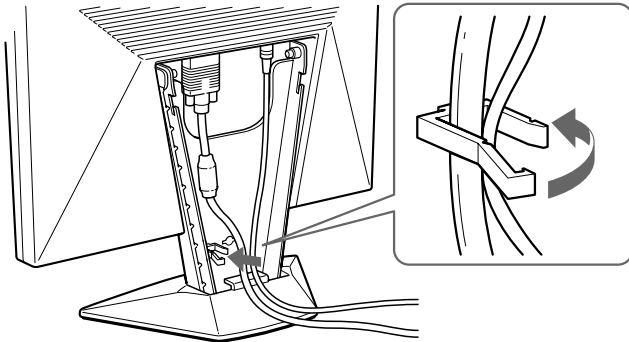
Schließen Sie bei ausgeschaltetem Monitor das Gleichstromkabel an den Monitor an, und stecken Sie den Netzstecker in eine Netzsteckdose.



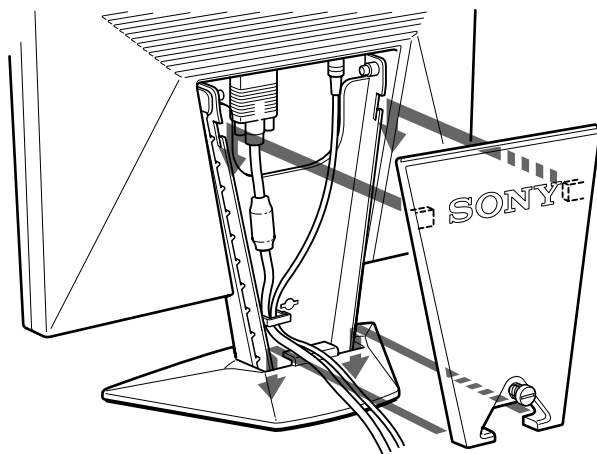
Schritt 3: Anbringen der hinteren Abdeckung

Bringen Sie nach dem Anschließen des Computers und des Netzkabels die mitgelieferte hintere Abdeckung an. Achten Sie darauf, den Bildschirm aufrecht zu halten, wenn Sie die hintere Abdeckung anbringen.

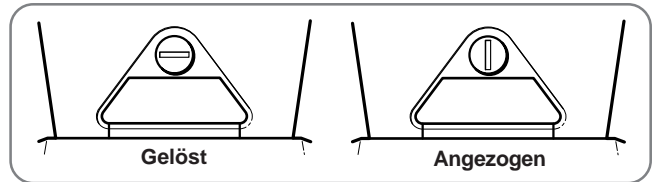
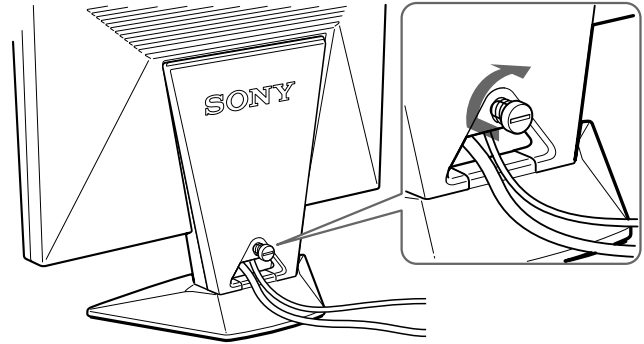
- 1 Haken Sie das Computer- und das Netzkabel ein.



- 2 Setzen Sie die Laschen an der Rückseite der hinteren Abdeckung an den Halterungen an, und schieben Sie die Abdeckung nach unten.



- 3 Drehen Sie zum Befestigen der hinteren Abdeckung die Schraube nach rechts.



Schritt 4: Einschalten des Monitors und des Computers

Schalten Sie zunächst den Monitor und dann den Computer ein.

Die Installation des Monitors ist damit abgeschlossen.

Hinweis

Wird "OUT OF SCAN RANGE" oder "NO INPUT SIGNAL" auf dem Bildschirm angezeigt, schlagen Sie unter "Warnmeldungen" auf Seite 18 nach.

Für Benutzer von Windows 95/98

Damit Sie den Monitor optimal nutzen können, installieren Sie die Datei mit den neuen Modellinformationen von der mitgelieferten Diskette "Windows Monitor Information Disk/Utility Disk" auf Ihrem PC. Dieser Monitor entspricht dem Plug-and-Play-Standard "VESA DDC". Wenn Ihr PC bzw. Ihre Grafikkarte dem DDC-Standard entspricht, geben Sie bitte "Plug & Play Monitor (VESA DDC)" oder den Modellnamen dieses Monitors als Monitortyp in der "Control Panel" von Windows 95/98 an. Wenn bei der Kommunikation zwischen Ihrem PC bzw. Ihrer Grafikkarte und dem Monitor Probleme auftreten, legen Sie die Diskette "Windows Monitor Information Disk/Utility Disk" ein, und wählen Sie den Modellnamen dieses Monitors als Monitortyp aus.

Für Benutzer von Windows NT 4.0

Die Installation des Monitors unter Windows NT 4.0 ist anders als unter Windows 95/98. So brauchen Sie z.B. den Monitortyp nicht auszuwählen. Näheres zum Einstellen der Auflösung, der Bildwiederholrate und der Anzahl der Farben finden Sie im Benutzerhandbuch zu Windows NT 4.0.

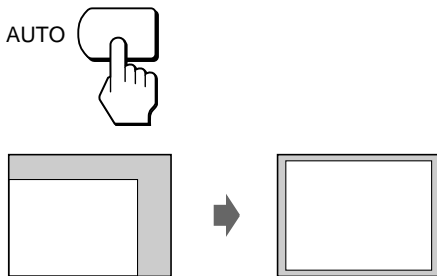
D

Automatisches Einstellen des Bildes

Wenn das Bild flimmert oder verschwommen ist, drücken Sie die Taste AUTO. Der Monitor wird automatisch auf das Signal des angeschlossenen Computers eingestellt.

Bei einigen Computern kann darüber hinaus noch eine Feineinstellung erforderlich sein. Stellen Sie den Monitor in diesem Fall wie unter "Einstellen des Monitors" auf Seite 9 erläutert von Hand ein.

- 1 Schalten Sie den Monitor ein.
- 2 Schalten Sie den Computer ein.
- 3 Drücken Sie die Taste AUTO.
Das Bild wird in die Mitte des Bildschirms gestellt.



Hinweise

- Diese Funktion ist speziell für Computer unter Windows oder einer Software mit einer ähnlichen grafischen Benutzeroberfläche konzipiert, bei der das Bild den ganzen Bildschirm ausfüllt. Die Funktion arbeitet möglicherweise nicht korrekt, wenn die Hintergrundfarbe dunkel ist oder das eingespeiste Bild den Bildschirm nicht ganz ausfüllt, wie z. B. die MS-DOS-Eingabeaufforderung.
- Während der automatischen Größeneinstellung wird möglicherweise einige Sekunden lang ein leerer Bildschirm angezeigt. Dies ist keine Fehlfunktion.

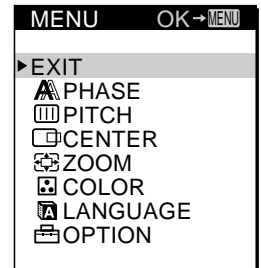
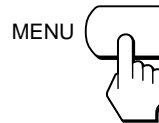
Wenn das Bild auch nach dem Drücken der Taste AUTO noch flimmert oder verschwommen ist

Stellen Sie Pitch und Phase von Hand ein (Seite 11).

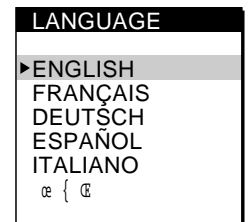
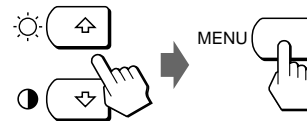
Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen

Als Sprache für die Bildschirmanzeigen können Sie Englisch, Französisch, Deutsch, Spanisch, Italienisch und Japanisch auswählen.

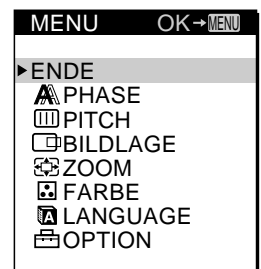
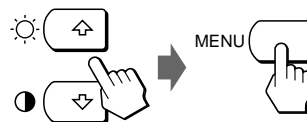
- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



- 2 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option LANGUAGE aus, und drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige LANGUAGE erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die gewünschte Sprache aus, und drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint in der ausgewählten Sprache.



Nach etwa 30 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet.

Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

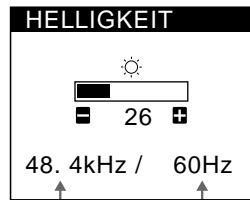
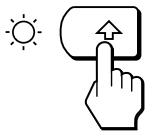
Vorbereitungen

Verbinden Sie den Monitor mit dem Computer, und schalten Sie beide Geräte ein.
Die besten Ergebnisse erzielen Sie, wenn Sie mindestens 30 Minuten warten, bevor Sie Einstellungen vornehmen.

Einstellen der Bildhelligkeit

Der Wert für die Helligkeit, den Sie hier einstellen, wird für alle eingespeisten Eingangssignale gespeichert.

- 1 Drücken Sie die Taste < (Helligkeit) \emptyset .
Die Bildschirmanzeige HELBIGKEIT erscheint.



Horizontalfrequenz* Vertikalfrequenz*

- 2 Drücken Sie die Tasten +/-.



+ ... Das Bild wird heller.
- ... Das Bild wird dunkler.



Nach etwa 3 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet.

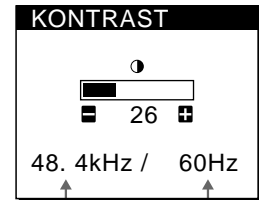
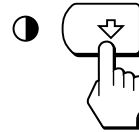
* Die Horizontal- und die Vertikalfrequenz des gerade eingespeisten Eingangssignals erscheinen in der Bildschirmanzeige HELBIGKEIT.

Wenn der Bildschirm in einem dunklen Raum zu hell ist Verringern Sie den Einstellwert für HINTERGRUNDLICHT (Seite 14).

Einstellen des Kontrasts

Der Wert für den Kontrast, den Sie hier einstellen, wird für alle eingespeisten Eingangssignale gespeichert.

- 1 Drücken Sie die Taste > (Kontrast) \oplus .
Die Bildschirmanzeige KONTRAST erscheint.



Horizontalfrequenz* Vertikalfrequenz*

- 2 Drücken Sie die Tasten +/-.



+ ... Der Kontrast wird stärker.



- ... Der Kontrast wird schwächer.

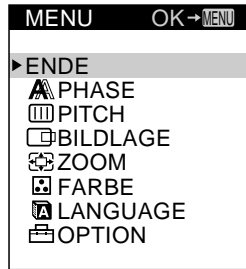
Nach etwa 3 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet.

* Die Horizontal- und die Vertikalfrequenz des gerade eingespeisten Eingangssignals erscheinen in der Bildschirmanzeige KONTRAST.

Das Bildschirmmenüsystem

Die meisten Einstellungen nehmen Sie über die Bildschirmanzeige MENU vor.

Wie Sie die Sprache für die Bildschirmanzeigen wechseln, erfahren Sie unter "Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen" (Seite 8).



ENDE

Zum Schließen der Bildschirmanzeige MENU.

PHASE

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige PHASE. Stellen Sie die Phase ein, wenn die Zeichen oder Bilder auf dem gesamten Bildschirm verschwommen erscheinen. Stellen Sie die Phase nach dem Einstellen des Pitch ein.

PITCH

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige PITCH. Stellen Sie den Pitch ein, wenn die Zeichen oder Bilder in einigen Bereichen des Bildschirms nicht scharf erscheinen.

BIDLAGE

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige BIDLAGE, mit der Sie die Zentrierung des Bildes einstellen können.

ZOOM

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige ZOOM, mit der Sie den Anzeigemodus für das Bild auswählen können. Mit FULL MODUS wird das Bild auf dem gesamten Bildschirm angezeigt, mit REAL MODUS wird es in der tatsächlichen Auflösung angezeigt.

FARBE

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige FARBE, mit der Sie die Farbtemperatur einstellen können.

LANGUAGE

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige LANGUAGE, mit der Sie die Sprache für die Bildschirmanzeigen auswählen können.

OPTION

Zum Aufrufen der Bildschirmanzeige OPTION. Hier können Sie Optionen wie Hintergrundbeleuchtung, Position der Bildschirmanzeigen, Tastensperrfunktion und Verzögerung für die Energiesparfunktion einstellen.

Die Dienstprogrammdiskette

Die mitgelieferte Dienstprogrammdiskette (Utility Disk) enthält Testmuster zum Einstellen von Pitch, Phase und Zentrierung.

Anhand dieser Testmuster können Sie Ihre Einstellungen überprüfen.

Pitch-Einstellung

Stellen Sie den Pitch ein, wenn vertikale Streifen auf dem Bildschirm erscheinen oder ein Bereich des Bildschirms flimmert oder verschwommen ist.

Stellen Sie das Bild so ein, daß die fetten, vertikalen Linien des Testmusters verschwinden.

Phaseneinstellung

Stellen Sie die Phase ein, wenn das Bild auf dem gesamten Bildschirm flimmert oder verschwommen ist bzw. wenn horizontale Streifen auftreten.

Stellen Sie das Bild so ein, daß die horizontalen Streifen auf ein Minimum reduziert werden.

BIDLAGE

Stellen Sie die BIDLAGE ein, wenn das Bild nicht zentriert ist.

Verschieben Sie das Bild nach oben, unten, links oder rechts, bis der rote Rahmen als äußere Begrenzung des Testmusters verschwindet.

Verwenden der Testmuster

- 1 Setzen Sie ZOOM auf REAL MODUS (Seite 12).
- 2 Legen Sie die mitgelieferte Dienstprogrammdiskette ein, und rufen Sie das Testmuster auf.
Verwenden Sie die für Ihren Computer geeignete Diskette.
Für Windows 95/98
Windows Monitor Information Disk/Utility Disk
Für Macintosh
Macintosh Utility Disk
- 3 Wählen Sie die Option zum Einstellen von Pitch, Phase oder Bildlage in der Bildschirmanzeige MENU des Monitors aus, und stellen Sie das Bild ein, während das Testmuster angezeigt wird (Seite 11, 12).
- 4 Klicken Sie abschließend auf dem Bildschirm auf [END.] Damit wird das Testmuster ausgeschaltet.

Korrigieren eines flimmernden oder verschwommenen Bildes

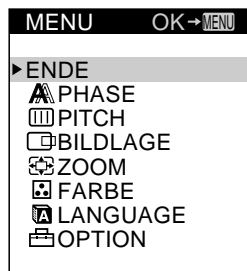
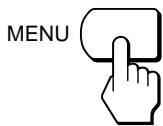
Wenn ein Bereich des Bildschirms flimmert oder verschwommen ist, drücken Sie die Taste AUTO. Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie Pitch und Phase folgendermaßen ein.

Die Werte für Pitch und Phase, die Sie hier einstellen, werden nur für das gerade eingespeiste Eingangssignal gespeichert.

1 Legen Sie die Dienstprogrammdiskette ein (Seite 10).

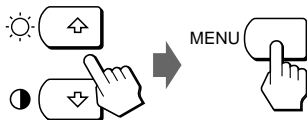
2 Drücken Sie die Taste MENU.

Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



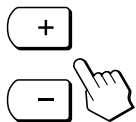
3 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option PITCH aus, und drücken Sie die Taste MENU erneut.

Die Bildschirmanzeige PITCH erscheint.



4 Drücken Sie die Tasten $+/-$, bis die Bildschirmfarben gleichmäßig sind.

Wenn Sie die Dienstprogrammdiskette benutzen, stellen Sie das Bild so ein, daß die vertikalen Streifen verschwinden.



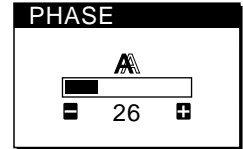
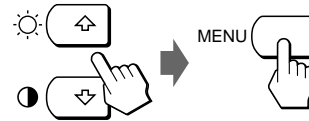
5 Drücken Sie die Taste MENU.

Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.

Wenn auf dem gesamten Bildschirm horizontale Streifen zu sehen sind, stellen Sie im nächsten Schritt die Phase ein.

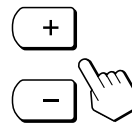
6 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option PHASE aus, und drücken Sie die Taste MENU erneut.

Die Bildschirmanzeige PHASE erscheint.



7 Drücken Sie die Tasten $+/-$, bis die Bildschirmfarben gleichmäßig sind.

Wenn Sie die Dienstprogrammdiskette benutzen, stellen Sie das Bild so ein, daß die horizontalen Streifen auf ein Minimum reduziert werden.



Nach etwa 30 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet.

Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

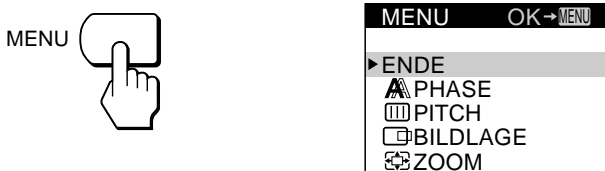
Zum Ausschalten des Testmusters klicken Sie auf dem Bildschirm auf [END].

D

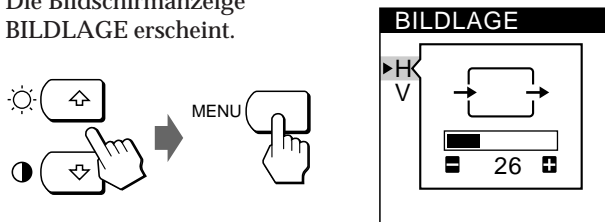
Einstellen der Bildposition

Wenn sich das Bild nicht in der Mitte des Bildschirms befindet, drücken Sie die Taste AUTO. Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie die Zentrierung folgendermaßen ein.
Der Wert für die Zentrierung, den Sie hier einstellen, wird nur für das gerade eingespeiste Eingangssignal gespeichert.

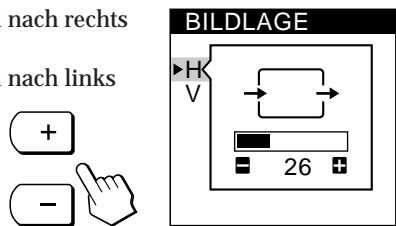
- 1 Legen Sie die Dienstprogrammdiskette ein (Seite 10).
- 2 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \emptyset / \pm die Option BIDLAGE aus, und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige BIDLAGE erscheint.

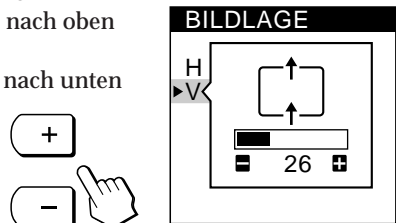


- 4 Bei der horizontalen Einstellung wählen Sie mit den Tasten \emptyset / \pm die Option H aus und stellen die Position mit den Tasten +/- ein.
+ ... Das Bild wird nach rechts verschoben.
- ... Das Bild wird nach links verschoben.



Bei der vertikalen Einstellung wählen Sie mit den Tasten \emptyset / \pm die Option V aus und stellen die Position mit den Tasten +/- ein.

- + ... Das Bild wird nach oben verschoben.
- ... Das Bild wird nach unten verschoben.



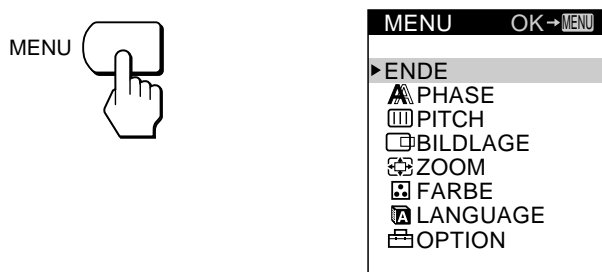
Nach etwa 30 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet.
Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

Zum Ausschalten des Testmusters klicken Sie auf dem Bildschirm auf [END.]

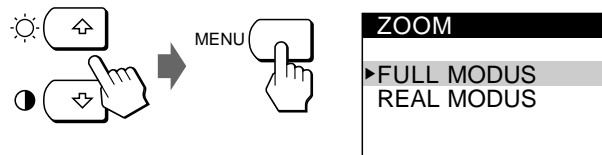
Anzeigen des Bildes in der tatsächlichen Auflösung

Der Monitor ist werkseitig so eingestellt, daß das Bild in voller Größe auf dem Bildschirm angezeigt wird, unabhängig von der Auflösung des Bildes. Sie können das Bild aber auch in der tatsächlichen Auflösung anzeigen lassen.
Der Wert für den Zoom, den Sie hier einstellen, wird nur für das gerade eingespeiste Eingangssignal gespeichert.

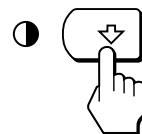
- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



- 2 Wählen Sie mit den Tasten \emptyset / \pm die Option ZOOM aus, und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige ZOOM erscheint.



- 3 Wählen Sie mit der Taste \pm die Option REAL MODUS aus, und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



Nach etwa 30 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet.
Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

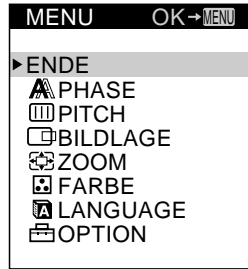
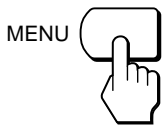
So lassen Sie das Bild in voller Größe auf dem Bildschirm anzeigen

Wählen Sie in Schritt 3 mit der Taste \emptyset die Option FULL MODUS aus.

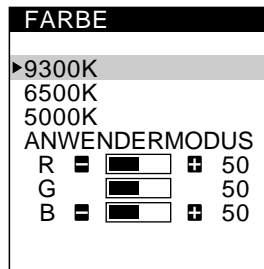
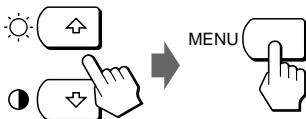
Ändern oder Einstellen der Farbtemperatur

Die Farbtemperatur ist werkseitig auf 9300K eingestellt. Sie können die Farbtemperatur ändern und 6500K oder 5000K einstellen. Stellen Sie mit dieser Funktion die Farbtemperatur so ein, daß die Farben mit den tatsächlichen Farben eines ausgedruckten Bildes übereinstimmen. Der Wert für die Farbtemperatur, den Sie hier einstellen, gilt für alle eingespeisten Eingangssignale.

- 1 Drücken Sie die Taste MENU. Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.

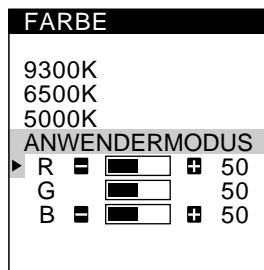
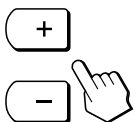


- 2 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option FARBE aus, und drücken Sie die Taste MENU erneut. Die Bildschirmanzeige FARBE erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Farbtemperatur aus. Wenn an der ausgewählten Farbtemperatur Feineinstellungen erforderlich sind, fahren Sie mit Schritt 4 fort. Andernfalls drücken Sie die Taste MENU. Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.

- 4 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option R (rot) oder B (blau) aus, und stellen Sie mit den Tasten \pm die gewünschte Farbe ein. Die Farbe ändert sich in dem Maße, in dem die R- oder B-Anteile im Hinblick auf G (grün) erhöht oder verringert werden.

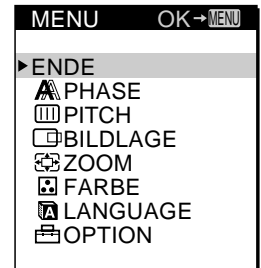
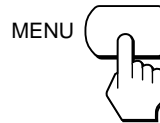


Nach etwa 30 Sekunden wird die Bildschirmanzeige automatisch ausgeblendet. Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

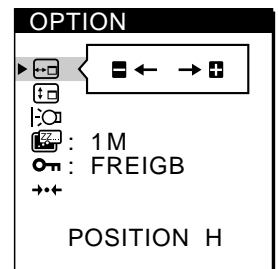
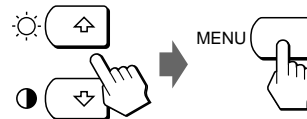
Ändern der Position der Bildschirmanzeigen

Sie können die Bildschirmanzeigen verschieben, wenn Sie z.B. den Bereich hinter einer Bildschirmanzeige einstellen wollen.

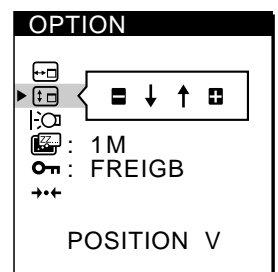
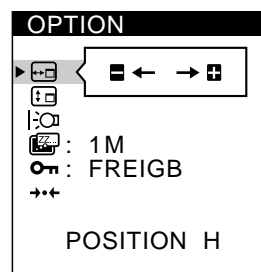
- 1 Drücken Sie die Taste MENU. Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



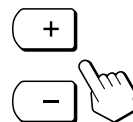
- 2 Wählen Sie OPTION mit den Tasten \uparrow/\downarrow , und drücken Sie die Taste MENU erneut. Die Bildschirmanzeige OPTION erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option $\leftarrow \rightarrow$ (POSITION H) oder \updownarrow (POSITION V) aus. So stellen Sie die horizontale Position ein



- 4 Verschieben Sie die Bildschirmanzeige mit den Tasten \pm an die gewünschte Position.



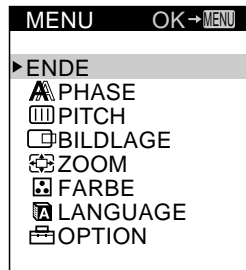
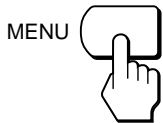
Die Bildschirmanzeige OPTION wird nach etwa 30 Sekunden automatisch ausgeblendet. Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

D

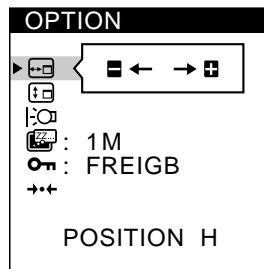
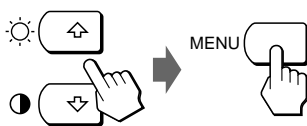
Einstellen der Hintergrundbeleuchtung

Wenn der Bildschirm in einem dunklen Raum zu hell eingestellt ist, stellen Sie die Hintergrundbeleuchtung des Monitors ein.

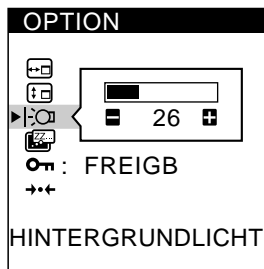
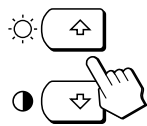
- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



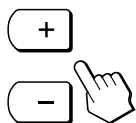
- 2 Wählen Sie OPTION mit den Tasten \leftarrow/\rightarrow , und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige OPTION erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \leftarrow/\rightarrow die Option $\left| \text{HINTERGRUNDLICHT} \right|$ aus.



- 4 Stellen Sie die Beleuchtungsstärke mit den Tasten +/- ein.

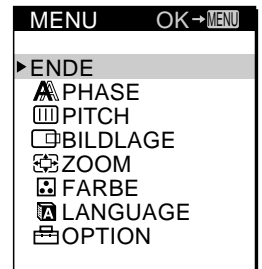
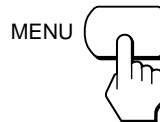


Die Bildschirmanzeige OPTION wird nach etwa 30 Sekunden automatisch ausgeblendet. Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

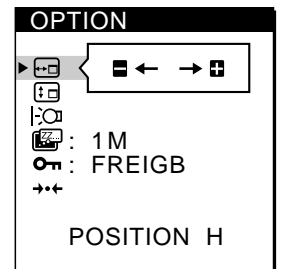
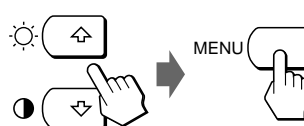
Einstellen der Verzögerung für die Energiesparfunktion

Sie können eine Verzögerungszeit angeben, nach der der Monitor in den Energiesparmodus wechselt. Weitere Informationen zu der Energiesparfunktion dieses Monitors finden Sie auf Seite 17.

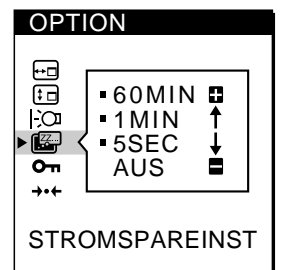
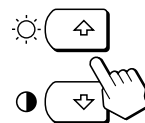
- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



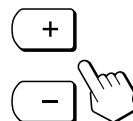
- 2 Wählen Sie OPTION mit den Tasten \leftarrow/\rightarrow , und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige OPTION erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \leftarrow/\rightarrow die Option $\left| \text{STROMSPAREINST} \right|$ aus.



- 4 Wählen Sie mit den Tasten +/- die gewünschte Verzögerungszeit aus.



Wenn STROMSPAREINST auf AUS gesetzt ist, wechselt der Monitor nicht in den Energiesparmodus.

Die Bildschirmanzeige OPTION wird nach etwa 30 Sekunden automatisch ausgeblendet. Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

Sperrern der Bedienelemente

Mit der Tastensperrfunktion können Sie alle Bedienelemente mit Ausnahme des Netzschalters \cup und der Taste MENU sperren.

Wenn Sie SPER gewählt haben, lassen sich in der Bildschirmanzeige MENU nur noch folgende Optionen auswählen:

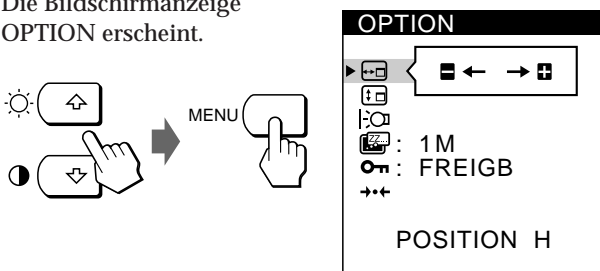
- ENDE
- TASTATUR und VOREINSTELLUNG in der Bildschirmanzeige OPTION

Wenn Sie eine gesperrte Taste drücken, erscheint die Markierung \bullet auf dem Bildschirm.

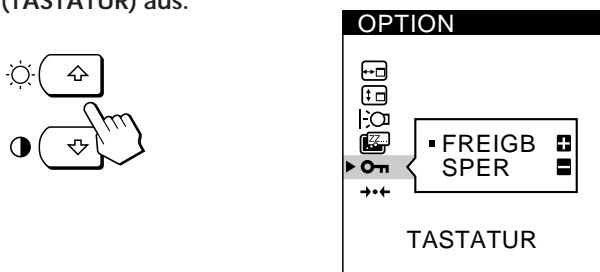
- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



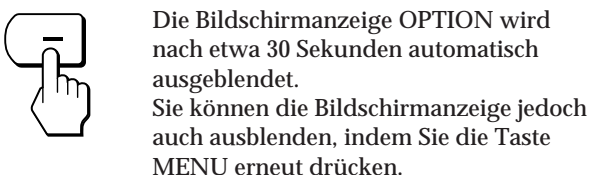
- 2 Wählen Sie OPTION mit den Tasten \uparrow/\downarrow , und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige OPTION erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option \bullet (TASTATUR) aus.



- 4 Wählen Sie mit der Taste - die Option SPER aus.



So heben Sie die Tastensperre wieder auf

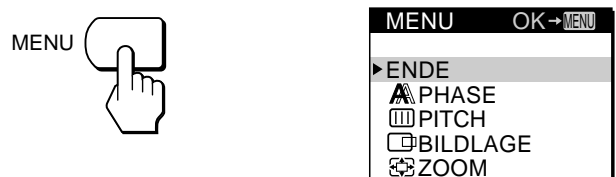
Wählen Sie in Schritt 4 mit der Taste + die Option FREIGB aus.

Zurücksetzen der Einstellungen

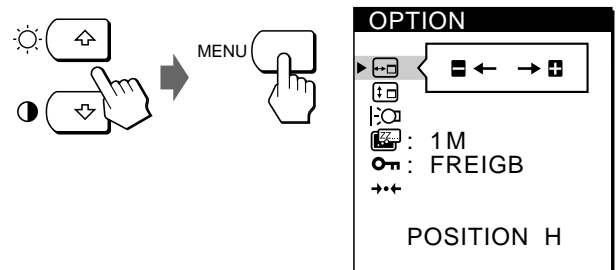
Sie können alle Einstellungen auf die werkseitigen Werte zurücksetzen.

Dabei wird die Farbtemperatur auf 9300K, die Zoom-Einstellung auf Anzeige in voller Größe und die Verzögerung für die Energiesparfunktion auf 1 Minute zurückgesetzt. Die Tastensperrfunktion wird deaktiviert. Andere Einstellungen werden auf die Standardwerte zurückgesetzt. Die Sprache der Bildschirmanzeigen wird jedoch nicht gewechselt.

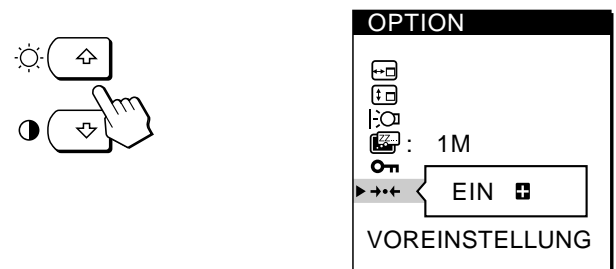
- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
Die Bildschirmanzeige MENU erscheint.



- 2 Wählen Sie OPTION mit den Tasten \uparrow/\downarrow , und drücken Sie die Taste MENU erneut.
Die Bildschirmanzeige OPTION erscheint.



- 3 Wählen Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow die Option ? (VOREINSTELLUNG) aus.



- 4 Drücken Sie die Taste +.



Die Bildschirmanzeige OPTION wird nach etwa 30 Sekunden automatisch ausgeblendet. Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

D

Vordefinierte Modi und Benutzermodi

Dieser Monitor verfügt über werkseitig vordefinierte Modi für die gängigsten Industriestandards und bietet somit echte "Plug & Play"-Unterstützung.

Wenn ein neues Eingangssignal eingespeist wird, wählt der Monitor den geeigneten werkseitig vordefinierten Modus aus und nimmt eine Phasenkalibrierung in bezug auf die Bildschirmmitte vor, so daß eine hohe Bildqualität erzielt werden kann. Die Kalibrierungseinstellung wird gespeichert und sofort abgerufen, wann immer dasselbe Eingangssignal eingeht.

Nr.	Auflösung (Punkte × Zeilen)	Horizontal- frequenz	Vertikal- frequenz	Grafikmodus
1	—	15,625 kHz	50 Hz	625I
2	—	15,75 kHz	60 Hz	525I
3	640 × 350	31,5 kHz	70 Hz	MCGA
4	640 × 400	31,5 kHz	70 Hz	NEC PC-98
5	640 × 480	31,5 kHz	60 Hz	VGA-G
6	640 × 480	35,0 kHz	67 Hz	Macintosh 13 Zoll, Farbe
7	640 × 480	37,5 kHz	75 Hz	EVGA
8	640 × 480	43,3 kHz	85 Hz	VESA
9	720 × 400	31,5 kHz	70 Hz	VGA-Text
10	720 × 400	37,9 kHz	85 Hz	VESA
11	800 × 600	37,9 kHz	60 Hz	SVGA
12	800 × 600	46,9 kHz	75 Hz	ESVGA
13	800 × 600	53,7 kHz	85 Hz	VESA
14	832 × 624	49,7 kHz	75 Hz	Macintosh 16 Zoll, Farbe
15	1024 × 768	48,4 kHz	60 Hz	VESA
16	1024 × 768	56,5 kHz	70 Hz	VESA
17	1024 × 768	60,0 kHz	75 Hz	EUVGA
18	1024 × 768	60,2 kHz	75 Hz	Macintosh 19 Zoll, Farbe
19	1024 × 768	68,7 kHz	85 Hz	VESA

Bei Eingangssignalen, die keinem der werkseitig voreingestellten Modi entsprechen, führt der Monitor mit Hilfe seiner digitalen Multiscan-Technologie alle Einstellungen durch, die bei einem beliebigen Timing innerhalb des für den Monitor gültigen Frequenzbereichs für ein scharfes Bild nötig sind. Es kann jedoch mitunter erforderlich werden, die vertikale und horizontale Zentrierung feineinzustellen. Drücken Sie dazu einfach die Taste AUTO, oder stellen Sie den Monitor wie in dieser Anleitung beschrieben ein. Die Einstellungen werden automatisch als Benutzermodus gespeichert und abgerufen, wann immer das betreffende Eingangssignal eingeht.

Empfohlene Werte für das horizontale und vertikale Timing

Das horizontale Synchronbreitenverhältnis sollte bei mindestens 4,8 % des horizontalen Gesamt-Timing liegen. Die horizontale Austastbreite muß mindestens 2,5 µSek. betragen. Die vertikale Austastbreite muß mindestens 450 µSek. betragen.

Einstellen der Auflösung des Monitors und der Anzahl der Farben

Stellen Sie die Auflösung des Monitors und die Anzahl der Farben anhand der Anweisungen im Benutzerhandbuch zu Ihrem Computer ein. Die Anzahl der Farben kann je nach Computer oder Grafikkarte variieren. Je nach der Einstellung unter "Farbpalette" werden unterschiedlich viele Farben dargestellt:

- High Color (16 Bit) n 65.536 Farben
- True Color (24 Bit) n ca. 16,77 Mio. Farben

Im True Color-Modus (24 Bit) kann sich die Geschwindigkeit verringern.

Energiesparfunktion

Dieser Monitor entspricht den Energiesparrichtlinien der VESA und des ENERGY STAR-Programms sowie des enger gefaßten NUTEK-Standards.

Wenn der Monitor an einen Computer oder eine Grafikkarte angeschlossen ist, der bzw. die VESA DPMS (Display Power Management Signaling) unterstützt, wird der Stromverbrauch des Geräts in drei Stufen, wie unten erläutert, reduziert.

Sie können über die entsprechende Bildschirmanzeige eine Verzögerungszeit angeben, nach der der Monitor in den Energiesparmodus wechselt. Stellen Sie die Verzögerungszeit wie unter "Einstellen der Verzögerung für die Energiesparfunktion" auf Seite 14 beschrieben ein.

Hinweis

Wird kein Videosignal in den Monitor eingespeist, erscheint die Meldung "KEIN EING SIGNAL" (siehe Seite 18). Wenn die Verzögerungszeit verstrichen ist, schaltet die Energiesparfunktion den Monitor automatisch in den deaktivierten Modus, und die Anzeige \cup leuchtet orange. Sobald jedoch horizontale und vertikale Synchronisationssignale eingehen, schaltet der Monitor automatisch wieder in den normalen Betriebsmodus.

Energiesparstufe	Bildschirm	Horizontales Synchronisationssignal	Vertikales Synchronisationssignal	Leistungsaufnahme	Zeit für Reaktivierung	Anzeige \cup
1 Normalbetrieb	aktiv	vorhanden	vorhanden	CPD-L133 $\leq 30\text{ W}^* \leq 42\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 25\text{ W}^* \leq 35\text{ W}^{**}$	—	Grün
2 Bereitschaft (1. Stufe)	leer	nicht vorhanden	vorhanden	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	ca. 3 Sek.	Abwechselnd grün und orange
3 Unterbrechung (2. Stufe)	leer	vorhanden	nicht vorhanden	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	ca. 3 Sek.	Abwechselnd grün und orange
4 Deaktiviert (3. Stufe)	leer	nicht vorhanden	nicht vorhanden	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	ca. 10 Sek.	Orange
5 Ausgeschaltet	—	—	—	CPD-L133 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5\text{ W}^* \leq 4\text{ W}^{**}$	—	Leuchtet nicht

* Leistungsaufnahme des Monitors

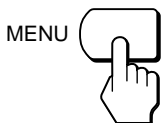
** Leistungsaufnahme des Monitors einschließlich Netzteil

Anzeigen des Bildschirms INFORMATION

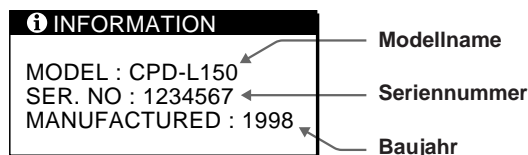
Sie können den Modellnamen, die Seriennummer und das Baujahr dieses Monitors anzeigen lassen.

Halten Sie die Taste MENU fünf Sekunden lang gedrückt.

Die Bildschirmanzeige INFORMATION erscheint.



Beispiel



Plug & Play

Dieser Monitor entspricht den DDC™-Standards (DDC = Display Data Channel) DDC1 und DDC2B der VESA. Ist der Monitor an ein DDC1-Host-System angeschlossen, wird er gemäß dem VESA-Standard mit V.CLK synchronisiert und gibt EDID-Signale (EDID = Extended Display Identification Data) an die Datenleitung aus.

DDC™ ist ein Warenzeichen der Video Electronics Standard Association.

Die Bildschirmanzeige INFORMATION wird nach etwa 30 Sekunden automatisch ausgeblendet.

Sie können die Bildschirmanzeige jedoch auch ausblenden, indem Sie die Taste MENU erneut drücken.

Warnmeldungen

Wenn am Eingangssignal ein Fehler vorliegt, erscheint eine der folgenden Warnmeldungen.



“NICHT IM ABTASTBEREICH” gibt an, daß das Eingangssignal nicht den technischen Daten des Monitors entspricht.

“KEIN EING SIGNAL” gibt an, daß kein Signal eingeht.

Hinweise zum Beheben solcher Probleme finden Sie im folgenden unter “Störungsbehebung”.

Störungsbehebung

Sie können die Ursache eines Problems gegebenenfalls anhand dieses Abschnitts erkennen und beheben, ohne daß Sie sich an den Kundendienst wenden müssen.

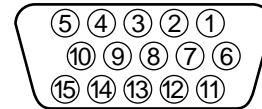
Symptom	Überprüfen Sie bitte folgendes:
Es wird kein Bild angezeigt.	
Die Anzeige u leuchtet nicht.	<ul style="list-style-type: none"> • Das Netzkabel muß korrekt angeschlossen sein. • Der Netzschalter u muß sich in der Position “On” befinden.
Die Meldung “KEIN EING SIGNAL” erscheint auf dem Bildschirm, oder die Anzeige u leuchtet orange.	<ul style="list-style-type: none"> • Der Bildschirm ist leer, wenn sich der Monitor im Energiesparmodus befindet. Drücken Sie eine beliebige Taste auf der Computer-Tastatur. • Der Netzschalter des Computers muß sich in der Position “On” befinden. • Das Eingangssignal muß korrekt ausgewählt sein. • Das Videosignalkabel muß korrekt angeschlossen sein, und alle Stecker müssen fest in den Buchsen sitzen. • Achten Sie darauf, daß am HD15-Videoeingangsanschluß keine Stifte verbogen oder eingedrückt sind.
Die Meldung “NICHT IM ABTASTBEREICH” erscheint auf dem Bildschirm.	<ul style="list-style-type: none"> • Die Videofrequenz muß im für den Monitor angegebenen Bereich liegen. Horizontal: 30 – 70 kHz, vertikal: 50 – 85 Hz Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung zum Computer nach, und stellen Sie den Videofrequenzbereich ein. • Wenn Sie einen Videosignalkabeladapter verwenden, überprüfen Sie, ob Sie den richtigen Adapter angeschlossen haben.
Sie arbeiten mit einem Macintosh-System.	<ul style="list-style-type: none"> • Der Macintosh-Adapter und das Videosignalkabel müssen richtig angeschlossen sein (Seite 6).
Sie arbeiten mit einem Windows 95/98-System.	<ul style="list-style-type: none"> • Wenn Sie einen älteren Monitor durch diesen Monitor ersetzt haben, schließen Sie den alten Monitor wieder an, und gehen Sie folgendermaßen vor: Installieren Sie die Diskette “Windows Monitor Information Disk/Utility Disk” (Seite 7), und wählen Sie aus den Sony-Monitoren im Auswahlfenster für Monitore in Windows 95/98 den Eintrag “CPD-L133 oder CPD-L150” aus.
Das Bild ist zu dunkel.	<ul style="list-style-type: none"> • Stellen Sie die Hintergrundbeleuchtung ein (Seite 14). • Stellen Sie die Helligkeit ein (Seite 9). • Nach dem Einschalten des Geräts benötigt der Monitor einige Sekunden Aufwärmzeit. Das Bild erscheint nach wenigen Sekunden.

Symptom	Überprüfen Sie bitte folgendes:
Das Bild ist gestört.	<ul style="list-style-type: none"> • Drücken Sie die Taste AUTO (Seite 8). Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie Pitch und Phase ein (Seite 11). • Lesen Sie in dieser Anleitung nach, ob der Grafikmodus und die Frequenz, mit der der Monitor arbeitet, unterstützt werden. Auch wenn die Frequenz innerhalb des unterstützten Bereichs liegt, arbeiten einige Computer möglicherweise mit einem Synchronisationsimpuls, der für eine korrekte Synchronisation dieses Monitors zu kurz ist.
Farbe ist nicht gleichmäßig.	<ul style="list-style-type: none"> • Drücken Sie die Taste AUTO (Seite 8). Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie Pitch und Phase ein (Seite 11).
Der Monitor läßt sich mit den Bedienelementen vorn nicht einstellen.	<ul style="list-style-type: none"> • Wenn die Tastensperrfunktion eingeschaltet ist, schalten Sie sie über die Bildschirmanzeige OPTION aus (Seite 15).
Weiß sieht nicht weiß aus.	<ul style="list-style-type: none"> • Stellen Sie die Farbtemperatur ein (Seite 13).
Das Bild befindet sich nicht in der Mitte des Bildschirms.	<ul style="list-style-type: none"> • Drücken Sie die Taste AUTO (Seite 8). • Stellen Sie die Zentrierung ein (Seite 12). • Bei bestimmten Videomodi füllt die Anzeige nicht den gesamten Bildschirm. Dieses Problem tritt besonders bei bestimmten Grafikkarten auf.
Die Bildgröße ist nicht korrekt.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie die ZOOM-Einstellung (Seite 12).
Das Bild ist verschwommen.	<ul style="list-style-type: none"> • Drücken Sie die Taste AUTO (Seite 8). Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie Pitch und Phase ein (Seite 11). • Stellen Sie Kontrast und Helligkeit ein (Seite 9).
Das Bild springt oder oszilliert.	<ul style="list-style-type: none"> • Schließen Sie das Netzkabel des Monitors an eine andere Steckdose, möglichst an einem anderen Stromkreis, an. • Testen Sie den Monitor an einem anderen Computer in einem anderen Raum.
Das Bild flimmert.	<ul style="list-style-type: none"> • Drücken Sie die Taste AUTO (Seite 8). Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie Pitch und Phase ein (Seite 11).
Doppelbilder sind zu sehen.	<ul style="list-style-type: none"> • Verwenden Sie keine Bildschirmverlängerungskabel und/oder Videoschaltboxen, wenn dieses Phänomen auftritt. Zu lange Kabel oder eine störanfällige Verbindung können dieses Problem auslösen.
Wellenförmige oder elliptische Moiré-Effekte sind sichtbar.	<ul style="list-style-type: none"> • Drücken Sie die Taste AUTO (Seite 8). Wenn Sie keine zufriedenstellenden Ergebnisse erzielen, stellen Sie Pitch und Phase ein (Seite 11).

Technische Daten

LCD-Bildschirm	Typ: a-Si-TFT-Aktivmatrix CPD-L133 Bildgröße: 33,8 cm CPD-L150 Bildgröße: 38 cm
Eingangssignalformat	RGB-Betriebsfrequenz: fh: 15,625 kHz (625, Interlace-Signal) 15,75 kHz (525, Interlace-Signal) 30 – 70 kHz fv: 50 Hz — 85 Hz
Effektive Bildpunkte	99,99 %
Auflösung	H: max. 1024 Punkte V: max. 768 Zeilen
Betriebsspannung	Betrieb: 100 – 240 Volt Wechselstrom, 50 – 60 Hz Eingang: 12 V Gleichstrom (mit Netzteil)
Leistungsaufnahme	CPD-L133 nur Display: max. 30 W einschließlich Netzteil: max. 42 W CPD-L150 nur Display: max. 25 W einschließlich Netzteil: max. 35 W
Abmessungen (B/H/T)	CPD-L133 Einschließlich Ständer: ca. 373 × 358 × 165 mm nur Monitor: ca. 373 × 272 × 71 mm CPD-L150 Einschließlich Ständer: ca. 398 × 366 × 165 mm nur Monitor: ca. 398 × 291 × 71 mm
Gewicht	CPD-L133 ca. 4,9 kg einschließlich Ständer CPD-L150 ca. 5,3 kg einschließlich Ständer
Mitgeliefertes Zubehör	Siehe Seite 6.

Stiftbelegung



Stift Nr.	Signal	Stift Nr.	Signal
1	Rot	8	Masse Blau
2	Grün (zusammengesetztes Grünsignal mit Synchronisation)	9	DDC + 5V*
		10	Masse
		11	ID (Masse)
3	Blau	12	Bidirektionale Daten (SDA)*
4	ID (Masse)	13	H. Sync
5	DDC-Masse*	14	V. Sync
6	Masse Rot	15	Datentakt (SCL)*
7	Masse Grün		

* DDC-Standard (DDC = Display Data Channel) nach VESA

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

ÍNDICE

Procedimientos iniciales

Precauciones	4
Identificación de los componentes y controles	5
Instalación	6
Ajuste automático de la imagen	8
Selección del idioma de las indicaciones en pantalla	8

Personalización del monitor

Ajuste del brillo de la imagen	9
Ajuste del contraste	9
Introducción del sistema de indicaciones en pantalla	10
Uso del disquete de utilidades	10
Eliminación del parpadeo o de la borrosidad de las imágenes	11
Ajuste de la posición de la imagen	12
Visualización de la imagen con la resolución real	12
Cambio o ajuste de la temperatura del color	13
Cambio de la posición de las indicaciones en pantalla	13
Ajuste de la luz de fondo	14
Ajuste del espacio de tiempo de retardo de ahorro de energía	14
Bloqueo de los controles	15
Restauración de los ajustes	15

ES

Características técnicas

Modos predefinidos y de usuario	16
Función de ahorro de energía	17
Visualización de la indicación INFORMATION	17
Función Plug & Play	17

Información complementaria

Mensajes de aviso	18
Solución de problemas	18
Especificaciones	20

- Macintosh es una marca comercial de Apple Computer, Inc., registrada en EE.UU. y otros países.
- Windows® y MS-DOS son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en Estados Unidos y otros países.
- IBM PC/AT y VGA son marcas comerciales registradas de IBM Corporation de EE.UU.
- VESA es una marca comercial de Video Electronics Standard Association.
- ENERGY STAR es una marca registrada de EE. UU.
- El resto de los nombres de los productos mencionados en este manual pueden ser marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivas compañías.
- Además, “™” y “®” no se mencionan en cada caso en este manual.

Precauciones

Instalación

- Con el fin de evitar el calentamiento interno, procure que la unidad reciba una circulación de aire adecuada. No coloque el monitor sobre superficies (mantas, colchas, etc.) o cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale el monitor cerca de fuentes de calor, como radiadores o conductos de aire caliente, ni lo exponga a la luz solar directa, polvo excesivo, vibraciones mecánicas o golpes.
- No coloque el monitor cerca de equipos que generen magnetismo, como un transformador o líneas de alta tensión.

Manejo de la pantalla LCD

- Es posible que aparezcan puntos brillantes de luz (rojos, azules o verdes) en la pantalla LCD. Esto no es un fallo de funcionamiento. La pantalla LCD está fabricada con tecnología de alta precisión y más del 99,99 % de los elementos de imagen son intactos. No obstante, algunos de dichos elementos pueden no aparecer o algunos de ellos pueden aparecer constantemente.
- No deje la pantalla LCD orientada hacia el sol, ya que puede dañarse. Tenga cuidado cuando coloque el monitor en una ventana.
- No ejerza presión sobre la pantalla LCD ni la arañe. No coloque objetos sobre la pantalla LCD, ya que ésta puede perder uniformidad.
- Si utiliza el monitor en un lugar frío, es posible que aparezca una imagen residual en la pantalla. Esto no es un fallo de funcionamiento. Cuando el monitor se caliente, la imagen de la pantalla volverá a ser normal.
- Si muestra una imagen fija durante mucho tiempo, es posible que aparezca una imagen residual, que desaparecerá eventualmente.
- La pantalla y el exterior se calientan durante el funcionamiento. Esto no es un fallo de funcionamiento.

Sustitución del tubo fluorescente

La unidad dispone de un tubo fluorescente, diseñado especialmente, como aparato de iluminación de este monitor. Si la pantalla LCD se oscurece, es inestable o no se enciende, sustituya el tubo fluorescente por otro nuevo. Consulte con el proveedor Sony cuando lo sustituya.

Mantenimiento

- Limpie el exterior, el panel y los controles con un paño suave ligeramente humedecido con una solución detergente poco concentrada. No utilice estropajos ni detergentes abrasivos, ni disolventes, como alcohol o bencina.
- No frote, toque ni manipule la superficie de la pantalla con objetos afilados o abrasivos, como un bolígrafo o un destornillador. Este tipo de contacto puede rayar el tubo de imagen.
- Limpie la pantalla con un paño suave. Si utiliza un líquido limpiador de cristales, asegúrese de que éste no contenga soluciones antiestáticas o aditivos similares, ya que puede rayar la capa de la pantalla.

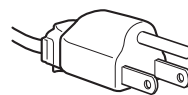
Transporte

- Cuando transporte este monitor, agárrelo firmemente por la parte inferior de la pantalla con las dos manos. Si deja caer el monitor, puede producirse heridas o dañar dicho monitor.
- Cuando transporte este monitor para su reparación o traslado, utilice la caja y los materiales originales de embalaje.

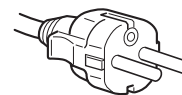
Aviso sobre la conexión de la alimentación

- Utilice un cable de alimentación apropiado para el suministro eléctrico local.
Para los usuarios en el Reino Unido
Si utiliza el monitor en el Reino Unido, utilice el cable con enchufe suministrado para dicho país.

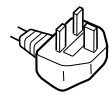
Ejemplos de tipos de enchufe



para 100 a 120 V CA



para 200 a 240 V CA



para 240 V CA solamente

La toma debe encontrarse cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Instalación en la pared o en un soporte

Para instalar el monitor en la pared o en un soporte, consulte con personal especializado. El usuario por sí solo no debe realizar este tipo de instalación.

Desecho del monitor

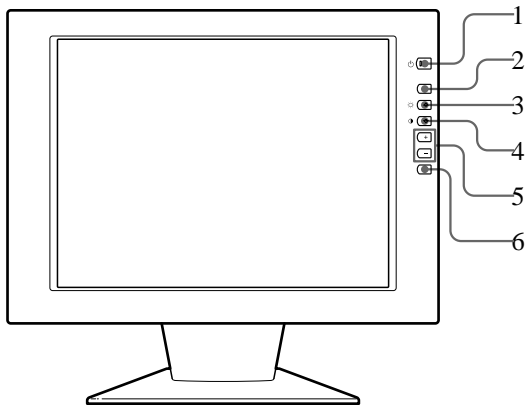
- No deseche el monitor junto con basuras ordinarias. No incluya el monitor en basuras domésticas.
- El tubo fluorescente contiene mercurio. Deseche el monitor de acuerdo con las normas de las autoridades sanitarias locales.

Identificación de los componentes y controles

Consulte las páginas indicadas entre paréntesis para obtener más información.

En este manual, se utiliza el modelo CPD-L150 en las ilustraciones.

Parte frontal

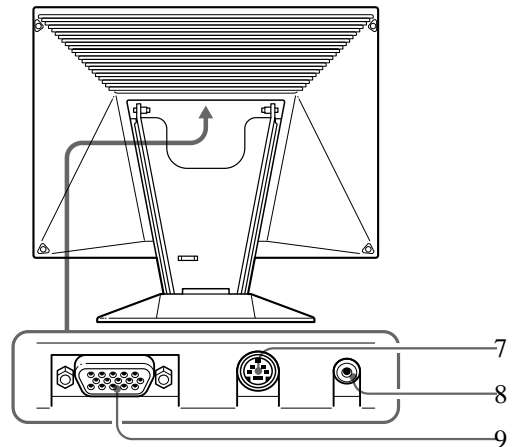


- 1 **Interruptor e indicador \cup (alimentación) (páginas 8, 17)**
Enciende y apaga el monitor.
El indicador se ilumina en verde cuando el monitor está encendido, y parpadea en verde y naranja o se ilumina en naranja cuando se encuentra en el modo de ahorro de energía.
- 2 **Botón MENU (menú) (páginas 8, 11 - 15, 17)**
Muestra la indicación MENU.
- 3 **Botón < (brillo) (\emptyset) (páginas 8 - 9, 11 - 15)**
Ajusta el brillo de la imagen.

Funciona como el botón \emptyset al seleccionar opciones de menú.
- 4 **Botón > (contraste) (\ddagger) (páginas 8 - 9, 11 - 15)**
Ajusta el contraste.

Funciona como el botón \ddagger al seleccionar opciones de menú.
- 5 **Botones +/- (ajuste) (páginas 9, 11 - 15)**
Ajustan la opción de menú seleccionada.
- 6 **Botón AUTO (páginas 8, 11)**
Una vez conectado este monitor, pulse el botón AUTO para ajustar automáticamente la imagen al ordenador. También debe pulsar este botón si la imagen no está centrada o si aparece borrosa.

Parte posterior

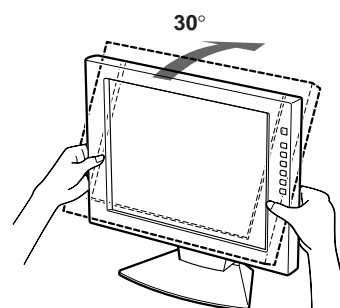


- 7 **Conector de control externo**
Introduce la señal de control externo de formato RS-232. Consulte con el proveedor para obtener más información.
- 8 **Conector DC IN (página 6)**
Proporciona alimentación de CC al monitor desde el adaptador de CA.
- 9 **Conector de entrada RGB (HD15) (página 6)**
Introduce señales de vídeo RGB analógicas (0,714 Vp-p, positivas) y SYNC.

Uso de la inclinación

Emplee la característica de inclinación para ajustar el monitor en el ángulo que desee dentro del margen de 30° verticalmente.

Para girar el monitor verticalmente, agárrelo por la parte inferior con las dos manos como se ilustra a continuación.



Instalación

Antes de utilizar este monitor, compruebe que se han incluido los siguientes artículos:

- Monitor LCD (1)
- Adaptador de CA (1)
- Cubierta posterior (1)
- Cable de alimentación (1)
- Cable de señales de vídeo HD15 (1)
- Adaptador Macintosh (1)
- Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (1)
- Disquete de utilidades Macintosh (1)
- Documento Eco TCO'95 (1)
- Tarjeta de garantía (1)
- Este manual de instrucciones (1)

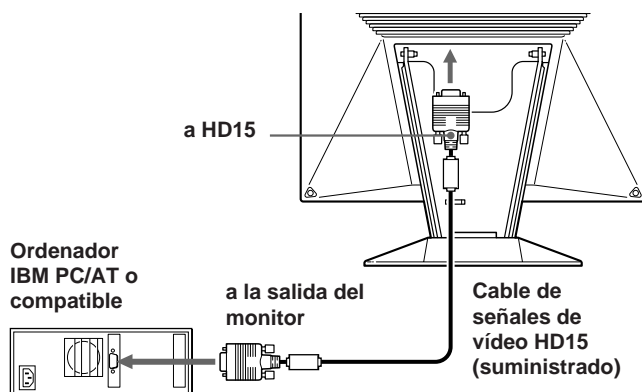
Este monitor funciona con cualquier sistema IBM o compatible equipado con capacidad gráfica VGA o superior. Aunque dicho monitor funciona con otras plataformas que utilicen frecuencias horizontales comprendidas entre 30 y 70 kHz, incluidos los sistemas Macintosh y Power Macintosh, es preciso emplear un adaptador de cable. Pídale consejo a su proveedor sobre el adaptador adecuado a sus necesidades. Este monitor puede recibir también las señales RGB de los sistemas PAL y NTSC.

Paso 1: Conexión del monitor al ordenador

Con el ordenador apagado, conecte el cable de señales de vídeo al monitor mediante el cable de señales de vídeo HD15 suministrado.

- Si utiliza un ordenador IBM PC/AT o compatible, consulte la sección que aparece a continuación.
- Si utiliza un ordenador Macintosh o compatible, consulte la siguiente sección, "Conexión a un ordenador Macintosh o compatible".

Conexión a un ordenador IBM PC/AT o compatible

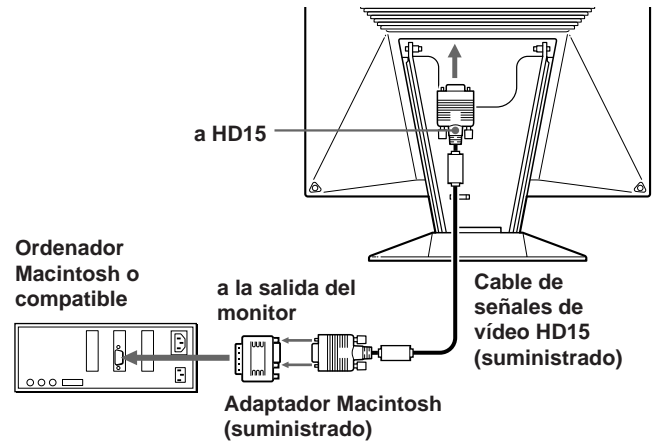


Si el sistema del PC no es compatible con DDC1 y DDC2B

Este monitor utiliza el pin nº 9 del conector de señales de vídeo para la compatibilidad con DDC1 y DDC2B.

Ciertos sistemas de PC no compatibles con DDC1 o DDC2B pueden no aceptar el pin nº 9. Si no está seguro de si el sistema de su PC acepta dicho pin, utilice el adaptador HD15 (hembra) - HD15 (macho sin pin nº 9) (no suministrado). Compruebe que el lado macho (sin pin nº 9) esté conectado al ordenador.

Conexión a un ordenador Macintosh o compatible



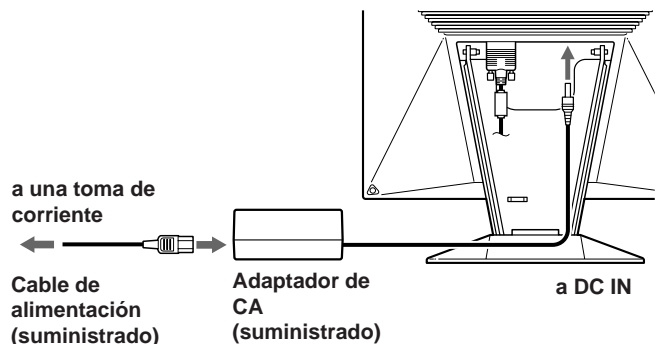
Acerca del adaptador Macintosh suministrado

Este adaptador es compatible con los ordenadores de la serie Macintosh LC, Performa, Quadra y Power Macintosh.

La serie Macintosh II y ciertas versiones más antiguas de los modelos Power Book pueden requerir un adaptador con microinterruptores (no suministrado).

Paso 2: Conexión del cable de alimentación

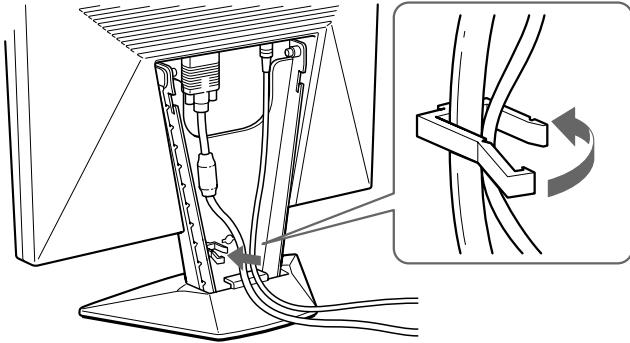
Con el monitor apagado, conecte un extremo del cable de alimentación de CC al monitor y el otro extremo a una toma de corriente.



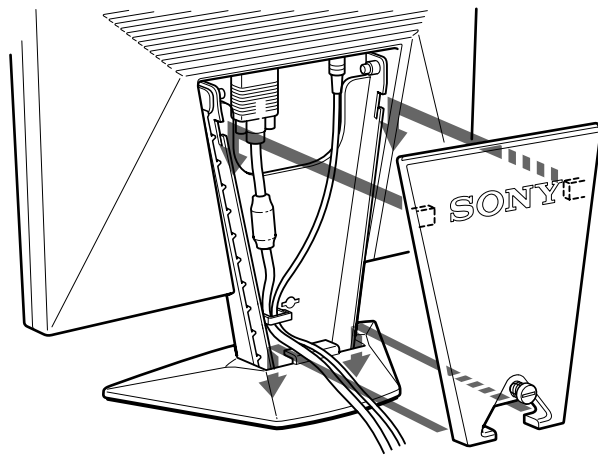
Paso 3: Instalación de la cubierta posterior

Una vez conectado el ordenador y el cable de alimentación, fije la cubierta posterior suministrada. Compruebe que mantiene la pantalla en posición vertical cuando fije la cubierta posterior.

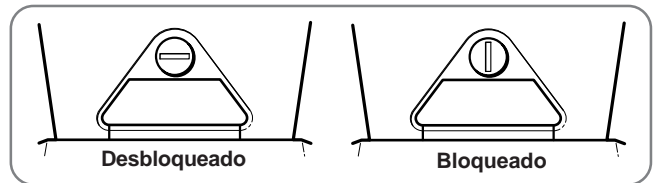
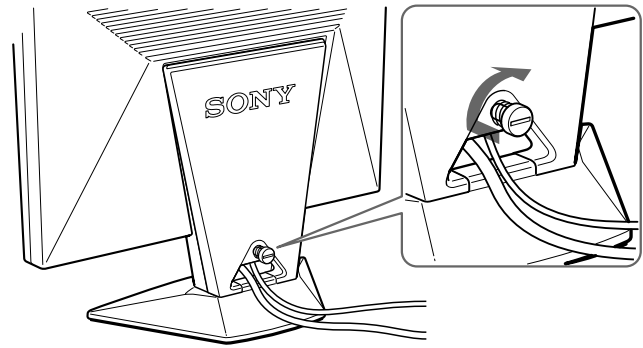
- 1 Conecte el cable del ordenador y el de alimentación.



- 2 Inserte las lengüetas de la parte trasera de la cubierta posterior en los retenes y, a continuación, ejerza presión hacia abajo.



- 3 Gire el tornillo para fijar la cubierta posterior.



Paso 4: Encendido del monitor y del ordenador

Primero encienda el monitor y, a continuación, el ordenador.

La instalación del monitor se ha completado.

Nota

Si la pantalla muestra "OUT OF SCAN RANGE" o "NO INPUT SIGNAL", consulte "Mensajes de aviso" en la página 18.

Para los usuarios que utilicen Windows 95/98

Para aumentar el potencial del monitor, instale en el PC el archivo de información sobre el nuevo modelo del disquete Windows Monitor Information Disk/Utility Disk suministrado.

Este monitor cumple con el estándar Plug & Play "VESA DDC". Si su PC/tarjeta gráfica cumple con DDC, seleccione "Plug & Play Monitor (VESA DDC)" o el nombre de modelo de este monitor como tipo de monitor en "Control Panel" de Windows 95/98. Si su PC/tarjeta gráfica presenta dificultades de comunicación con este monitor, cargue el disquete Windows Monitor Information Disk/Utility Disk y seleccione el nombre de modelo de este monitor como tipo de monitor.

Para usuarios que utilicen Windows NT4.0

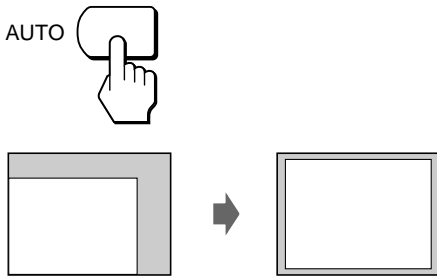
La configuración del monitor en Windows NT4.0 es diferente a la de Windows 95/98 y en ella no es necesario seleccionar el tipo de monitor. Consulte el manual de instrucciones de Windows NT4.0 para obtener información detallada sobre el ajuste de la resolución, la frecuencia de barrido y el número de colores.

Ajuste automático de la imagen

Si la imagen parpadea o es borrosa, pulse el botón AUTO. El monitor se ajusta automáticamente a la señal del ordenador conectado.

Ciertos ordenadores pueden requerir otros ajustes de precisión. En este caso, ajuste el monitor manualmente consultando la sección "Personalización del monitor" de la página 9.

- 1 Encienda el monitor.
- 2 Encienda el ordenador.
- 3 Pulse el botón AUTO.
La imagen se ajusta en el centro de la pantalla.



Notas

- Esta función está destinada para utilizarse con un ordenador que emplee Windows o un software similar de interfaz gráfica de usuario que proporcione imágenes en pantalla completa. Es posible que no funcione correctamente si el color de fondo es oscuro o si la imagen introducida no llena la pantalla hasta los bordes (como un indicativo MS-DOS).
- Es posible que la pantalla aparezca en blanco durante unos segundos mientras se realiza la función de tamaño automático. Esto no es un fallo de funcionamiento.

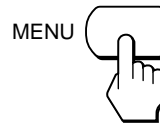
Si la imagen parpadea o es borrosa incluso después de pulsar el botón AUTO

Ajuste el ancho y la fase manualmente (página 11).

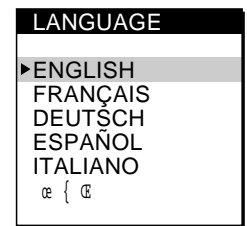
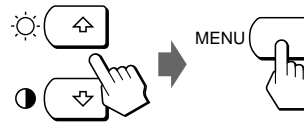
Selección del idioma de las indicaciones en pantalla

Puede elegir inglés, francés, alemán, español, italiano o japonés.

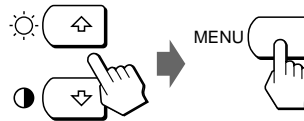
- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



- 2 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar LANGUAGE, y pulse el botón MENU.
Aparece la indicación LANGUAGE.



- 3 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar el idioma que desee, y pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU del idioma seleccionado.



La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.
Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

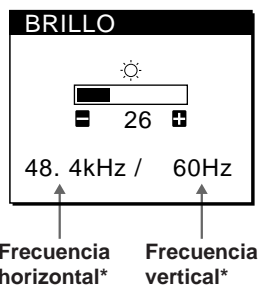
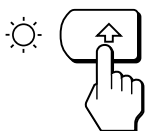
Antes de realizar el ajuste

Conecte el monitor y el ordenador, y enciéndalos.
Espere al menos 30 minutos antes de realizar los ajustes con el fin de obtener el mejor resultado posible.

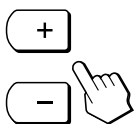
Ajuste del brillo de la imagen

Una vez ajustado el brillo, se almacenará en la memoria para todas las señales de entrada recibidas.

- 1 Pulse el botón < (brillo) ☉ .
Aparece la indicación BRILLO.



- 2 Pulse los botones +/-.



+ ... para aumentar el brillo
- ... para disminuir el brillo

La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 3 segundos.

* Las frecuencias horizontal y vertical de la señal de entrada recibida aparecen en la indicación BRILLO.

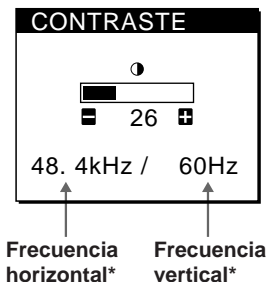
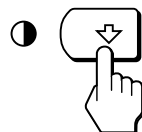
Si la pantalla es demasiado brillante al utilizarla en una sala oscura

Disminuya el valor de RETROILUMINACION (luz de fondo) (página 14).

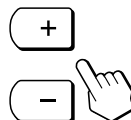
Ajuste del contraste

Una vez ajustado el contraste, se almacenará en la memoria para todas las señales de entrada recibidas.

- 1 Pulse el botón > (contraste) † .
Aparece la indicación CONTRASTE.



- 2 Pulse los botones +/-.



+ ... para aumentar el contraste
- ... para disminuir el contraste

La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 3 segundos.

* Las frecuencias horizontal y vertical de la señal de entrada recibida aparecen en la indicación CONTRASTE.

Introducción del sistema de indicaciones en pantalla

La mayoría de los ajustes se realizan mediante la indicación MENU.

Para cambiar el idioma de las indicaciones en pantalla, consulte "Selección del idioma de las indicaciones en pantalla" (página 8).



SALIR

Cierra la indicación MENU.

FASE

Muestra la indicación FASE. Ajuste la fase si los caracteres o las imágenes aparecen borrosas en toda la pantalla. Ajuste la fase después de ajustar el ancho.

ANCHO

Muestra la indicación ANCHO. Ajuste el ancho si los caracteres o las imágenes no aparecen con nitidez en determinadas partes de la pantalla.

CENTRADO

Muestra la indicación CENTRADO para ajustar el centrado de la imagen.

ZOOM

Muestra la indicación ZOOM para seleccionar el modo de visualización de la imagen. Seleccione PANTALLA MAXIMA para mostrar la imagen en toda la pantalla, o TAMAÑO REAL para mostrar la imagen con su resolución real.

COLOR

Muestra la indicación COLOR para ajustar la temperatura del color.

LANGUAGE

Muestra la indicación LANGUAGE para seleccionar el idioma de las indicaciones en pantalla.

OPCION

Muestra la indicación OPCION. Es posible definir ajustes como la luz de fondo, la posición de las indicaciones en pantalla, el espacio de tiempo de retardo de ahorro de energía y el bloqueo de los controles.

Uso del disquete de utilidades

El disquete de utilidades (Utility Disk) suministrado contiene patrones de prueba para utilizarse en los ajustes de ancho, fase y centrado.

Dichos patrones ayudan a confirmar que los ajustes sean correctos.

Ajuste de ancho

Ajuste el ancho si aparecen rayas verticales en la pantalla, o si una parte de ésta parpadea o es borrosa.

Ajuste la pantalla de forma que desaparezcan las líneas en negrita verticales del patrón de prueba.

Ajuste de fase

Ajuste la fase si toda la pantalla parpadea o aparece borrosa, o si se observan rayas horizontales.

Ajuste la pantalla hasta que la presencia de las rayas horizontales sea mínima.

Ajuste de centrado

Ajuste el centrado si la imagen está descentrada.

Desplace la imagen hacia arriba, abajo, izquierda o derecha hasta que desaparezca el cuadro rojo del perímetro del patrón de prueba.

Uso del patrón de prueba

- 1 Ajuste ZOOM en TAMAÑO REAL (página 12).
- 2 Cargue el disquete de utilidades (Utility Disk) suministrado y muestre el patrón de prueba. Utilice el disquete apropiado para su ordenador.
Para Windows 95/98
Windows Monitor Information Disk/Utility Disk
Para Macintosh
Macintosh Utility Disk
- 3 Seleccione el ancho, fase o centrado en la indicación MENU del monitor, y ajuste la pantalla mientras visualiza el patrón de prueba (páginas 11, 12).
- 4 Cuando acabe, haga clic en [END] en la pantalla para desactivar el patrón de prueba.

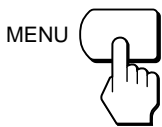
Eliminación del parpadeo o de la borrosidad de las imágenes

Si parte de la pantalla parpadea o aparece borrosa, pulse el botón AUTO. Si esta operación no funciona, ajuste el ancho y la fase de la siguiente forma.

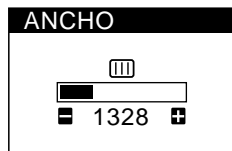
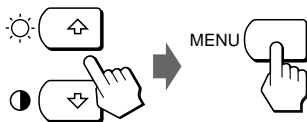
Una vez ajustados el ancho y la fase, se almacenarán en la memoria para la señal de entrada actual.

1 Cargue el disquete de utilidades (página 10).

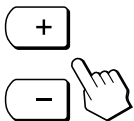
2 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



3 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar ANCHO, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación ANCHO.

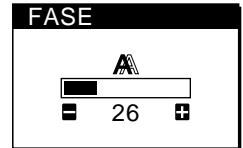
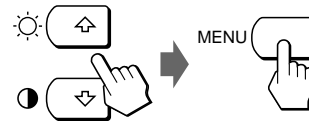


4 Pulse los botones $+/-$ hasta que el color de la pantalla sea uniforme.
Si utiliza el disquete de utilidades, realice el ajuste de forma que las rayas verticales desaparezcan.

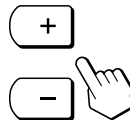


5 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.
Si se observan rayas horizontales en toda la pantalla, ajuste la fase en el paso siguiente.

6 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar FASE, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación FASE.



7 Pulse los botones $+/-$ hasta que el color de la pantalla sea uniforme.
Si utiliza el disquete de utilidades, realice el ajuste hasta que la presencia de las rayas horizontales sea mínima.



La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.

Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

Para desactivar el patrón de prueba, haga clic en [END] en la pantalla.

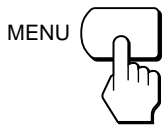
Ajuste de la posición de la imagen

Si la imagen no está en el centro de la pantalla, pulse el botón AUTO. Si esta operación no funciona, ajuste el centrado de la siguiente forma.

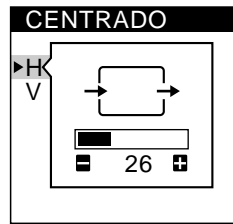
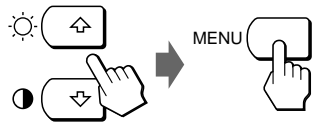
Una vez ajustado el centrado, se almacenará en la memoria para la señal de entrada actual.

1 Cargue el disquete de utilidades (página 10).

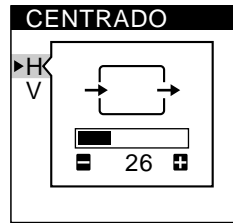
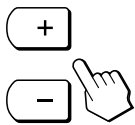
2 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



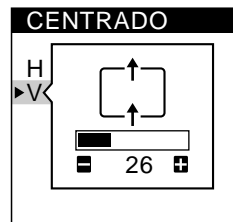
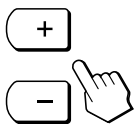
3 Pulse los botones \emptyset / \pm para seleccionar CENTRADO, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación CENTRADO.



4 Para el ajuste horizontal, seleccione H con los botones \emptyset / \pm y ajuste la posición con los botones +/-.
+ ... para desplazar la imagen hacia la derecha
- ... para desplazar la imagen hacia la izquierda



Para el ajuste vertical, seleccione V con los botones \emptyset / \pm y ajuste la posición con los botones +/-.
+ ... para desplazar la imagen hacia arriba
- ... para desplazar la imagen hacia abajo



La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.

Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

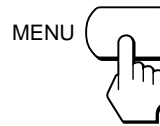
Para desactivar el patrón de prueba, haga clic en [END] en la pantalla.

Visualización de la imagen con la resolución real

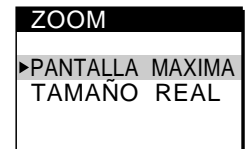
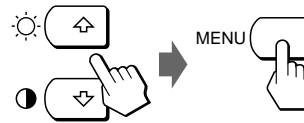
El monitor está ajustado de fábrica para mostrar la imagen en pantalla completa, independientemente de la resolución de dicha imagen. También es posible ver la imagen con su resolución real.

Una vez ajustado el zoom, se almacenará en la memoria para la señal de entrada actual.

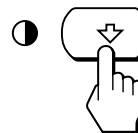
1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



2 Pulse los botones \emptyset / \pm para seleccionar ZOOM, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación ZOOM.



3 Pulse el botón \pm para seleccionar TAMAÑO REAL, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación MENU.



La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.

Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

Para mostrar la imagen en pantalla completa

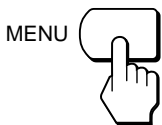
Pulse el botón \emptyset en el paso 3 para seleccionar PANTALLA MAXIMA.

Cambio o ajuste de la temperatura del color

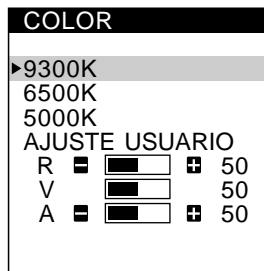
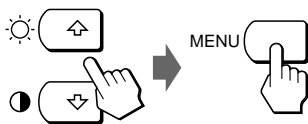
La temperatura del color está ajustada de fábrica en 9300K. Es posible cambiar la temperatura del color a 6500K o 5000K. Utilice esta función para ajustar la temperatura del color de forma que coincida con los colores reales de una imagen impresa.

Una vez ajustada la temperatura del color, se almacenará en la memoria para todas las señales de entrada recibidas.

- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



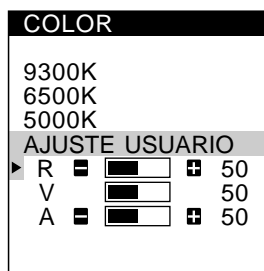
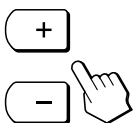
- 2 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar COLOR, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación COLOR.



- 3 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar la temperatura del color.
Si es preciso realizar otros ajustes en la temperatura del color seleccionada, proceda con el paso 4.
En caso contrario, pulse el botón MENU. Aparece la indicación MENU.

- 4 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar R (rojo) o A (azul), y pulse los botones +/- para obtener el color que desee.

El color cambia en tanto los componentes R o A aumenten o disminuyan con respecto a V (verde).



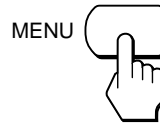
La indicación desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.

Para cerrar la indicación, pulse el botón MENU de nuevo.

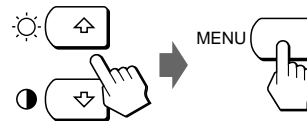
Cambio de la posición de las indicaciones en pantalla

Es posible cambiar la posición de las indicaciones en pantalla (por ejemplo, si desea ajustar la imagen detrás de la indicación en pantalla).

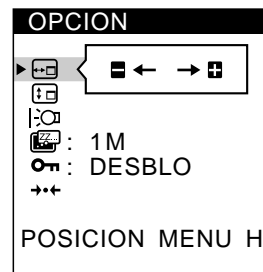
- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



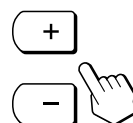
- 2 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar OPCION, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación OPCION.



- 3 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar \leftarrow/\rightarrow (POSITION MENU H) o \uparrow/\downarrow (POSITION MENU V).
Para ajustar la posición horizontal
Para ajustar la posición vertical



- 4 Pulse los botones +/- para desplazar la indicación en pantalla hasta la posición que desee.



La indicación OPCION desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.

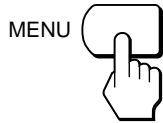
Para cerrar la indicación, pulse el botón MENU de nuevo.

ES

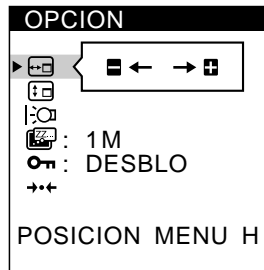
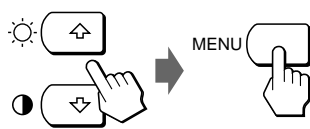
Ajuste de la luz de fondo

Si la pantalla presenta demasiado brillo al utilizar el monitor en una sala oscura, ajuste la luz de fondo.

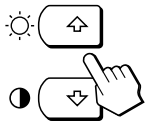
- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



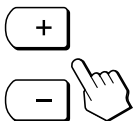
- 2 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar OPCION, y pulse el botón MENU de nuevo.
Aparece la indicación OPCION.



- 3 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar RETROILUMINACION .



- 4 Pulse los botones +/- para ajustar el nivel de luz.

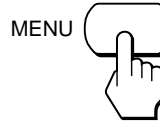


La indicación OPCION desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.
Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

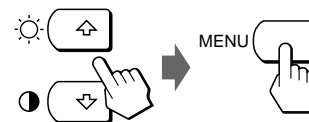
Ajuste del espacio de tiempo de retardo de ahorro de energía

Es posible ajustar el espacio de tiempo de retardo antes de que el monitor entre en el modo de ahorro de energía. Consulte la página 17 para obtener más información sobre la característica de ahorro de energía de este monitor.

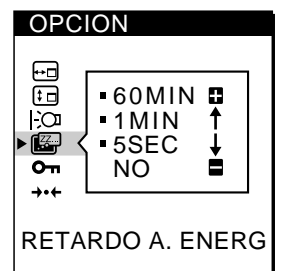
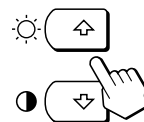
- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



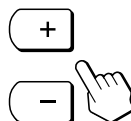
- 2 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar OPCION, y vuelva a pulsar el botón MENU.
Aparece la indicación OPCION.



- 3 Pulse los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar RETARDO A. ENERG .



- 4 Pulse los botones +/- para seleccionar el espacio de tiempo que desee.



Si RETARDO A. ENERG está ajustado en NO, el monitor no entrará en el modo de ahorro de energía.


La indicación OPCION desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.
Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

Bloqueo de los controles

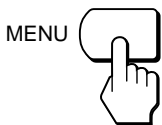
La función de bloqueo de los controles desactiva todos los controles, excepto el interruptor u (alimentación) y el botón MENU.

Una vez seleccione "BLOQ", podrá seleccionar solamente los siguientes elementos en la indicación MENU:

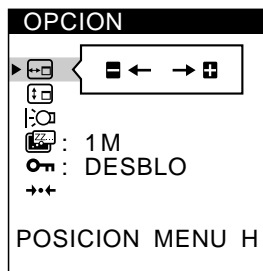
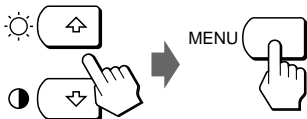
- SALIR
- BLOQUEO DE AJUS y AJUSTES DE ORIGEN en la indicación OPCION


Si pulsa cualquier botón bloqueado, aparecerá la marca  en la pantalla.

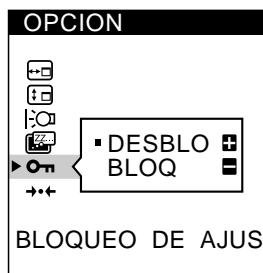
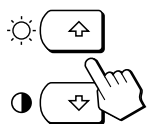
- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



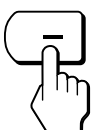
- 2 Pulse los botones \emptyset/\ddagger para seleccionar OPCION, y vuelva a pulsar el botón MENU.
Aparece la indicación OPCION.



- 3 Pulse los botones \emptyset/\ddagger para seleccionar  (BLOQUEO DE AJUS).



- 4 Pulse el botón - para seleccionar BLOQ.



La indicación OPCION desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.
Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

Para cancelar el bloqueo de los controles

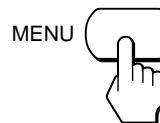
Pulse el botón + en el paso 4 para seleccionar DESBLO.

Restauración de los ajustes

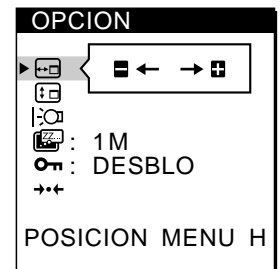
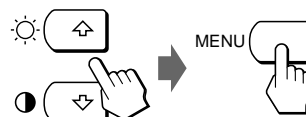
Es posible recuperar los valores ajustados en fábrica de todos los ajustes.

La temperatura del color se restaura en 9300K, el ajuste de zoom en el modo de pantalla completa y el espacio de tiempo de retardo de ahorro de energía en un minuto. El bloqueo de los controles se cancela. El resto de los ajustes recuperan el valor por omisión. No obstante, el idioma en pantalla no cambia.

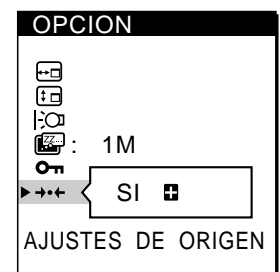
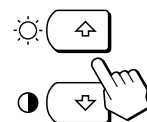
- 1 Pulse el botón MENU.
Aparece la indicación MENU.



- 2 Pulse los botones \emptyset/\ddagger para seleccionar OPCION, y vuelva a pulsar el botón MENU.
Aparece la indicación OPCION.



- 3 Pulse los botones \emptyset/\ddagger para seleccionar ? (AJUSTES DE ORIGEN).



- 4 Pulse el botón +.



La indicación OPCION desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.
Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

Modos predefinidos y de usuario

Este monitor dispone de modos predefinidos de fábrica correspondientes a los estándar más comunes del sector de auténtica compatibilidad "plug and play".

Al recibirse una nueva señal de entrada, el monitor selecciona el modo apropiado predefinido de fábrica y ajusta momentáneamente el calibre de fase para mostrar imágenes de alta calidad en el centro de la pantalla. El calibre se almacena en la memoria y se recupera inmediatamente cuando se recibe la misma señal de entrada.

N°	Resolución (puntos × líneas)	Frecuencia horizontal	Frecuencia vertical	Modo gráfico
1	—	15,625 kHz	50 Hz	625I
2	—	15,75 kHz	60 Hz	525I
3	640 × 350	31,5 kHz	70 Hz	MCGA
4	640 × 400	31,5 kHz	70 Hz	NEC PC-98
5	640 × 480	31,5 kHz	60 Hz	VGA-G
6	640 × 480	35,0 kHz	67 Hz	Macintosh 13" color
7	640 × 480	37,5 kHz	75 Hz	EVGA
8	640 × 480	43,3 kHz	85 Hz	VESA
9	720 × 400	31,5 kHz	70 Hz	VGA-Text
10	720 × 400	37,9 kHz	85 Hz	VESA
11	800 × 600	37,9 kHz	60 Hz	SVGA
12	800 × 600	46,9 kHz	75 Hz	ESVGA
13	800 × 600	53,7 kHz	85 Hz	VESA
14	832 × 624	49,7 kHz	75 Hz	Macintosh 16" color
15	1024 × 768	48,4 kHz	60 Hz	VESA
16	1024 × 768	56,5 kHz	70 Hz	VESA
17	1024 × 768	60,0 kHz	75 Hz	EUVGA
18	1024 × 768	60,2 kHz	75 Hz	Macintosh 19" color
19	1024 × 768	68,7 kHz	85 Hz	VESA

Con respecto a las señales de entrada que no se correspondan con ninguno de los modos predefinidos de fábrica, la tecnología Multiscan digital de este monitor realiza todos los ajustes necesarios con el fin de garantizar imágenes nítidas para cualquier sincronización dentro del margen de frecuencias del monitor. No obstante, es posible que sea necesario ajustar con precisión el centrado vertical/horizontal. Basta con pulsar el botón AUTO o con ajustar el monitor según las instrucciones de ajuste. Los ajustes se almacenan automáticamente como modo de usuario y se recuperan al recibirse la señal de entrada correspondiente.

Condiciones de sincronización horizontal y vertical recomendadas

El factor de ancho de sincronización horizontal debe ser del 4,8% o más del tiempo total horizontal.

El ancho de supresión horizontal debe ser de 2,5 µseg. o más.

El ancho de supresión vertical debe ser de 450 µseg. o más.

Ajuste de la resolución y número de colores del monitor

Consulte el manual de instrucciones del ordenador para ajustar la resolución y número de colores del monitor. El número de colores puede variar en función del ordenador o de la tarjeta de vídeo. El ajuste de la paleta de colores y el número real de colores es de la siguiente forma:

- High Color (16 bits) n 65.536 colores
- True Color (24 bits) n aproximadamente 16,77 millones de colores

En el modo True Color (24 bits), la velocidad puede ser menor.

Función de ahorro de energía

Este monitor cumple con las directrices sobre ahorro de energía establecidas por VESA y ENERGY STAR, así como con las normas NUTEK más estrictas.

Si el monitor se conecta a un ordenador o a una tarjeta gráfica de vídeo que cumpla con VESA DPMS (Display Power Management Signaling), dicho monitor reducirá automáticamente el consumo de energía en tres etapas como se muestra a continuación.

Es posible ajustar mediante la indicación en pantalla el espacio de tiempo de retardo antes de que el monitor entre en el modo de ahorro de energía. Ajuste el espacio de tiempo según la sección “Ajuste del espacio de tiempo de retardo de ahorro de energía” de la página 14.

Nota

Si el monitor no recibe ninguna señal de vídeo, aparecerá el mensaje “NO SEÑAL” (página 18). Una vez transcurrido el espacio de tiempo de retardo, la función de ahorro de energía introducirá al monitor automáticamente en el modo activo-inactivo y el indicador \cup se iluminará en naranja. Al detectarse las señales de sincronización horizontal y vertical, el monitor recupera automáticamente el modo de funcionamiento normal.

	Modo de consumo de energía	Pantalla	Señal de sincronización horizontal	Señal de sincronización vertical	Consumo de energía	Espacio de tiempo de recuperación	Indicador \cup
1	Funcionamiento normal	activa	presente	presente	CPD-L133 $\leq 30 W^*$ $\leq 42 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 25 W^*$ $\leq 35 W^{**}$	—	Verde
2	Espera (1er modo)	en blanco	ausente	presente	CPD-L133 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	Aprox. 3 seg.	Verde y naranja alternados
3	Reposo (2º modo)	en blanco	presente	ausente	CPD-L133 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	Aprox. 3 seg.	Verde y naranja alternados
4	Activo-inactivo (3er modo)	en blanco	ausente	ausente	CPD-L133 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	Aprox. 10 seg.	Naranja
5	Alimentación-desactivada	—	—	—	CPD-L133 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1,5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	—	Apagado

* Consumo de energía del monitor solamente

** Consumo de energía del monitor incluido el adaptador de CA

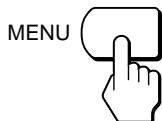
ES

Visualización de la indicación INFORMATION

Puede comprobar el nombre, número de serie y año de fabricación de este monitor.

Pulse y mantenga pulsado el botón MENU durante cinco segundos.

Aparece la indicación INFORMATION.



Ejemplo

i INFORMATION	
MODEL : CPD-L150	Nombre del modelo
SER. NO : 1234567	Número de serie
MANUFACTURED : 1998	Año de fabricación

La indicación INFORMATION desaparece automáticamente transcurridos unos 30 segundos.

Para cerrar la indicación, vuelva a pulsar el botón MENU.

Función Plug & Play

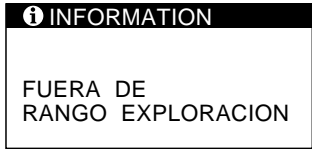
Este monitor cumple con las normas de canal de datos de visualización DDC™1 y DDC2B de VESA.

Si se conecta un sistema central DDC1, el monitor se sincronizará con V. CLK de acuerdo con las normas VESA y enviará los datos de identificación de visualización extendidos (EDID) a la línea de datos.

DDC™ es una marca comercial de Video Electronics Standard Association.

Mensajes de aviso

Si se produce algún problema con la señal de entrada, aparecerá uno de los siguientes mensajes.



“FUERA DE RANGO EXPLORACION” indica que la señal de entrada no cumple con las especificaciones de visualización.

“NO SEÑAL” indica que no se recibe ninguna señal.

Para solucionar estos problemas, consulte la sección “Solución de problemas” a continuación.

Solución de problemas

Esta sección puede ayudarle a aislar la causa de los problemas y como resultado, eliminar la necesidad de ponerse en contacto con apoyo técnico.

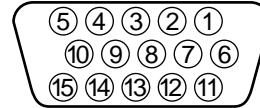
Problema	Compruebe estos puntos
Ausencia de imagen	
Si el indicador \cup no está iluminado	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe que el cable de alimentación esté correctamente conectado. • Compruebe que el interruptor \cup (alimentación) se encuentre en la posición de “activado”.
Si el mensaje “NO SEÑAL” aparece en pantalla, o si el indicador \cup se ilumina en naranja	<ul style="list-style-type: none"> • La pantalla se muestra en blanco cuando el monitor se encuentra en el modo de ahorro de energía. Pulse cualquier tecla del teclado del ordenador. • Compruebe que el interruptor de alimentación del ordenador se encuentre en la posición de “activado”. • Compruebe que el ajuste de selección de entrada sea correcto. • Compruebe que el cable de señal de vídeo esté correctamente conectado y todos los enchufes firmemente insertados en las tomas. • Examine el conector de entrada de vídeo HD15 para comprobar que no hay pines doblados ni arrancados.
Si el mensaje “FUERA DE RANGO EXPLORACION” aparece en pantalla	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe que el margen de frecuencia de vídeo se encuentre dentro de las especificaciones de visualización. Horizontal: 30 – 70 kHz, Vertical: 50 – 85 Hz Consulte el manual de instrucciones del ordenador para ajustar el margen de frecuencia de vídeo. • Si utiliza un adaptador de cable de señal de vídeo, compruebe que sea el correcto.
Si utiliza un sistema Macintosh	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe que el adaptador Macintosh y el cable de señal de vídeo estén correctamente conectados (página 6).
Si trabaja con Windows 95/98	<ul style="list-style-type: none"> • Si ha sustituido un monitor antiguo por este, vuelva a conectar el antiguo y realice lo siguiente. Instale el disquete Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (página 7) y seleccione “CPD-L133 o CPD-L150” entre los diferentes monitores de Sony en la pantalla de selección de monitores de Windows 95/98.
La imagen es oscura.	<ul style="list-style-type: none"> • Ajuste la luz de fondo (página 14). • Ajuste el brillo (página 9). • La unidad tarda varios segundos en calentarse una vez activada la alimentación. La imagen aparecerá momentáneamente.
La imagen aparece codificada.	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse el botón AUTO (página 8). Si esto no funciona, ajuste el ancho y la fase (página 11). • Consulte este manual y compruebe que se admitan el modo gráfico y la frecuencia que intenta emplear. Aunque la frecuencia se encuentre dentro del margen correcto, ciertos ordenadores pueden tener impulsos de sincronización demasiado estrechos para que este monitor se sincronice correctamente.

Problema	Compruebe estos puntos
El color no es uniforme.	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse el botón AUTO (página 8). Si esto no funciona, ajuste el ancho y la fase (página 11).
No es posible ajustar el monitor con los botones del panel frontal.	<ul style="list-style-type: none"> • Si la función de bloqueo de los controles está activada, desactívela mediante la indicación OPCION (página 15).
El color blanco no parece blanco.	<ul style="list-style-type: none"> • Ajuste la temperatura del color (página 13).
La imagen no está centrada en la pantalla.	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse el botón AUTO (página 8). • Ajuste el centrado (página 12). • Ciertos modos de vídeo no llenan toda la pantalla hasta los bordes. Este problema tiende a producirse con ciertas tarjetas de vídeo.
El tamaño de la imagen es incorrecto.	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe el ajuste de ZOOM (página 12).
La imagen es borrosa.	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse el botón AUTO (página 8). Si esto no funciona, ajuste el ancho y la fase (página 11). • Ajuste el contraste y el brillo (página 9).
La imagen salta o presenta oscilaciones.	<ul style="list-style-type: none"> • Enchufe el monitor en una toma de CA distinta, preferiblemente de otro circuito. • Emplee el monitor con otro ordenador en otra sala.
La imagen parpadea.	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse el botón AUTO (página 8). Si esto no funciona, ajuste el ancho y la fase (página 11).
Aparecen imágenes fantasma.	<ul style="list-style-type: none"> • No utilice cables prolongadores de vídeo y/o cajas de conmutación de vídeo si se produce este problema. Éste puede deberse a la longitud excesiva de los cables o a una conexión floja.
Se aprecian patrones ondulados o elípticos (muaré).	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse el botón AUTO (página 8). Si esto no funciona, ajuste el ancho y la fase (página 11).

Especificaciones

Panel LCD	Tipo: Matriz activa a-Si TFT CPD-133 Tamaño de imagen: 13,3 pulgadas (33,8 cm) CPD-150 Tamaño de imagen: 15,0 pulgadas (38 cm)
Formato de señal de entrada	Frecuencia de funcionamiento RGB: fh: 15,625 kHz (señal entrelazada 625) 15,75 kHz (señal entrelazada 525) 30 – 70 kHz fv: 50 Hz — 85 Hz
Eficiencia de los pixeles	99,99 %
Resolución	H: máx. 1024 puntos V: máx. 768 líneas
Requisitos de alimentación	Funcionamiento: CA 100 – 240 V, 50 – 60 Hz Entrada: CC 12 V (con el adaptador de CA)
Consumo de energía	CPD-133 Sólo pantalla: Máx. 30 W Incluido el adaptador de CA: Máx. 42 W CPD-150 Sólo pantalla: Máx. 25 W Incluido el adaptador de CA: Máx. 35 W
Dimensiones (an/al/prf)	CPD-133 Incluido el soporte: Aprox. 373 × 358 × 165 mm Sólo monitor: Aprox. 373 × 272 × 71 mm CPD-150 Incluido el soporte: Aprox. 398 × 366 × 165 mm Sólo monitor: Aprox. 398 × 291 × 71 mm
Peso	CPD-133 Aprox. 4,9 kg, incluido el soporte CPD-150 Aprox. 5,3 kg, incluido el soporte
Accesorios suministrados	Consulte la página 6.

Asignación de pines



Pin nº	Señal	Pin nº	Señal
1	Roja	8	Masa azul
2	Verde (sincronización en verde compuesta)	9	DDC + 5V*
		10	Masa
		11	Identificación (masa)
3	Azul	12	Datos bidireccionales (SDA)*
4	Identificación (masa)	13	Sincronización H.
5	Masa DDC*	14	Sincronización V.
6	Masa roja	15	Reloj de datos (SCL)*
7	Masa verde		

* Norma de canal de datos de visualización (DDC) de VESA

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

INDICE

Operazioni preliminari

Precauzioni	4
Identificazione delle parti e dei comandi	5
Installazione	6
Regolazione automatica dell'immagine	8
Selezione della lingua per la visualizzazione a schermo	8

Personalizzazione del monitor

Regolazione della luminosità dell'immagine	9
Regolazione del contrasto	9
Presentazione del sistema di visualizzazione a schermo	10
Uso del dischetto Utility Disk	10
Eliminazione del tremolio e della sfocatura	11
Regolazione della posizione dell'immagine	12
Visualizzazione dell'immagine nella risoluzione reale	12
Modifica o regolazione della temperatura di colore	13
Modifica della posizione della videata	13
Regolazione della retroilluminazione	14
Impostazione del ritardo della funzione di risparmio energetico	14
Blocco dei comandi	15
Reimpostazione delle regolazioni	15

Caratteristiche tecniche

Modi preimpostati e modi utente	16
Funzione di risparmio energetico	17
Visualizzazione della videata INFORMATION	17
Plug & Play	17

Informazioni aggiuntive

Messaggi di avvertimento	18
Guida alla soluzione dei problemi	18
Specifiche	retrocopertina

- Macintosh è un marchio di fabbrica su licenza di Apple Computer, Inc., registrato negli U.S.A. e negli altri paesi.
- Windows® e MS-DOS sono marchi di fabbrica registrati di Microsoft Corporation negli U.S.A. e negli altri paesi.
- IBM PC/AT e VGA sono marchi di fabbrica registrati di IBM Corporation negli U.S.A.
- VESA è un marchio di fabbrica di Video Electronics Standard Association.
- ENERGY STAR è un marchio di fabbrica registrato negli U.S.A.
- Tutti gli altri nomi dei prodotti menzionati all'interno del manuale possono essere marchi di fabbrica o marchi di fabbrica registrati delle loro rispettive compagnie.
- Inoltre, "™" e "®" non vengono in questo manuale menzionati per ciascun caso.

Precauzioni

Installazione

- Consentire una circolazione d'aria sufficiente per evitare il surriscaldamento interno. Non posizionare il monitor sopra tessuti o coperte oppure vicino a materiali, quali tappeti o tendaggi, che potrebbero ostruire le prese di ventilazione.
- Non installare il monitor vicino a fonti di calore, quali radiatori o condotti d'aria oppure in luoghi soggetti alla luce diretta del sole, a polvere eccessiva, a scosse o vibrazioni meccaniche.
- Non posizionare il monitor vicino ad apparecchiature che generano campi magnetici, quali trasformatori o linee di alimentazione ad alta tensione.

Cura dello schermo LCD

- Sullo schermo LCD potrebbero apparire punti luminosi (rossi, blu o verdi). Non si tratta di un problema di funzionamento. Lo schermo LCD è stato creato secondo una tecnologia di alta precisione e più del 99,99% degli elementi dell'immagine rimane intatto. Tuttavia, alcuni elementi dell'immagine potrebbero non apparire o apparire in maniera costante.
- Non lasciare lo schermo LCD rivolto verso il sole in quanto potrebbe danneggiarsi. Fare quindi attenzione quando si posiziona il monitor vicino ad una finestra.
- Non premere o graffiare lo schermo LCD e non poggiarvi sopra oggetti pesanti, onde evitare che lo schermo perda uniformità.
- Se il monitor viene usato in un ambiente freddo, sullo schermo potrebbe apparire un'immagine residua. Non si tratta di un problema di funzionamento e lo schermo tornerà normale non appena il monitor si sarà riscaldato.
- Se un fermo immagine viene visualizzato per un lungo periodo, potrebbe apparire un'immagine residua che poi scomparirà.
- Il riscaldamento dello schermo e del rivestimento durante l'utilizzo non è sintomo di un problema di funzionamento.

Sostituzione del tubo fluorescente

L'apparato di illuminazione di questo monitor dispone di uno speciale tubo fluorescente. Se lo schermo LCD diventa scuro, instabile o non si accende, sostituire il tubo fluorescente con uno nuovo. Per la sostituzione del tubo fluorescente rivolgersi al rivenditore Sony locale.

Manutenzione

- Pulire il rivestimento, il pannello e i comandi con un panno morbido leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata. Non usare alcun tipo di spugnette o polveri abrasive né solventi, quali alcool o benzina.
- Non strofinare, toccare o picchiare la superficie dello schermo con oggetti abrasivi o appuntiti quali penne a sfera o cacciaviti, onde evitare di graffiare il cinescopio a colori.
- Pulire lo schermo con un panno morbido. Se si usa un liquido detergente per i vetri, non usare detergenti che contengano soluzioni antistatiche o additivi simili, in quanto potrebbero graffiare la pellicola protettiva dello schermo.

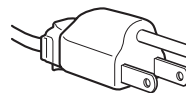
Trasporto

- Durante il trasporto del monitor, afferrare saldamente il fondo dello schermo con entrambe le mani, onde evitare di far cadere il monitor danneggiandolo o arrecando danni alla propria persona.
- Durante il trasporto del monitor per eventuali riparazioni o spedizioni, usare i materiali di imballaggio originali.

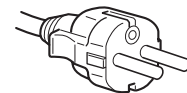
Avvertenza per il collegamento dell'alimentazione

- Usare un cavo di alimentazione adatto alla rete di alimentazione locale.
Per i clienti nel Regno Unito
Se si usa il monitor nel Regno Unito, usare il cavo in dotazione con la spina per il Regno Unito.

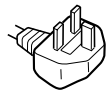
Esempi di tipi di spina



per CA da 100 a 120 V



per CA da 200 a 240 V



solo per CA a 240 V

La presa deve essere installata vicino all'apparecchiatura e facilmente accessibile.

Installazione a parete o su un braccio di supporto

Per l'installazione a parete o su un braccio di supporto, rivolgersi esclusivamente a personale specializzato.

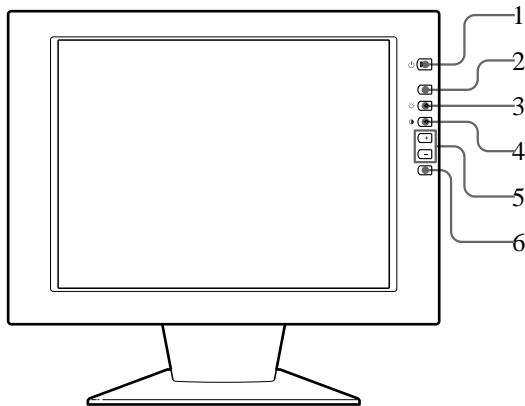
Smaltimento del monitor

- Per lo smaltimento del monitor non usare i cassonetti per rifiuti ordinari.
Non gettare il monitor insieme ai rifiuti domestici.
- Il tubo fluorescente contiene mercurio. Per lo smaltimento del monitor attenersi alle norme dell'autorità sanitaria locale.

Identificazione delle parti e dei comandi

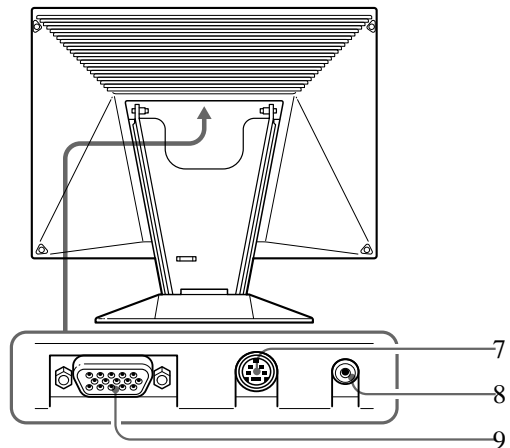
Per maggiori informazioni vedere le pagine fra parentesi.
Il modello CPD-L150 viene utilizzato in questo manuale a scopo illustrativo.

Lato anteriore



- 1 **Interruttore e indicatore u (accensione) (pagine 8, 17)**
Per accendere e spegnere il monitor.
Quando il monitor viene acceso l'indicatore si illumina in verde, mentre lampeggia in verde e in arancione oppure si illumina in arancione quando il monitor è nel modo di risparmio energetico.
- 2 **Tasto MENU (menu) (pagine 8, 11 - 15, 17)**
Per visualizzare a schermo la videata MENU.
- 3 **Tasto < (luminosità) (∅) (pagine 8 - 9, 11 - 15)**
Per regolare la luminosità dell'immagine.
Funziona come il tasto ∅ per la selezione delle voci di menu.
- 4 **Tasto > (contrasto) (‡) (pagine 8 - 9, 11 - 15)**
Per regolare il contrasto.
Funziona come il tasto ‡ per la selezione delle voci di menu.
- 5 **Tasti +/- (regolazione) (pagine 9, 11 - 15)**
Per regolare le voci di menu selezionate.
- 6 **Tasto AUTO (pagine 8, 11)**
Dopo aver collegato questo monitor al computer, premere il tasto AUTO per regolare automaticamente l'immagine.
È inoltre possibile premere questo tasto quando l'immagine non è centrata o è sfocata.

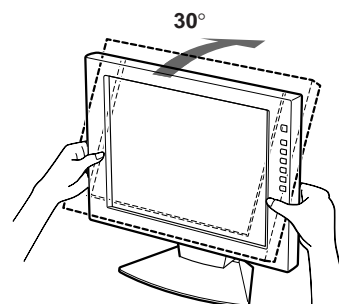
Lato posteriore



- 7 **Connettore controllo esterno**
Immette il segnale di controllo esterno di formato RS-232. Per maggiori informazioni rivolgersi al rivenditore.
- 8 **Connettore DC IN (pagina 6)**
Fornisce l'alimentazione CC al monitor dall'alimentatore CA.
- 9 **Connettore ingresso RGB (HD15) (pagina 6)**
Immette segnali SYNC e segnali video RGB (0,714 Vp-p, positivo) analogici.

Regolazione dell'inclinazione

Regolare l'inclinazione del monitor in verticale sull'angolazione desiderata entro 30°.
Per girare il monitor verticalmente, tenerlo sul fondo con entrambe le mani come illustrato qui sotto.



Installazione

Prima di usare questo monitor, verificare che nell'imballaggio siano compresi i seguenti elementi:

- Monitor LCD (1)
- Alimentatore CA (1)
- Coperchio posteriore (1)
- Cavo di alimentazione (1)
- Cavo del segnale video HD15 (1)
- Adattatore Macintosh (1)
- Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (1)
- Macintosh Utility Disk (1)
- TCO'95 Eco-document (1)
- Scheda garanzia (1)
- Queste istruzioni per l'uso (1)

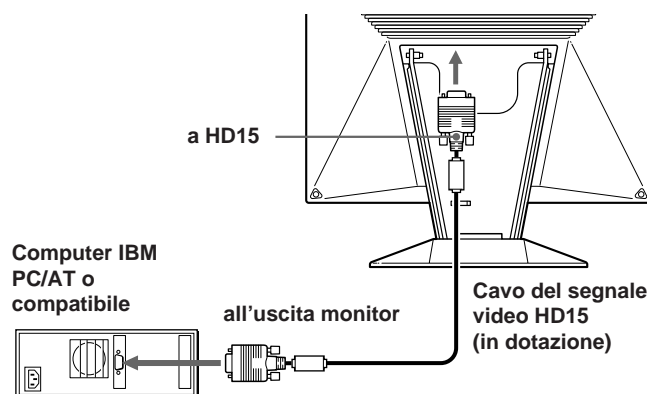
Questo monitor funziona con qualsiasi sistema IBM o compatibile dotato di capacità grafica VGA o superiore. Sebbene questo monitor funzioni con altri sistemi di piattaforme a frequenze orizzontali tra 30 e 70 kHz, compresi i sistemi Macintosh e Power Macintosh, occorrerà un adattatore per il cavo. Per il tipo di adattatore necessario consultare il proprio rivenditore. Questo monitor può inoltre ricevere segnali RGB dei sistemi PAL e NTSC.

Punto 1: Collegamento del monitor al computer

Con il computer spento, collegare il cavo del segnale video al monitor utilizzando il cavo del segnale video HD15 in dotazione.

- Se si usa un computer IBM PC/AT o compatibile, vedere la sezione qui sotto.
- Se si usa un computer Macintosh o compatibile, vedere la sezione seguente "Collegamento ad un computer Macintosh o compatibile".

Collegamento ad un computer IBM PC/AT o compatibile

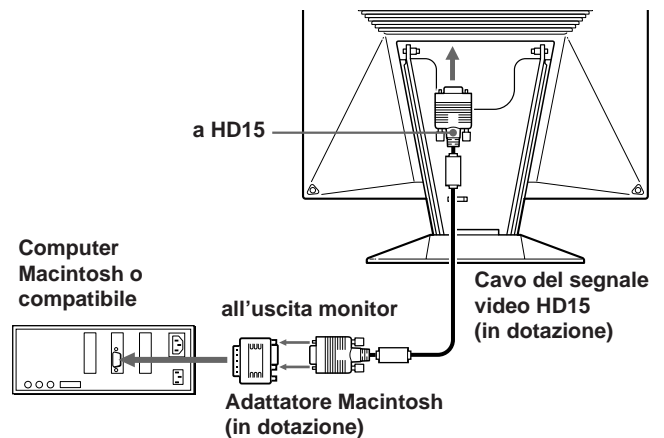


Se il sistema del proprio computer non è compatibile con DDC1 e DDC2B

Questo monitor usa il piedino N. 9 nel connettore del segnale video per la compatibilità con DDC1 e DDC2B.

Alcuni sistemi di computer che non sono compatibili con DDC1 o DDC2B potrebbero non accettare il piedino N. 9. Se non si è sicuri che il proprio sistema accetti il piedino N. 9, usare l'adattatore HD15 (femmina) - HD15 (maschio senza piedino N. 9) (non in dotazione). Accertarsi che il lato maschio (senza piedino N. 9) sia collegato al computer.

Collegamento ad un computer Macintosh o compatibile

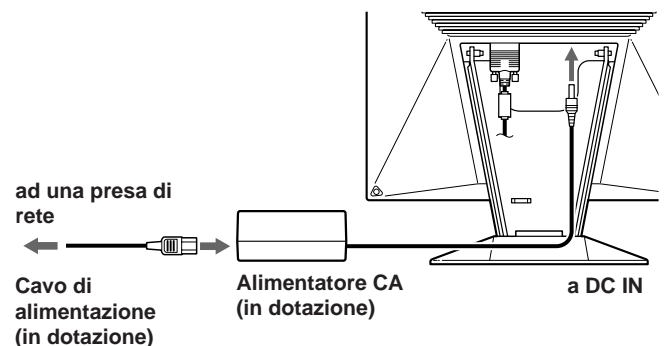


Informazioni sull'adattatore Macintosh in dotazione

L'adattatore Macintosh in dotazione è compatibile con i computer serie Macintosh LC, Performa, Quadra e Power Macintosh. Per la serie Macintosh II e per alcune versioni precedenti dei modelli Power Book potrebbe essere necessario un adattatore con microinterruttori (non in dotazione).

Punto 2: Collegamento del cavo di alimentazione

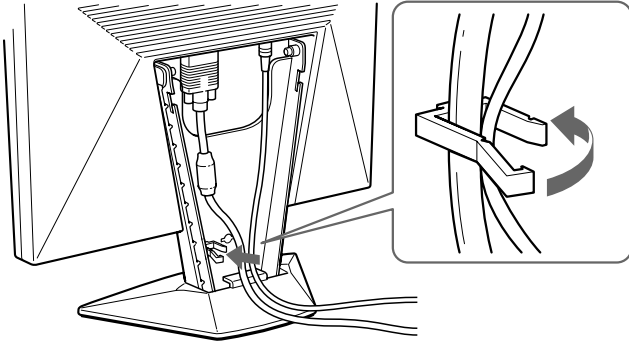
Con il computer spento, collegare una estremità del cavo di alimentazione CC al monitor e l'altra estremità ad una presa di rete.



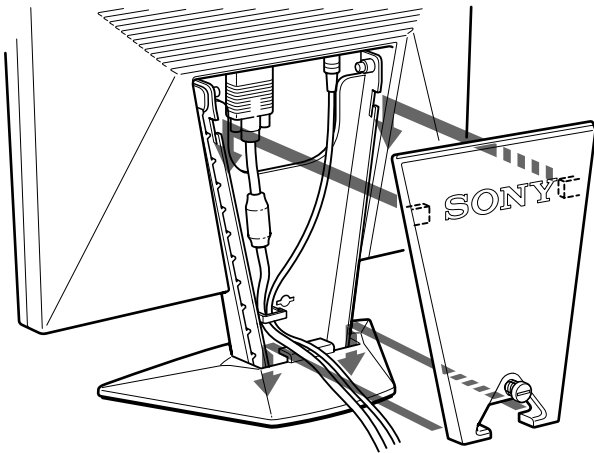
Punto 3: Installazione del coperchio posteriore

Dopo aver collegato il computer e il cavo di alimentazione, installare il coperchio posteriore in dotazione. Accertarsi che lo schermo rimanga in posizione verticale durante l'installazione del coperchio posteriore.

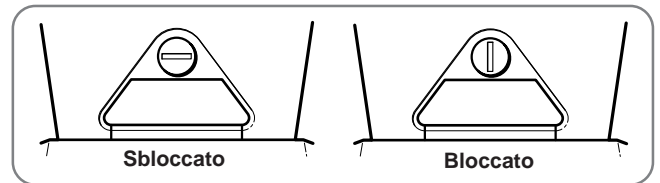
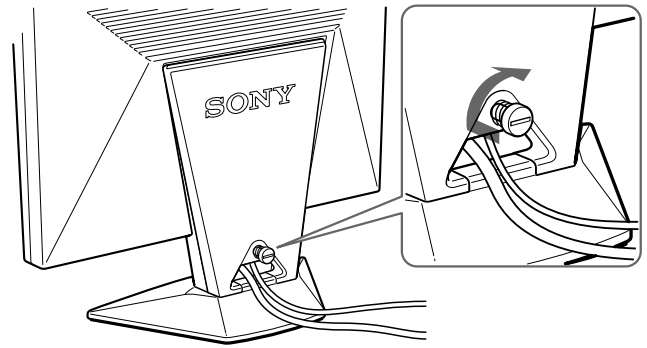
- 1 Agganziare il cavo del computer e il cavo di alimentazione.



- 2 Inserire le linguette situate all'interno del coperchio posteriore negli appositi agganci e quindi premere verso il basso.



- 3 Girare la vite per fissare il coperchio posteriore.



Punto 4: Accensione del monitor e del computer

Accendere prima il monitor e poi accendere il computer. L'installazione del monitor è completata.

Nota

Se sullo schermo appare il messaggio "OUT OF SCAN RANGE" o "NO INPUT SIGNAL", vedere la sezione "Messaggi di avvertimento" a pagina 18.

Per gli utenti di Windows 95/98

Per potenziare al massimo il monitor, installare sul proprio computer il nuovo file di informazioni sul modello dal disco Windows Monitor Information Disk/Utility Disk. Questo monitor è conforme allo standard Plug & Play "VESA DDC". Se la scheda grafica/PC è conforme a DDC, selezionare "Plug & Play Monitor (VESA DDC)" o il nome del modello di questo monitor come tipo di monitor dal "Control Panel" di Windows 95/98. Alcune schede grafiche/PC non sono conformi a DDC. Se la scheda grafica/PC ha difficoltà a comunicare con questo monitor, caricare il disco Windows Monitor Information Disk/Utility Disk e selezionare il nome del modello di questo monitor come tipo di monitor.

Per gli utenti di Windows NT4.0

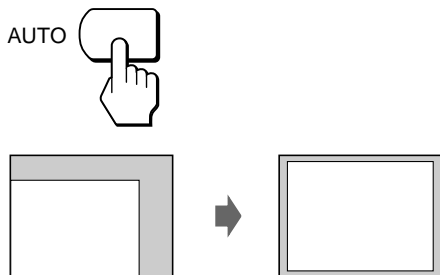
L'impostazione del monitor in Windows NT4.0 è differente da Windows 95/98 e non occorre effettuare la selezione del tipo di monitor. Per informazioni dettagliate sulla regolazione della risoluzione, frequenza di refresh e numero di colore, consultare le istruzioni per l'uso di Windows NT4.0.

Regolazione automatica dell'immagine

Se l'immagine è tremolante o sfocata, premere il tasto AUTO. Il monitor viene regolato automaticamente in base al segnale del computer collegato.

Con alcuni computer potrebbero rendersi necessarie ulteriori regolazioni fini. In questo caso, regolare il monitor manualmente consultando la sezione "Personalizzazione del monitor" a pagina 9.

- 1 Accendere il monitor.
- 2 Accendere il computer.
- 3 Premere il tasto AUTO.
L'immagine viene regolata adattandosi al centro dello schermo.



Note

- È possibile utilizzare questa funzione con computer che eseguono Windows o un software di interfaccia grafica utente simile che consenta un'immagine a schermo pieno. Se il colore di sfondo è scuro o se l'immagine immessa non riempie lo schermo fino ai bordi (come ad esempio un prompt di MS-DOS) è possibile che si verifichino problemi di funzionamento.
- Durante l'esecuzione della funzione di dimensionamento automatico, lo schermo potrebbe apparire vuoto per alcuni secondi, non si tratta comunque di un problema di funzionamento.

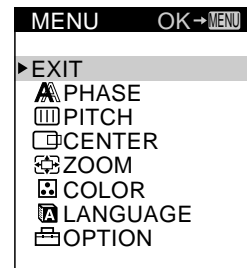
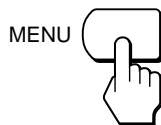
Se l'immagine è tremolante o sfocata anche dopo aver premuto il tasto AUTO

Regolare manualmente REG. PIXEL e FASE (pagina 11).

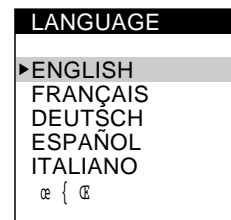
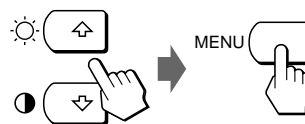
Selezione della lingua per la visualizzazione a schermo

È possibile selezionare la lingua per la visualizzazione a schermo fra inglese, francese, tedesco, spagnolo, italiano e giapponese.

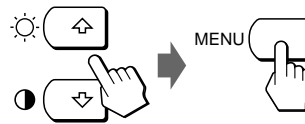
- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU



- 2 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare LANGUAGE e premere il tasto MENU.
Appare la videata LANGUAGE.



- 3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare la lingua desiderata e premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU della lingua selezionata.



La videata scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

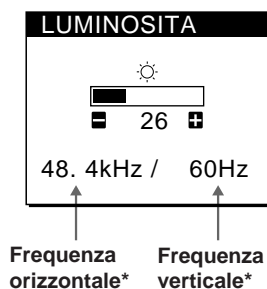
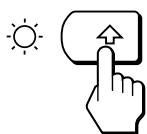
Operazioni preliminari alla regolazione

Collegare il monitor e il computer e quindi accenderli.
Per ottenere risultati migliori, attendere almeno 30 minuti prima di effettuare le regolazioni.

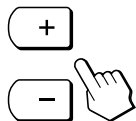
Regolazione della luminosità dell'immagine

Una volta regolata, la luminosità verrà memorizzata per tutti i segnali di ingresso ricevuti.

- 1 Premere il tasto < (luminosità) ∅ .
Appare la videata LUMINOSITA.



- 2 Premere i tasti +/-.



+ ... per aumentare la luminosità
- ... per diminuire la luminosità

La videata scompare automaticamente dopo circa 3 secondi.

* Nella videata LUMINOSITA appaiono le frequenze orizzontale e verticale per il segnale di ingresso ricevuto.

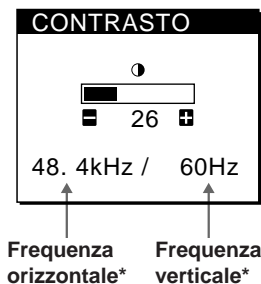
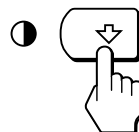
Se lo schermo è troppo luminoso durante la visualizzazione in una stanza buia

Diminuire la RETROILLUMINAZ. (pagina 14).

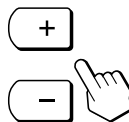
Regolazione del contrasto

Una volta regolato, il contrasto verrà memorizzato per tutti i segnali di ingresso ricevuti.

- 1 Premere il tasto > (contrasto) † .
Appare la videata CONTRASTO.



- 2 Premere i tasti +/-.



+ ... per aumentare il contrasto
- ... per diminuire il contrasto

La videata scompare automaticamente dopo circa 3 secondi.

* Nella videata CONTRASTO appaiono le frequenze orizzontale e verticale per il segnale di ingresso ricevuto.

Presentazione del sistema di visualizzazione a schermo

La maggior parte delle regolazioni vengono effettuate utilizzando la videata MENU.

Per modificare la lingua per la visualizzazione a schermo, vedere la sezione "Selezione della lingua per la visualizzazione a schermo" (pagina 8).



USCITA

Viene chiusa la videata MENU.

FASE

Viene visualizzata la videata FASE per regolare la fase quando i caratteri o le immagini appaiono sfocati sull'intero schermo. Regolare la fase dopo aver regolato il pixel.

REG. PIXEL

Viene visualizzata la videata REG. PIXEL per regolare il pixel quando i caratteri o le immagini non appaiono nitidi in alcune parti dello schermo.

CENTRATURA

Viene visualizzata la videata CENTRATURA per regolare la centratura dell'immagine.

ZOOM

Viene visualizzata la videata ZOOM per selezionare il modo di visualizzazione dell'immagine. Selezionare DIMENS. ESTESA per visualizzare l'immagine utilizzando lo schermo intero oppure selezionare DIMENS. REAL per visualizzare l'immagine nella sua risoluzione reale.

COLORE

Viene visualizzata la videata COLORE per regolare la temperatura di colore.

LANGUAGE

Viene visualizzata la videata LANGUAGE per selezionare la lingua per la visualizzazione a schermo.

OPZIONI

Viene visualizzata la videata OPZIONI in cui è possibile regolare le impostazioni per la retroilluminazione, la posizione della videata, il ritardo della funzione di risparmio energetico e il blocco dei comandi.

Uso del dischetto Utility Disk

Il dischetto Utility Disk contiene modelli di test da utilizzare per le regolazioni di pixel, fase e centratura. Questi modelli di test serviranno a confermare la correttezza delle regolazioni.

Regolazione del pixel

Regolare il pixel se sullo schermo appaiono delle righe verticali oppure se una parte dello schermo è tremolante o sfocata.

Regolare lo schermo in modo che le linee verticali marcate del modello di test scompaiano.

Regolazione della fase

Regolare la fase se l'intero schermo appare tremolante o sfocato oppure se appaiono delle righe orizzontali.

Regolare lo schermo fino a ridurre le righe orizzontali al minimo.

Regolazione della centratura

Regolare la centratura se l'immagine non appare centrata. Spostare l'immagine in alto, in basso, a sinistra o a destra finché la cornice rossa sul perimetro del modello di test non scompare.

Uso del modello di test

- 1 Impostare ZOOM su DIMENS. REAL (pagina 12).
- 2 Caricare il dischetto Utility Disk in dotazione e visualizzare il modello di test.
Utilizzare il dischetto appropriato per il computer.
Per Windows 95/98
Windows Monitor Information Disk/Utility Disk
Per Macintosh
Macintosh Utility Disk
- 3 Selezionare pixel, fase o centratura dalla videata MENU sul monitor e regolare lo schermo guardando il modello di test (pagine 11, 12).
- 4 Una volta terminato, fare clic su [END] sullo schermo per disattivare il modello di test.

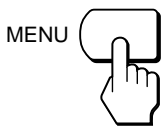
Eliminazione del tremolio e della sfocatura

Se una parte dello schermo appare tremolante o sfocata, premere il tasto AUTO. Se con questa operazione il problema non viene risolto, regolare pixel e fase come descritto di seguito.

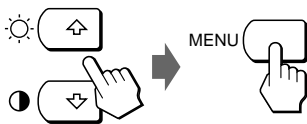
Una volta regolati, pixel e fase verranno memorizzati per il segnale di ingresso corrente.

1 Caricare il dischetto Utility Disk (pagina 10).

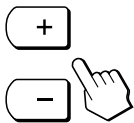
2 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare REGOLAZ. PIXEL e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata REGOLAZ. PIXEL.

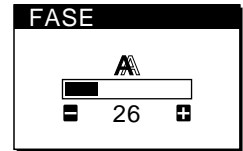
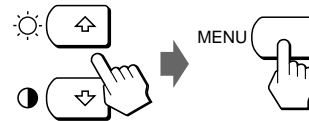


4 Premere i tasti $+/-$ finché i colori dello schermo non diventano uniformi.
Se si utilizza il dischetto Utility Disk, effettuare la regolazione in modo che le righe verticali scompaiano.

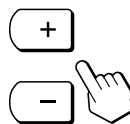


5 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.
Se sull'intero schermo appaiono righe orizzontali, regolare la fase seguendo il punto successivo.

6 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare FASE e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata FASE.



7 Premere i tasti $+/-$ finché i colori dello schermo non diventano uniformi.
Se si utilizza il dischetto Utility Disk, effettuare la regolazione in modo che le righe orizzontali vengano ridotte al minimo.



La videata scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

Per disattivare il modello di test, fare clic su [END] sullo schermo.

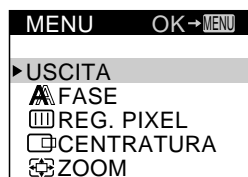
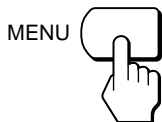
Regolazione della posizione dell'immagine

Se l'immagine sullo schermo non appare centrata, premere il tasto AUTO. Se con questa operazione il problema non viene risolto, regolare la centratura come descritto di seguito.

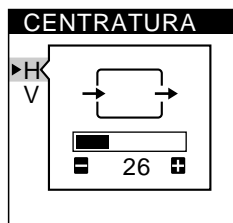
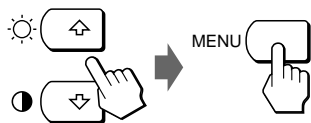
Una volta regolata, la centratura verrà memorizzata per il segnale di ingresso corrente.

1 Caricare il dischetto Utility Disk (pagina 10).

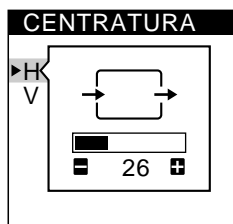
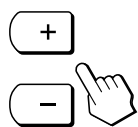
2 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



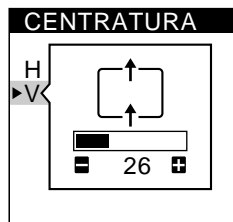
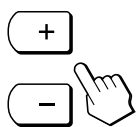
3 Premere i tasti \emptyset/\pm per selezionare CENTRATURA e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata CENTRATURA.



4 Per la regolazione orizzontale, selezionare H usando i tasti \emptyset/\pm e regolare la posizione usando i tasti +/-.
+ ... per spostare l'immagine a destra
- ... per spostare l'immagine a sinistra



Per la regolazione verticale, selezionare V usando i tasti \emptyset/\pm e regolare la posizione usando i tasti +/-.
+ ... per spostare l'immagine verso l'alto
- ... per spostare l'immagine verso il basso



La videata scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

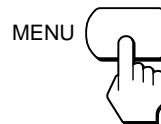
Per disattivare il modello di test, fare clic su [END] sullo schermo.

Visualizzazione dell'immagine nella risoluzione reale

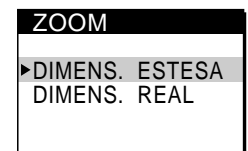
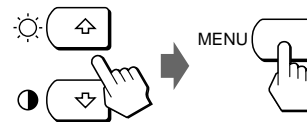
Il monitor è impostato in fabbrica per visualizzare l'immagine a schermo pieno, senza tener conto della risoluzione dell'immagine. È comunque possibile vedere l'immagine anche nella sua risoluzione reale.

Una volta impostato, lo zoom verrà memorizzato per il segnale di ingresso corrente.

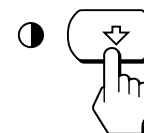
1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



2 Premere i tasti \emptyset/\pm per selezionare ZOOM e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata ZOOM.



3 Premere il tasto \pm per selezionare DIMENS. REAL e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



La videata scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

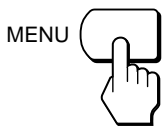
Per visualizzare l'immagine a schermo pieno

Premere il tasto \emptyset al punto 3 per selezionare DIMENS. ESTESA.

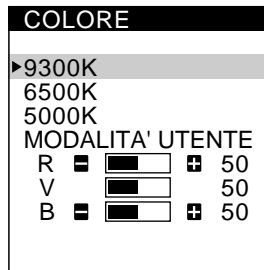
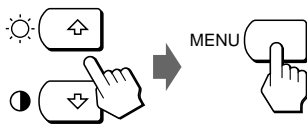
Modifica o regolazione della temperatura di colore

La temperatura di colore è impostata in fabbrica su 9300K. È possibile modificare la temperatura di colore impostandola su 6500K o 5000K. Usare questa funzione per regolare la temperatura di colore in modo che corrisponda ai colori reali di un'immagine stampata. Una volta regolata, la temperatura di colore verrà memorizzata per tutti i segnali di ingresso ricevuti.

- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



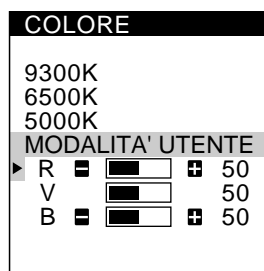
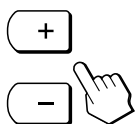
- 2 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare COLORE e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata COLORE.



- 3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare la temperatura di colore.

Se occorre effettuare ulteriori regolazioni della temperatura di colore selezionata, passare al punto 4. In caso contrario, premere il tasto MENU. Appare la videata MENU.

- 4 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare R (rosso) o B (blu) e premere i tasti +/- per ottenere il colore desiderato. Il colore cambia con l'aumentare o il diminuire dei componenti R o B rispetto a V (verde).



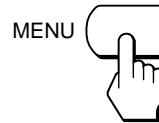
La videata scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

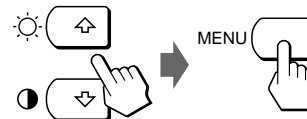
Modifica della posizione della videata

È possibile modificare la posizione della videata, ad esempio quando si desidera regolare l'immagine che vi sta dietro.

- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



- 2 Premere i tasti \leftarrow/\rightarrow per selezionare OPZIONI e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata OPZIONI.



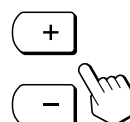
- 3 Premere i tasti \leftarrow/\rightarrow per selezionare \leftarrow (POSIZ MENU ORIZ) o \uparrow/\downarrow (POSIZ MENU VERT).

Per regolare la posizione orizzontale

Per regolare la posizione verticale



- 4 Premere i tasti +/- per spostare la videata sulla posizione desiderata.



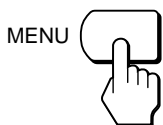
La videata OPZIONI scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

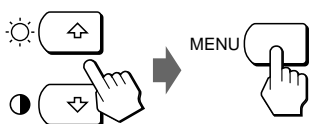
Regolazione della retroilluminazione

Se durante l'uso del monitor in una stanza buia lo schermo è troppo luminoso, regolare la retroilluminazione.

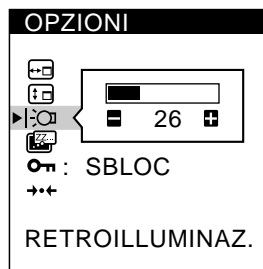
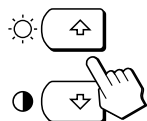
- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



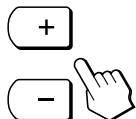
- 2 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare OPZIONI e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata OPZIONI.



- 3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare RETROILLUMINAZ.



- 4 Premere i tasti +/- per regolare il livello della luce.



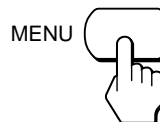
La videata OPZIONI scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

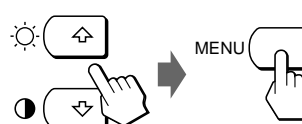
Impostazione del ritardo della funzione di risparmio energetico

È possibile impostare il tempo per ritardare l'ingresso del monitor nel modo di risparmio energetico. Per maggiori informazioni sulle capacità di risparmio energetico di questo monitor, vedere a pagina 17.

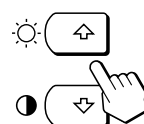
- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



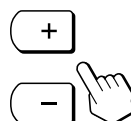
- 2 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare OPZIONI e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata OPZIONI.



- 3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare RITARDO POW SAV.



- 4 Premere i tasti +/- per selezionare il tempo desiderato.



Se RITARDO POW SAV viene impostato su NO, il monitor non entra nel modo di risparmio energetico.

La videata OPZIONI scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

Blocco dei comandi

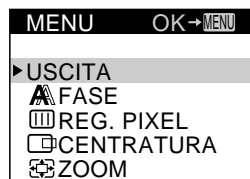
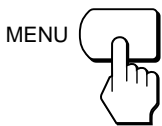
La funzione di blocco dei comandi disattiva tutti i comandi eccetto l'interruttore u (accensione) e il tasto MENU.

Quando si seleziona "BLOCC", nelle videata MENU è possibile selezionare solo le seguenti voci:

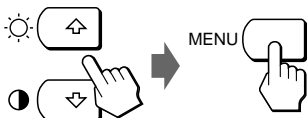
- USCITA
- BLOCC MENU e IMPOSTAZ. ORIGIN nella videata OPZIONI


Se si preme uno dei tasti bloccati, sullo schermo appare il contrassegno .

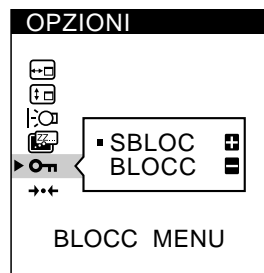
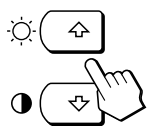
- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



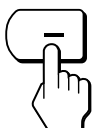
- 2 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare OPZIONI e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata OPZIONI.



- 3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare  (BLOCC MENU).



- 4 Premere il tasto - per selezionare BLOCC.



La videata OPZIONI scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.
Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

Per annullare il blocco dei comandi

Premere il tasto + al punto 4 per selezionare SBLOC.

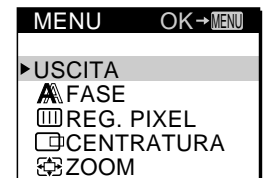
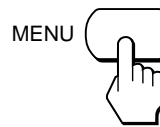
Download from www.Somanuals.com. All Manuals Search And Download.

Reimpostazione delle regolazioni

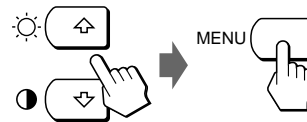
Tutte le regolazioni e le impostazioni possono essere reimpostate sulle impostazioni di fabbrica.

La temperatura di colore viene reimpostata su 9300K, l'impostazione di zoom viene reimpostata sul modo a schermo pieno e il tempo di ritardo della funzione di risparmio energetico viene reimpostato su un minuto. Il blocco dei comandi viene annullato. Le altre regolazioni ritornano alle impostazioni predefinite. Tuttavia, la lingua per la visualizzazione a schermo non viene modificata.

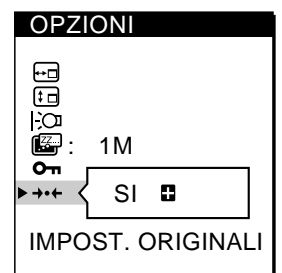
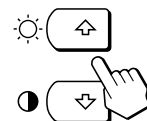
- 1 Premere il tasto MENU.
Appare la videata MENU.



- 2 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare OPZIONI e premere di nuovo il tasto MENU.
Appare la videata OPZIONI.



- 3 Premere i tasti \uparrow/\downarrow per selezionare ? (IMPOST. ORIGINALI).



- 4 Premere il tasto +.



La videata OPZIONI scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.
Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

Modi preimpostati e modi utente

Questo monitor dispone di modi preimpostati in fabbrica in base agli standard industriali più diffusi di effettiva compatibilità "plug and play".

Quando viene immesso un nuovo segnale, il monitor seleziona il modo preimpostato in fabbrica appropriato e regola temporaneamente la calibrazione della fase per fornire un'immagine di alta qualità al centro dello schermo. La calibrazione viene memorizzata e immediatamente richiamata qualora venga ricevuto lo stesso segnale di ingresso.

N.	Risoluzione (punti × linee)	Frequenza orizzontale	Frequenza verticale	Modo grafica
1	—	15.625 kHz	50 Hz	625I
2	—	15.75 kHz	60 Hz	525I
3	640 × 350	31.5 kHz	70 Hz	MCGA
4	640 × 400	31.5 kHz	70 Hz	NEC PC-98
5	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	VGA-G
6	640 × 480	35.0 kHz	67 Hz	Macintosh 13" a colori
7	640 × 480	37.5 kHz	75 Hz	EVGA
8	640 × 480	43.3 kHz	85 Hz	VESA
9	720 × 400	31.5 kHz	70 Hz	VGA-Text
10	720 × 400	37.9 kHz	85 Hz	VESA
11	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	SVGA
12	800 × 600	46.9 kHz	75 Hz	ESVGA
13	800 × 600	53.7 kHz	85 Hz	VESA
14	832 × 624	49.7 kHz	75 Hz	Macintosh 16" a colori
15	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	VESA
16	1024 × 768	56.5 kHz	70 Hz	VESA
17	1024 × 768	60.0 kHz	75 Hz	EUVGA
18	1024 × 768	60.2 kHz	75 Hz	Macintosh 19" a colori
19	1024 × 768	68.7 kHz	85 Hz	VESA

Per i segnali di ingresso che non corrispondono a nessuno dei modi preimpostati in fabbrica, la tecnologia Multiscan digitale di questo monitor esegue tutte le regolazioni necessarie affinché sullo schermo appaia un'immagine nitida per qualsiasi sincronizzazione nella gamma di frequenza del monitor. Tuttavia, potrebbe essere necessaria la sintonia fine della centratura verticale e orizzontale. Premere semplicemente il tasto AUTO o regolare il monitor in base alle istruzioni di regolazione. Le regolazioni vengono memorizzate automaticamente come modo utente e richiamate qualora venga ricevuto il segnale di ingresso corrispondente.

Condizioni di sincronizzazione orizzontale e verticale consigliate

L'ampiezza di sincronizzazione orizzontale deve essere il 4,8% o superiore del tempo orizzontale complessivo.

L'ampiezza di cancellazione orizzontale deve essere di 2,5 µsec. o superiore.

L'ampiezza di cancellazione verticale deve essere di 450 µsec. o superiore.

Regolazione della risoluzione del monitor e del numero di colore

Regolare la risoluzione del monitor e il numero di colore facendo riferimento alle istruzioni per l'uso del proprio computer. Il numero di colore può variare in base al computer o alla scheda video.

L'impostazione della tavolozza de colori e il numero reale dei colori è descritto qui di seguito:

- High Color (16 bit) n 65.536 colori
- True Color (24 bit) n circa 16,77 milioni di colori

Nel modo True Color (24 bit), la velocità potrebbe essere inferiore.

Funzione di risparmio energetico

Questo monitor è conforme alle direttive di risparmio energetico stabilite da VESA e ENERGY STAR, così come alle più severe direttive NUTEK.

Se il monitor viene collegato ad un computer o ad una scheda grafica video conforme a VESA DPMS (Display Power Management Signaling), il consumo energetico verrà automaticamente ridotto in tre fasi come descritto qui sotto.

È possibile impostare il tempo di ritardo per l'ingresso del monitor nel modo di risparmio energetico utilizzando la videata, come descritto nella sezione "Impostazione del ritardo della funzione di risparmio energetico" a pagina 14.

Nota

Se nel monitor non viene immesso alcun segnale video, appare il messaggio "NO SEGNALE INGR" (pagina 18). Trascorso il tempo di ritardo, la funzione di risparmio energetico fa entrare il monitor automaticamente nel modo attivo-spento e l'indicatore \cup lampeggia in arancione. Quando vengono individuati i segnali di sincronizzazione orizzontale e verticale, il monitor ripristina automaticamente il modo di funzionamento normale.

	Modo di consumo energetico	Schermo	Segnale di sincronizzazione orizzontale	Segnale di sincronizzazione verticale	Consumo energetico	Tempo di recupero	Indicatore \cup
1	Funzionamento normale	attivo	presente	presente	CPD-L133 $\leq 30 W^*$ $\leq 42 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 25 W^*$ $\leq 35 W^{**}$	—	Verde
2	Attesa (I modo)	vuoto	assente	presente	CPD-L133 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	Circa 3 sec.	Verde e arancione alternati
3	Sospeso (II modo)	vuoto	presente	assente	CPD-L133 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	Circa 3 sec.	Verde e arancione alternati
4	Attivo-spento (III modo)	vuoto	assente	assente	CPD-L133 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	Circa 10 sec.	Arancione
5	Spento	—	—	—	CPD-L133 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$ CPD-L150 $\leq 1.5 W^*$ $\leq 4 W^{**}$	—	Spento

* Consumo energetico del solo monitor

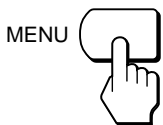
** Consumo energetico del monitor compreso l'alimentatore CA

Visualizzazione della videata INFORMATION

È possibile confermare il nome, il numero di serie e l'anno di fabbricazione di questo monitor.

Premere e tenere premuto il tasto MENU per cinque secondi.

Appare la videata INFORMATION.



Esempio

i INFORMATION	
MODEL : CPD-L150	Nome del modello
SER. NO : 1234567	Numero di serie
MANUFACTURED : 1998	Anno di fabbricazione

La videata INFORMATION scompare automaticamente dopo circa 30 secondi.

Per chiudere la videata, premere di nuovo il tasto MENU.

Plug & Play

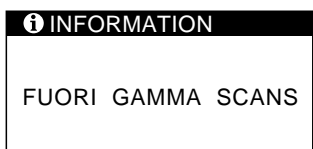
Questo monitor è conforme agli standard DDCTM1 e DDC2B Display Data Channel (DDC) di VESA.

Quando viene collegato un sistema ospite DDC1, il monitor si sincronizza con V. CLK in base agli standard di VESA e trasmette gli EDID (Extended Display Identification Data) alla linea dati.

DDCTM è un marchio di fabbrica di Video Electronics Standard Association.

Messaggi di avvertimento

Se si verificano problemi con il segnale di ingresso, appare uno dei seguenti messaggi.



“FUORI GAMMA SCANS” indica che il segnale di ingresso non è supportato dalle specifiche di visualizzazione.

“NO SEGNALE INGR” indica che non viene immesso alcun segnale.

Per la soluzione di questi problemi, vedere la “Guida alla soluzione dei problemi” qui sotto.

Guida alla soluzione dei problemi

Questa sezione permette di individuare la causa di un problema evitando di rivolgersi all’assistenza tecnica.

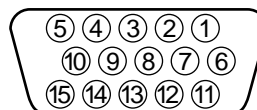
Sintomo	Verificare quanto segue
Nessuna immagine.	
Se l’indicatore \cup non è illuminato	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare che il cavo di alimentazione sia collegato correttamente. • Verificare che l’interruttore \cup (accensione) sia sulla posizione di “apparecchio acceso”.
Se sullo schermo appare il messaggio “NO SEGNALE INGR” o se l’indicatore \cup è arancione	<ul style="list-style-type: none"> • Lo schermo è vuoto quando il monitor è nel modo di risparmio energetico. Provare a premere un tasto sulla tastiera del computer. • Verificare che l’interruttore del computer sia sulla posizione di “apparecchio acceso”. • Verificare che l’impostazione della selezione di ingresso sia corretta. • Verificare che il cavo del segnale video sia collegato correttamente e che tutte le spine siano saldamente inserite nelle rispettive prese. • Verificare che nel connettore di ingresso video HD15 non vi siano piedini piegati o male inseriti.
Se sullo schermo appare il messaggio “FUORI GAMMA SCANS”	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare che la gamma di frequenza video rientri in quella specificata per la visualizzazione. Orizzontale: 30 – 70 kHz, Verticale: 50 – 85 Hz • Consultare il manuale delle istruzioni del computer per regolare la gamma di frequenza video. • Se si usa un adattatore del cavo del segnale video, verificare che sia corretto.
Se si usa un sistema Macintosh	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare che l’adattatore Macintosh e il cavo del segnale video siano collegati correttamente (pagina 6).
Se si utilizza Windows 95/98	<ul style="list-style-type: none"> • Se con questo monitor è stato sostituito un vecchio monitor, ricollegare il vecchio monitor e effettuare le seguenti operazioni. Installare il Windows Monitor Information Disk/Utility Disk (pagina 7) e selezionare “CPD-L133 o CPD-L150” tra i monitor Sony nella schermata di selezione monitor Windows 95/98.
L’immagine è scura.	<ul style="list-style-type: none"> • Regolare la retroilluminazione (pagina 14). • Regolare la luminosità (pagina 9). • Dopo l’attivazione dell’alimentazione, occorrono alcuni secondi perché venga avviata la visualizzazione. L’immagine apparirà momentaneamente.
L’immagine è confusa.	<ul style="list-style-type: none"> • Premere il tasto AUTO (pagina 8). Se il problema non viene risolto, regolare pixel e fase (pagina 11). • Controllare questo manuale per una conferma che il modo grafica e la frequenza con cui si desidera far funzionare il monitor siano supportati. Anche se la frequenza rientra nella gamma appropriata, l’impulso di sincronizzazione di alcuni computer potrebbe essere troppo ristretto per la corretta sincronizzazione di questo monitor.

Sintomo	Verificare quanto segue
Il colore non è uniforme.	<ul style="list-style-type: none"> • Premere il tasto AUTO (pagina 8). Se il problema non viene risolto, regolare pixel e fase (pagina 11).
Non è possibile regolare il monitor con i tasti del pannello anteriore.	<ul style="list-style-type: none"> • Se la funzione di blocco dei comandi è attiva, disattivarla utilizzando la videata OPZIONI (pagina 15).
Il bianco non appare bianco.	<ul style="list-style-type: none"> • Regolare la temperatura di colore (pagina 13).
L'immagine sullo schermo non è centrata.	<ul style="list-style-type: none"> • Premere il tasto AUTO (pagina 8). • Regolare la centratura (pagina 12). • Alcuni modi video non riempiono lo schermo fino ai bordi. Questo problema tende a verificarsi con alcune schede video.
La dimensione dell'immagine non è corretta.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare l'impostazione di ZOOM (pagina 12).
L'immagine è sfocata.	<ul style="list-style-type: none"> • Premere il tasto AUTO (pagina 8). Se il problema non viene risolto, regolare pixel e fase (pagina 11). • Regolare il contrasto e la luminosità (pagina 9).
L'immagine salta o appare oscillante.	<ul style="list-style-type: none"> • Provare a inserire la spina del monitor in una presa CA differente, preferibilmente in un circuito diverso. • Provare il monitor su un computer differente in un'altra stanza.
L'immagine è tremolante.	<ul style="list-style-type: none"> • Premere il tasto AUTO (pagina 8). Se il problema non viene risolto, regolare pixel e fase (pagina 11).
L'immagine appare sdoppiata.	<ul style="list-style-type: none"> • Se si verifica questo problema, eliminare l'uso di prolunghe per il cavo video oppure di cassette per l'interruttore video. Questi problemi possono verificarsi a causa di una lunghezza eccessiva del cavo o di collegamenti deboli.
Appaiono disturbi ondulati o ellittici (effetto moiré).	<ul style="list-style-type: none"> • Premere il tasto AUTO (pagina 8). Se il problema non viene risolto, regolare pixel e fase (pagina 11).

Specifiche

Pannello LCD	Tipo di pannello: matrice attiva a-Si TFT CPD-L133 Dimensione immagine: 13,3 pollici (33,8 cm) CPD-L150 Dimensione immagine: 15 pollici (38 cm)
Formato segnale di ingresso	frequenza di funzionamento RGB: fr. or.: 15,625 kHz (segnale interlacciato 625) 15,75 kHz (segnale interlacciato 525) 30 – 70 kHz fr. ver.: 50 Hz — 85 Hz
Efficienza pixel	99.99 %
Risoluzione	O: 1024 punti max V: 768 linee max
Alimentazione	Funzionamento: CA da 100 a 240 V, 50 – 60 Hz Ingresso: CC 12 V (con uso dell'alimentatore CA)
Alimentazione	CPD-L133 Solo visualizzazione: 30 W max Incluso l'alimentatore CA: 42 W max CPD-L150 Solo visualizzazione: 25 W max Incluso l'alimentatore CA: 35 W max
Dimensioni (l/a/p)	CPD-L133 Incluso il supporto: Circa 373 × 358 × 165 mm Solo monitor: Circa 373 × 272 × 71 mm CPD-L150 Incluso il supporto: Circa 398 × 366 × 165 mm Solo monitor: Circa 398 × 291 × 71 mm
Peso	CPD-L133 Circa 4,9 kg incluso il supporto CPD-L150 Circa 5,3 kg incluso il supporto
Accessori in dotazione	Vedere pagina 6.

Assegnazione dei piedini



N. piedino	Segnale	N. piedino	Segnale
1	Rosso	8	Terra blu
2	Verde (sincronizzazione composita su verde)	9	DDC + 5V*
		10	Terra
		11	ID (terra)
3	Blu	12	Dati bidirezionali (SDA)*
4	ID (terra)		
5	Terra DDC*	13	Sinc orizzontale
6	Terra rosso	14	Sinc verticale
7	Terra verde	15	Orologio dati (SCL)*

* Standard Display Data Channel (DDC) di VESA

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>